

JAPAN/MARC MARC21 フォーマット マニュアル

単行・逐次刊行資料編

国立国会図書館

2 0 1 2

目次

1.	はじめに	6
2.	収録範囲と内容	7
3.	フォーマットとデータ内容	10
4.	データの文字表現形式及び凡例	12
5.	読みの表現方法	13
6.	関連規格及びコード一覧	15
7.	用語の説明	17
8.	フォーマット及びデータ要素一覧	19
9.	データ例示	49
10.	データ要素説明	58
	レコードラベル部	61
	●00-04 書誌レコード長	61
	●05 レコード・ステータス	61
	●06 レコード種別	62
	●07 書誌レベル	62
	●08 制御種別コード	62
	●09 文字コード	62
	●10 インディケータの長さ	62
	●11 サブフィールド識別子の長さ	62
	●12-16 データのベースアドレス	63
	●17 符号化レベル	63
	●18 記述目録形式	63
	●19 リンクレコード要求仕様	63
	●20 データフィールド長領域の長さ	63
	●21 先頭文字位置領域の長さ	63
	●22 適用者指定項目の長さ	63
	●23 未定義項目	63
	00X : レコード管理ブロック	65
	001 レコード管理番号	66
	003 レコード管理番号識別子	67
	005 レコード最終更新年月日	68
	007 物理的属性コード化情報	69
	008 一般コード化情報	79
	01X-09X : 番号・コードブロック	93

015	全国書誌番号.....	94
020	国際標準図書番号 (ISBN)	96
022	国際標準逐次刊行物番号 (ISSN)	99
028	出版者番号	101
034	数値データ：コード化情報 (地図資料)	103
035	他 MARC 番号等	106
040	レコード作成機関	108
041	言語コード	110
044	出版・製作国コード.....	112
045	内容年.....	114
084	分類記号.....	116
090	請求記号.....	118
098	地図各種番号.....	119
20X-24X	: タイトルブロック	121
210	キータイトル略語形.....	122
222	キータイトル.....	123
245	タイトルと責任表示に関する事項.....	124
246	別タイトル	132
25X-28X	: 版、資料特性、出版・頒布等ブロック	136
250	版に関する事項.....	137
255	数値データに関する事項 (地図資料)	139
256	電子的内容 (電子資料)	142
260	出版・頒布等に関する事項.....	144
3XX	: 形態等ブロック	148
300	形態に関する事項	149
310	刊行頻度.....	153
362	順序表示 (巻次・年月次) / 休・廃刊注記.....	155
4XX	: シリーズブロック	156
490	シリーズに関する事項.....	157
5XX	: 注記ブロック	162
500	一般注記.....	163
504	書誌注記.....	165
505	内容に関する注記	166
511	出演者注記	171
516	電子的内容に関する注記	172
518	日時及び場所に関する注記.....	173

530	別の媒体に関する注記.....	174
534	原資料に関する注記.....	175
538	システム要件に関する注記（電子資料）.....	178
546	言語注記.....	180
550	出版・頒布等に関する注記.....	181
555	総目次・総索引注記.....	183
563	装丁に関する注記.....	184
580	記入リンクに関する注記.....	185
6XX	: アクセス・ポイント・ブロック（件名標目）.....	186
600	個人名件名標目.....	187
610	団体名件名標目.....	190
630	統一タイトル件名標目.....	192
650	普通件名標目.....	195
651	地名件名標目.....	198
70X-75X	: アクセス・ポイント・ブロック（著者標目等）.....	200
700	個人著者標目.....	201
710	団体著者標目.....	204
720	非統制標目.....	206
740	その他のタイトル標目.....	207
76X-78X	: 記入リンクブロック.....	208
760	上位シリーズ記入.....	209
762	下位シリーズ記入.....	210
765	原言語版記入.....	211
767	他言語版記入.....	212
770	挿入誌又は付録誌記入.....	213
772	本体誌記入.....	214
775	異版記入.....	215
776	他媒体版記入.....	217
780	先行記入.....	218
785	後継記入.....	221
787	関連記入.....	224
80X-83X	: アクセス・ポイント・ブロック（シリーズ著者標目）.....	226
800	個人著者標目（シリーズ）.....	227
810	団体著者標目（シリーズ）.....	230
84X-88X	: 所蔵、代替表現等ブロック.....	232
856	電子資料アクセス情報.....	233

866	所蔵に関する事項	234
880	他の字形による表現（カナ読み・ローマ字読み）	235
付録 A	文字種の取扱い基準（2012年1月以降）	237
付録 B	『JAPAN/MARC MARC21 フォーマット』における片仮名読み表記要領.....	239
付録 C	『JAPAN/MARC MARC21 フォーマット』におけるローマ字読み表記要領	248

1. はじめに

国立国会図書館では、2012年1月から、米国議会図書館が提供する MARC21 フォーマットに準拠した「JAPAN/MARC MARC21 フォーマット」での書誌・典拠データの頒布を開始する。

本マニュアルはこの「JAPAN/MARC MARC21 フォーマット」のうち『JAPAN/MARC (M) 単行資料の部』及び『JAPAN/MARC (S) 逐次刊行資料の部』について説明する。

2. 収録範囲と内容

国立国会図書館法第 23 条、第 24 条、第 24 条の 2 及び第 25 条の規定によって、国立国会図書館に納入、寄贈、遺贈、購入、交換、移管された出版物のうち、本マニュアルが対象とする JAPAN/MARC で扱う範囲は以下のとおりである。

(1) 出版地及び言語

国内で発行された出版物（国内で発行されたアジア言語資料を含む）、及び、外国で発行された日本語出版物の書誌データを提供する。

(2) 対象資料

対象となる出版物の種類は次のとおりである。

(ア) 図書（加除式資料・小冊子を含む。）

(イ) 逐次刊行物

(ウ) 非図書資料

単行又は逐次刊行される資料のうち次の形態の出版物

①地図資料（一枚もの、住宅地図）

②楽譜資料（一枚もの）

③録音資料（録音ディスク、録音テープ、CD 等）

④映像資料（スライド、ビデオカセット、ビデオディスク、ビデオ CD 等）

⑤静止画資料（絵画、写真、絵葉書、設計図等）

⑥電子資料

⑦点字資料

⑧マイクロ資料

『JAPAN/MARC (M) 単行資料の部』は、上記 (ア) 及び (ウ) のうちの単行資料の書誌データを提供する。『JAPAN/MARC (S) 逐次刊行資料の部』は、上記 (イ) 及び (ウ) のうちの逐次刊行資料の書誌データを提供する。

準拠している目録規則、分類表、件名標目表は時代によって変遷している。その概要は、次頁の表のとおりである。

ただし、一部の資料については、収録しているデータ要素の一部を省略した簡略レコードとしているものがある。

なお、本マニュアルでは、目録用語は、一部の例外を除き、『日本目録規則 1987 年版改訂 3 版』に従い、又、その条項を解説に付している。

JAPAN/MARC の構成と準拠規則一覧

JAPAN/MARC の構成と準拠規則を以下に示す。

表中では、『日本目録規則』は NCR、『日本十進分類法』は NDC、『国立国会図書館分類表』は NDLC、『国立国会図書館件名標目表』は NDLSH と省略している。

全国書誌番号（ここでは「JP」と省略する）の体系については、「10. データ要素説明」のフィールド 015（全国書誌番号）の表「全国書誌番号の構成」を参照のこと。

『JAPAN/MARC(M) 単行資料の部』

種類	範囲	目録規則	分類表	件名標目表
カレント版	1998 年～ (JP98～JP99、 JP2*****)	NCR1987 年版改訂版 (2001 年 8 月以降は NCR1987 年版改訂 2 版、2006 年 6 月以降は NCR1987 年版改訂 3 版)	NDC 新訂 9 版 <small>注 1)</small> NDLC	NDLSH
	1997 年 (JP97)	NCR 新版予備版	NDC 新訂 8 版 NDLC	
	1980 年～ 1996 年 (JP80011677～JP96)			
	1977 年～ 1980 年 (JP77～ JP80011676)			
遡及版	1969 年～ 1976 年 (JP69～JP76)	<small>注 2)</small> NCR 1965 年版 (1971～1977)	NDC 新訂 6 版 (1948 年～1950 年 8 月までは、NDC 第 5 版 の千区分表を使用)	
	1948 年～ 1968 年 (JP48～JP68)	NCR 1952 年版 (1953.4～1970) NCR 1942 年版 (1948～1953.3)		
遡及版 (明治期・ 大正期・ 昭和元年 ～24 年 3 月)	1868 年～ 1949 年 (JP40～47)	<small>注 2)</small> NCR1952 年版ほ か 追加分は NCR 新 版予備版	NDC 新訂 6 版 (簡略版)	明治期 (JP40～ 41) に人名件名の み付与

注1) JP : 2*****)以降においては、一部の遡及入力レコードも含まれるため、資料の発行年によっては、NDC 新訂 6 版が使用されている場合がある。

注2) 遡及版の目録規則については、全て NCR 新版予備版に準拠した形に修正して入力している。

『JAPAN/MARC(S) 逐次刊行資料の部』

種類	範囲	目録規則	分類表	件名標目表
カレント版	2002年4月～ ^{注)}	NCR1987年版改訂版 (2004年4月以降はNCR1987年版改訂2版、2009年4月以降はNCR1987年版改訂3版)	NDLC	件名標目は付与しない
	1986年～ 2002年3月	国立国会図書館逐次刊行物目録規則1982年版	NDLC、NDC 新訂6版、雑函(旧帝国図書館旧蔵分)のいずれか	
	～1985年	「逐次刊行物目録記入要領」 「逐次刊行物扱いのマイクロ写真資料目録記入要領」 その他		

注) JAPAN/MARC(S)のJP番号は年代と関連していない。

3. フォーマットとデータ内容

「JAPAN/MARC MARC21 フォーマット」は、書誌情報交換用の国際標準フォーマット（ISO 2709）及びMARC 21に準拠している。

MARC 21は、米国議会図書館が提供し、各国で採用されているMARCフォーマットである。

「JAPAN/MARC MARC21 フォーマット」では、日本語の特徴である漢字データとその読みを示す「カナ」、「ローマ字」データとのリンクを行うため、特殊な処理を加えている。

フォーマットのデータフィールド群は、MARC 21に準拠して、以下の12ブロックに大別し、その中をフィールド、サブフィールドに細分してある。各フィールドはフィールド識別子及びインディケータによって、サブフィールドはサブフィールド識別子で識別することができる。

ブロック	ブロック名	概要（『日本目録規則』（NCR）の条項を付す）
00X	レコード管理ブロック	レコード管理番号、その他のコード化情報
01X～09X	番号・コードブロック	標準番号、分類記号、コード等
21X～24X	タイトルブロック	タイトルと責任表示に関する事項（NCRの1.1）、キータイトル（同1.8.2）又、標目とするタイトル
25X～28X	版、資料特性、出版・頒布等ブロック	版に関する事項（NCRの1.2）、資料（又は刊行形式）の特性に関する事項（同1.3）、出版・頒布等に関する事項（同1.4）
3XX	形態等ブロック	形態に関する事項（NCRの1.5）、逐次刊行資料の刊行頻度（同13.7.3.0エ）、逐次刊行資料の順序表示（同13.3）、逐次刊行資料の休・廃刊注記
4XX	シリーズブロック	シリーズに関する事項（NCRの1.6）
5XX	注記ブロック	注記
6XX	アクセス・ポイント・ブロック（件名標目）	件名標目
70X～75X	アクセス・ポイント・ブロック（著者標目等）	著者標目（シリーズの著者標目を除く）
76X～78X	記入リンクブロック	他レコードとの関係を示すデータ
80X～83X	アクセス・ポイント・ブロック（シリーズ著者標	シリーズの著者標目

	目)	
841～88X	所蔵、代替表現等ブロック	電子資料アクセス情報、所蔵に関する事項、他の字形による表現（カナ読み・ローマ字読み）

4. データの文字表現形式及び凡例

(1) 使用する文字コード

JAPAN/MARC で使用する文字コードは ISO/IEC 10646 (UCS)、符号化形式は UTF-8 とする。ただし、上記体系の範囲内の文字であっても、「付録 A 文字種の取扱い基準(2012年1月以降)」に従い置き換える場合がある。

(2) 制御文字符号

ISO/IEC 10646 で定義されているもののうち、JAPAN/MARC で使用する制御文字符号は以下のとおりである。

コード	機能
1f (Hex)	サブフィールド識別子の最初の文字を示す
1e (Hex)	フィールド区分文字を示す
1d (Hex)	レコード区分文字を示す

(3) 凡例

本マニュアルの例の中では、特に指定する場合を除き、便宜上以下の表現方法をとっている。

フィールド識別子	数字 3 桁で示す。例) 245
インディケータ	数字 2 桁で示す。例) 00
サブフィールド識別子 (サブフィールド開始文字+ サブフィールド識別文字)	サブフィールド開始文字を「\$」で、サブフィールド識別文字をアルファベット又は数字 1 文字で示す。例) \$a
フィールド区分文字	「¥」で示す。
空白	それぞれ以下のとおり表現する。 ・# インディケータ及びコード中の空白 ・△ 記述中の空白 ・□ 区切り記号上の空白
レコード区分文字	「@」で示す。

5. 読みの表現方法

「JAPAN/MARC MARC21 フォーマット」では、MARC 21 Format for Bibliographic Data の [Appendix D - Multiscript Records Model A: Vernacular and transliteration](#) に準拠し、漢字データとその片仮名読み、ローマ字読みのデータをフィールド 880（他の字形による表現（カナ読み・ローマ字読み）とそれ以外のフィールドの組で表現する。

- 880以外のフィールド（以下「正規フィールド」という）：
漢字データを収録する。
組となる片仮名読み、ハングル読み、あるいはローマ字読みがあるときは、サブフィールド\$6に組となるフィールド識別子「880」とオカレンス番号を収録する。
- 880フィールド：
片仮名読み又はハングル読み、及びローマ字読みを、フィールドを繰り返して収録する。
第1インディケータ、第2インディケータとも、組となる正規フィールドと同値とする。
サブフィールド\$6に、組となる正規フィールドのフィールド識別子、オカレンス番号、及び当該880フィールドの文字種コードを収録する。
文字種コードは、片仮名読み・ハングル読みの場合「\$1」（Script identification codeで"Chinese, Japanese, Korean"を意味するコード値）、ローマ字読みの場合「(B)」（Script identification codeで"Latin"を意味するコード値）とする。

例1) 245、700の読みを収録する場合（日本語資料）

245 00 \$6 880-01 \$a吾輩は猫である□/ \$c夏目漱石□作.¥	←\$6 の 880=組となるフィールド識別子、01=オカレンス番号
700 1# \$6 880-02 \$a夏目,□漱石, \$d 1867-1916 \$0 00054222¥	←\$6 の 880=組となるフィールド識別子、02=オカレンス番号
880 00 \$6 245-01/\$1 \$aワガハイ△ワ△ネコ△デ△アル/¥	←\$6 の 245=組となるフィールド識別子、01=オカレンス番号、\$1=文字種コード (CJK)
880 00 \$6 245-01/(B \$a Wagahai△wa△neko△de△aru/¥	←\$6 の 245=組となるフィールド識別子、01=オカレンス番号、(B=文字種コード (Latin)
880 1# \$6 700-02/\$1 \$aナツメ,□ソウセキ, \$d 1867-1916 \$0 00054222¥	

880 1# \$6 700-02/(B
\$a Natsume,□Soseki,
\$d 1867-1916
\$0 00054222¥

例2) 245の読みを収録する場合 (朝鮮語資料)

245 00 \$6 880-01
\$a大韓民國의△性格과△그△世界的意義.¥
880 1# \$6 245-01/\$1
\$a 대한△민국의△성격과△그△세계적△의의.¥

↙ \$6 の 880=組となるフィールド識別子、01=オカレンス番号

↙ \$6 の 245=組となるフィールド識別子、02=オカレンス番号、\$1=文字種コード (CJK)

片仮名読みの表記は、「付録 B 『JAPAN/MARC MARC21 フォーマット』における片仮名読み表記要領」に従う。

ローマ字読みの表記については、「付録 C 『JAPAN/MARC MARC21 フォーマット』におけるローマ字読み表記要領」に従う。

6. 関連規格及びコード一覧

(1) 国際規格

ISO 4

Information and documentation -- Rules for the abbreviation of title words and titles of publications

ISO 2108

Information and documentation -- International standard book numbering (ISBN)

ISO 2709

Information and documentation -- Format for Information Exchange

ISO 3297

Information and documentation -- International standard serial number (ISSN)

ISO 8601

Data elements and interchange formats -- Information interchange -- Representation of dates and times

ISO/IEC 10646

UCS; Universal Multiple -- Octet Coded Character Set

(2) 国内規格

JIS X 0221 国際符号化文字集合 (UCS)

(ISO 10646)

JIS X 0301 情報交換のためのデータ要素及び交換形式ー日付及び時刻の表記

(ISO 8601)

JIS X 0305 国際標準図書番号 (ISBN)

(ISO 2108)

JIS X 0306 国際標準逐次刊行物番号 (ISSN)

(ISO 3297)

JIS X 0401 都道府県コード

JIS X 0402 市区町村コード

(3) MARC21 コード表

[MARC Code List for Organizations](#)

[MARC Code List for Countries](#)

[MARC Code List for Languages](#)

[Description Convention Source Codes](#)

[National Bibliography Number Source Codes](#)

[Classification Scheme Source Codes](#)

[Subject Heading and Term Source Codes](#)

(4) MARC21 以外によるコード表

[List of the Country and ISSN Centre codes](#)

7. 用語の説明

本マニュアルの中で使われている主な用語について説明する。

1. インディケータ

データフィールドの最初に置く 2 バイトのデータ。フィールド内のデータに関する付加的情報を示したり、リンク付けなどレコード内の他のフィールドとの関係、あるいはデータ処理過程で要求される特定の処理に対する付加的情報を示す。

2. サブフィールド

データフィールドを構成する要素の一つで、特定の書誌データを入れる部分をいう。

3. サブフィールド識別子

サブフィールドの最初に置くサブフィールドを同定、識別するための 2 バイトのデータ。サブフィールド開始文字、サブフィールド識別文字からなる。本文の例では、サブフィールド開始文字を\$で表示してある。

4. 書誌レコード

特定の書誌単位を記述するための書誌データを収めたフィールドの集合。レコードラベル部、ディレクトリ部、フィールド区分文字、データフィールド群及びレコード区分文字からなる。

5. スペース

一連の図形符号内で空欄として示される図形キャラクタ。

6. 先頭位置

各データフィールドの第 1 文字目の位置を示すもの。データのベースアドレスから何バイト隔たっているかで表現する。

7. ディレクトリ

レコードの中の各データフィールドのフィールド識別子、フィールド長、先頭位置を示す記載項目（エントリ）のテーブル。

8. データのベースアドレス

レコードの中の各データフィールドの先頭番地を示すための原点。レコードの冒頭ではなく、データフィールド群の先頭位置。

9. データフィールド

書誌レコードを構成する可変長フィールドで、特定の種類のデータを収録する。

10. データフィールドの長さ

対応するデータフィールドの物理的な範囲であり、具体的にはそのバイト長をいう。フィールド区分文字を含む。

11. バイト

文字を表現する単位。

1 2. フィールド区分文字

各可変長フィールドを区切るため、その末尾に用いる制御文字。本文の例では、フィールド区分文字を¥で表示してある。

1 3. フィールド識別子

各データフィールドに対応してそのフィールドの内容を同定するための文字列。

1 4. UTF-8

文字符号化スキームの一つ。1文字を1~6バイトで符号化する。英数字は1バイトで1文字を表現するが、漢字や仮名等は3バイトで1文字を表現する。

1 5. レコード区分文字

レコードを論理的に区切るため、その末尾に用いる制御文字。本文の例では、レコード区分文字を@で表示してある。

1 6. レコード長

書誌レコードの先頭からレコード区分文字までの1件の書誌レコードの長さ。

1 7. レコードラベル

書誌レコードの冒頭のフィールドで、そのレコードの操作処理上の要件を示すもの。

8. フォーマット及びデータ要素一覧

No.	構成要素			特記事項等
	名称	表示形式	表示幅 (Byte)	
				文字コード(*1)
				レコードラベル部(*2)
				以下 No.1～16 の固定長(24Byte)
1	書誌レコード長	数字	5	レコードラベル部の先頭より書誌レコードの長さ(バイト数)を5桁の10進数で表示する。 5桁に満たない場合0埋め。“00577” レコードラベル部の長さ(24Byte)+ディレクトリ部の長さ+フィールド区分文字(1Byte)+データフィールド群の長さ+レコード区分文字の長さ(1Byte)
2	レコード・ステータス	英字	1	“n”：新規 “c”：訂正 “d”：削除
3	レコード種別	英字	1	“a”：文字資料 “c”：楽譜 “e”：地図資料 “g”：映像資料 “i”：録音資料(音楽録音資料を除く) “j”：音楽録音資料 “k”：静止画資料 “m”：電子資料 “t”：文字資料(書写資料)
4	書誌レベル	英字	1	“m”：単行資料 “s”：逐次刊行資料
5	制御種別コード	英字	1	半角スペース(1Byte)固定
6	文字コード	英字	1	“a”固定
7	インディケータの長さ	数字	1	“2”固定
8	サブフィールド識別子の長さ	数字	1	“2”固定

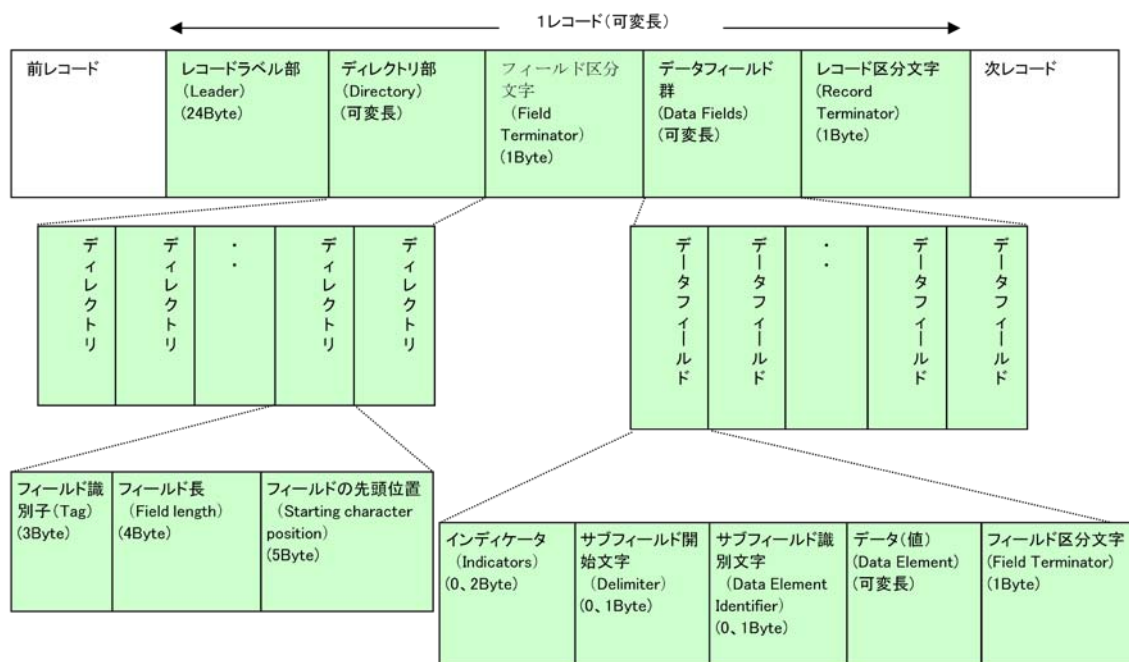
9	データのベースアドレス	数字	5	データフィールド群の先頭位置を表す。 書誌レコードの先頭からのバイト数を 10 進数 5 桁で表示する。 5 桁に満たない場合 0 埋め。“00169”
10	符号化レベル	英字	1	“#”: フルレベル “3”: 簡略レベル “4”: 主要部のみ “z”: 非適用
11	記述目録形式	英字	1	“#”: 非 ISBD “i”: ISBD(区切り記号を含む) “u”: 不明
12	リンクレコード要求仕様	英字	1	半角スペース(1Byte)固定
13	データフィールド長領域の長さ	数字	1	“4”固定
14	先頭文字位置領域の長さ	数字	1	“5”固定
15	適用者指定項目の長さ	数字	1	“0”固定
16	未定義項目	英字	1	“0”固定
ディレクトリ部(*2)				可変長。No.1~3 のディレクトリの集合より構成される。(12×nByte) n : データフィールド数
1	フィールド識別子	数字	3	フィールドを識別するための 3 桁の数字(タグ)。(※3) データフィールドに値のないタグは省略。
2	フィールド長	数字	4	データフィールドの長さ(バイト数)を示す 4 桁の 10 進数。4 桁に満たない場合 0 埋め。“0009” フィールドの長さには、インディケータ、サブフィールド開始文字、サブフィールド識別文字、及びフィールド区分文字も含む。
3	フィールドの先頭位置	数字	5	当該フィールドの先頭文字の位置をデータフィールド群の先頭(データのベースアドレス)から相対バイト数で示す。5 桁の 10 進数で、5 桁に満たない場合 0 埋め。“00015”

フィールド区分文字(*2)				ディレクトリ部の最後に挿入する。
1	フィールド区分文字	Binary	1	フィールド区分文字。1e(Hex)固定
データフィールド群(*2)				固定長／可変長。 ・ディレクトリにて指定された位置、長さのデータフィールドの集合により構成される。 ・前述した「データフィールドの長さ」は、以下の No.1～5 の長さの合計値とフィールド区分文字との和を表す。 ・データのないデータフィールドは省略。 ・サブフィールド識別子を持たないデータは、以下の No.1～3 の項目を省略。 ・データ及びタグについては(*3)を参照。
1	インディケータ	数字 / 英字	0,2	存在しない場合は省略。
2	サブフィールド開始文字	Binary	0,2	サブフィールド識別子の最初の文字。1f(Hex)固定
3	サブフィールド識別文字	数字 / 英字	1	サブフィールド識別子の 2 文字目。サブフィールドを識別するための英小文字 1 字。(*3)
4	データ	数字 / 英字 / 漢字	可変長	データフィールドの値を表示。
5	フィールド区分文字	Binary	1	フィールド区分文字。1e(Hex)固定
レコード区分文字 (*2)				各レコードの最後に挿入する。
1	レコード区分文字	Binary	1	レコード区分文字。1d(Hex)固定

(*1)文字コード体系は、以下のとおりとする。

文字コード	符号化方式
UCS or ISO/IEC 10646	UTF-8

(*2)本ファイルのレコード形式の考え方を以下にまとめる。



(*3)以下にタグ一覧を記載する。凡例は以下のとおり。

【フィールド】

番号順にフィールドを並べる。

【サブフィールド識別文字／文字位置】

出現順にサブフィールド識別文字・文字位置を並べる。

【必須】

当館で作成する書誌データにおけるフィールド、サブフィールド、文字位置の要求度を示す。フィールド名と同行にある場合は、フィールドの要求度、サブフィールド名又は文字位置名と同行にある場合は、フィールドが存在する場合のサブフィールドの要求度をそれぞれ示す。

フィールド、サブフィールド、文字位置が省略不可で、必ず出現する場合は「M」と記載する。当フォーマットでは、固定長フィールドの任意の文字位置において、コード不使用の値「|」が許容される場合であっても、値の省略は不可であることから、「M」と記載することとする。

＜記号の用法＞

- M 必須 (Mandatory)
- A あれば必須 (Applicable)
- O 任意 (Optional)

【繰り返し】

フィールド単位、サブフィールド単位の繰り返し可否を示す。フィールド名と同行にある場合は、フィールド単位の繰り返し、サブフィールド名と同行にある場合は、サブフィールド単位の繰り返しをそれぞれ示す。繰り返し可否については、米国議会図書館の定める「MARC 21 Format for Bibliographic Data」に基本的に準拠するが、一部、当館の書誌作成ルールにより、繰り返しの制約を設ける。

<記号の用法>

- 繰り返し可
- 空白 繰り返し不可

【繰り返し (対)】

同一フィールド内でサブフィールドが対になって繰り返し可であるかどうかを示す。

<記号の用法>

- 同一記号が記入された隣り合うサブフィールドは、対になって繰り返し可
- 空白 対になって繰り返し不可

【備考】

<記号の用法>

- # 半角スペース
- (M) JAPAN/MARC(M)
- (S) JAPAN/MARC(S)

【サンプル】

サブフィールド単位でサンプルデータを例示する。必ずしもフィールド単位で一連のデータになっていないことを注意されたい。

<記号の用法>

- # 半角スペース (固定長フィールドのみ。可変長フィールドのサンプルでは、スペースは特に記号で示さない)

フィールド	フィールド名	インディケータ1	インディケータ2	サブフィールド識別文字 ／文字位置	サブフィールド名称 ／文字位置名称	必須	繰り返し	繰り返し(対)	備考	サンプル
001	レコード管理番号	-	-			M				000002603010
003	レコード管理番号識別子	-	-			M			"JTNDL"固定	JTNDL
005	レコード最終更新年月日	-	-			M			YYYYMMDDHHMMSS.0	20001221145237.0
007	物理的属性コード化情報(文字資料)	-	-			M			2Byte(資料種別ごとにByte数は異なる)	
				00	資料カテゴリー	M			"t"固定	t
				01	特定資料種別	M			"a":普通活字 "b":大活字 "u":特定しない "z":その他	b
007	物理的属性コード化情報(地図資料)	-	-			M			8Byte(資料種別ごとにByte数は異なる)	
				00	資料カテゴリー	M			"a"固定	a
				01	特定資料種別	M			"j"固定	j
				02	未定義	M			"#"固定	#
				03	色彩	M			" "固定	
				04	材質	M			"a"固定	a
				05	複製方法	M			" "固定	
				06	製造・複製の詳細情報	M			" "固定	
07	極性	M			" "固定					
007	物理的属性コード化情報(楽譜)	-	-			M			2Byte(資料種別ごとにByte数は異なる)	
				00	資料カテゴリー	M			"q"固定	q
				01	特定資料種別	M			"u"固定	u
007	物理的属性コード化情報(録音資料)	-	-			M			14Byte(資料種別ごとにByte数は異なる)	
				00	資料カテゴリー	M			"s"固定	s

				01	特定資料種別	M			"d" : 録音ディスク "s" : 録音カセット "t" : 録音リール "z" : その他	d
				02	未定義	M			"#"固定	#
				03	再生速度	M			" "固定	
				04	録音チャンネル数	M			" "固定	
				05	音溝の幅(アナログ・ディスク)	M			" "固定	
				06	大きさ	M			" "固定	
				07	テープの幅	M			" "固定	
				08	テープの構成	M			" "固定	
				09	記録媒体の種類	M			" "固定	
				10	材料の種類	M			" "固定	
				11	カッティングの種類	M			" "固定	
				12	再生方法の特性	M			" "固定	
				13	音の記録方式	M			" "固定	
007	物理的属性コード化情報(映像資料)	-	-			M			9Byte(資料種別ごとにByte数は異なる)	
				00	資料カテゴリー	M			"v"固定	v
				01	特定資料種別	M			"d" : ビデオディスク "f" : ビデオカセット	d
				02	未定義	M			"#"固定	#
				03	色彩	M			" "固定	
				04	録画特性	M			"a" : ベータ(1/2インチ, ビデオカセット) "b" : VHS(1/2インチ, ビデオカセット) "c" : U マチック(3/4インチ, ビデオカセット) "g" : レーザーディスク "s" : Blu-ray disc "v" : DVD "z" : その他	s
				05	音声の形態	M			" "固定	
				06	音声用の媒体	M			" "固定	
				07	大きさ	M			" "固定	
				08	録音チャンネル数	M			" "固定	

007	物理的属性コード化情報(映像資料(静止画))	-	-		M		6Byte(資料種別ごとにByte数は異なる)		
				00	資料カテゴリー	M		"g"固定	g
				01	特定資料種別	M		"c": フィルムストリップ(カートリッジ) "d": シートフィルム "o": フィルムストリップ(ロール) "s": スライド "t": トランスペアレncy	s
				02	未定義	M		"#"固定	#
				03	色彩	M		" "固定	
				04	ベース(支持体)	M		" "固定	
				05	音声の形態	M		" "固定	
				06	音声用の媒体	M		" "固定	
				07	大きさ	M		" "固定	
08	副次的材料	M		" "固定					
007	物理的属性コード化情報(静止画資料)	-	-		M		6Byte(資料種別ごとにByte数は異なる)		
				00	資料カテゴリー	M		"k"固定	k
				01	特定資料種別	M		"a": かるた等 "h": 写真 "i": 静止画 "k": ポスター "l": 設計図 "p": 絵葉書 "o": カード	i
				02	未定義	M		"#"固定	#
				03	色彩	M		" "固定	
				04	主要な基盤体の種類	M		" "固定	
05	副次的な基盤体の種類	M		" "固定					
007	物理的属性コード化情報(電子資料)	-	-		M		14Byte(資料種別ごとにByte数は異なる)		
				00	資料カテゴリー	M		"c"固定	c
				01	特定資料種別	M		"b": ICカード、半導体メモリ "j": 磁気ディスク "m": 光磁気ディスク "o": 光学ディスク "r": オンライン資料 "z": その他	j
02	未定義	M		"#"固定	#				

				03	色	M		" "固定	
				04	大きさ	M		"n"固定	n
				05	音声の有無	M		" "固定	
				06-08	画像のビット数	M		" "固定	
				09	ファイル形式	M		" "固定	
				10	品質保証対象	M		"u"固定	u
				11	デジタル化資料の由来情報	M		"n"固定	n
				12	圧縮レベル	M		" "固定	
				13	再変換レベル	M		" "固定	
007	物理的属性コード化情報(点字資料)	-	-			M		10Byte (資料種別ごとに Byte 数は異なる)	
				00	資料カテゴリー	M		"f"固定	f
				01	特定資料種別	M		"b"固定	b
				02	未定義	M		"#"固定	#
				03-04	記述対象属性	M		" "固定	
				05	縮約レベル	M		" "固定	
				06-08	点字音楽フォーマット	M		" "固定	
				09	物理的特性	M		"n" : 適用しない " ": コード不使用	
007	物理的属性コード化情報(マイクロ資料)	-	-			M		13Byte (資料種別ごとに Byte 数は異なる)	
				00	資料カテゴリー	M		"h"固定	h
				01	特定資料種別	M		"d" : マイクロフィルム "e" : マイクロフィッシュ "g" : マイクロオペーク "z" : その他	d
				02	未定義	M		"#"固定	#
				03	極性	M		" "固定	

				04	大きさ	M		【マイクロフィルム】 "a" : 8 mm. "d" : 16 mm. "f" : 35 mm. "g" : 70 mm. "h" : 105 mm. 【マイクロフィッシュ・マイクロオペーク等】 "m" : 4x6 in. or 11x15 cm. 【その他】 "z" : その他 " ": コード不使用	a
				05	縮率の範囲	M		" "固定	
				06-08	縮率	M		" "固定	
				09	色彩	M		" "固定	
				10	フィルム感光乳剤	M		" "固定	
				11	世代	M		" "固定	
				12	フィルム地	M		" "固定	
008	一般コード化情報（共通）	-	-			M		固定長 40Byte	
				00-05	レコード新規作成年月日	M		YYMMDD YYは西暦年の下二桁	091221
				06	刊行種別コード	M		"c" : 継続刊行中（逐次刊行資料） "d" : 刊行終了（逐次刊行資料） "m" : 複数の日付（多巻もの） "n" : 日付不明 "s" : 単一の日付（日付 2 は (####) となる） "u" : 刊行状態不明（逐次刊行資料）	c
				07-10	西暦年 1	M		西暦年の全体もしくは一部が不明な場合は、"u"を使用する。	1967
				11-14	西暦年 2	M		西暦年の全体もしくは一部が不明な場合は、"u"を使用する。 008/06 の値が"c"である場合、"9999"を記録する。	198u

				15-1 7	出版国コード	M			使用コード： MARC Code List for Countries	ja#
				35-3 7	言語コード	M			使用コード： MARC Code List for Languages	jpn
				38	改変レコードコ ード	M			"#"：改変なし "x"：文字の欠落あ り（レコード中にゲ タ（=）が存在する 場合）	x
				39	目録作成機関	M			"#"固定	#
008	一般コード化 情報（図書）	-	-	18-2 1	挿図等	M			" "固定	
				22	対象利用者コー ド	M			"#"：指定なし、又 は不明 "g"：一般 "j"：児童書	g
				23	物理的属性	M			"#"：指定なし、又 は不明 "a"：マイクロフィ ルム "b"：マイクロフィ ッシュ "c"：マイクロオペ ーク "d"：大活字図書 "f"：点字図書	a
				24-2 7	資料形式	M			" "固定	
				28	政府刊行物	M			"#"：民間出版物 "f"：中央官庁 "l"：地方自治体 "z"：その他 " "：コード不使用	f
				29	会議録	M			" "固定	
				30	記念論文集	M			" "固定	
				31	索引	M			" "固定	
				32	未定義	M			" "固定	
				33	文学形式	M			" "固定	
				34	伝記	M			" "固定	
008	一般コード化 情報（地図資 料）	-	-	18-2 1	高低差の表現	M			" "固定	
				22-2 3	投影図法	M			MARC21 Bibliographic ： 008 - Maps のコード値を参照。	bd
				24	未定義	M			"#"固定	#

			25	地図タイプ	M		" "固定	
			26-27	未定義	M		"##"固定	##
			28	政府刊行物	M		"#" : 民間出版物 "f" : 中央官庁 "l" : 地方自治体 "z" : その他 " " : コード不使用	f
			29	物理的属性	M		"#" : 指定なし、又は不明 " " : コード不使用	
			30	未定義	M		"#"固定	#
			31	索引	M		" "固定	
			32	未定義	M		"#"固定	#
			33-34	フォーマット特性	M		"##" : 指定なし " " : コード不使用	
008	一般コード化情報 (楽譜・録音資料)	-	-	18-19	音楽タイプ	M	" "固定	
				20	音楽形態	M	" "固定	
				21	音楽のパート	M	"u"固定	u
				22	対象利用者コード	M	"#" : 指定なし、又は不明 "g" : 一般 "j" : 児童書	g
				23	物理的属性	M	"q" : 録音資料 "r" : 印刷資料 "#" : 指定なし、又は不明	#
				24-29	関連事項	M	" "固定	
				30-31	本文の文学形式	M	"##"固定	##
				32	未定義	M	"#"固定	#
				33	転調・編曲	M	"u"固定	u
				34	未定義	M	" "固定	#
008	一般コード化情報 (電子資料)	-	-	18-21	未定義	M	"####"固定	####
				22	対象利用者コード	M	"#" : 指定なし、又は不明 "g" : 一般 "j" : 児童書	g
				23	物理的属性	M	"#"固定	#
				24-25	未定義	M	"##"固定	##

008	一般コード化 情報（映像・静 止画資料）		26	電子的内容	M		"a" : 数値データ "b" : コンピュー タ・プログラム "c" : 画像データ "d" : 文書データ "f" : フォント・デ ータ "g" : ゲーム・ソフ トウェア "h" : 録音データ "i" : インタラクテ イブ・マルチメディ ア "m" : 複合体 "z" : その他	a
			27	未定義	M		"#"固定	#
			28	政府刊行物	M		"#": 民間出版物 "f": 中央官庁 "l": 地方自治体 "z": その他 " ": コード不使用	f
			29-3 4	未定義	M		"#####"固定	#####
			18-2 0	再生時間	M		" "固定	
			21	未定義	M		"#"固定	#
			22	対象利用者コー ド	M		"#": 指定なし、又 は不明 "g": 一般 "j": 児童書	g
			23-2 7	未定義	M		"#####"固定	#####
			28	政府刊行物	M		"#": 民間出版物 "f": 中央官庁 "l": 地方自治体 "z": その他 " ": コード不使用	f
			29	物理的属性	M		"#": 指定なし、又 は不明 "q": 映像資料 "s": 電子資料	s
			30-3 2	未定義	M		"####"固定	###
			33	資料内容種別	M		"i": 静止画 "l": 設計図 "o": カード "s": スライド "v": 映像資料 " ": コード不使用	i
			34	動画技術	M		"u"固定	u

008	一般コード化 情報（継続資 料）	-	-	18	刊行頻度	M		"a" : 年刊 "b" : 隔月刊 "c" : 半週刊 "d" : 日刊 "e" : 隔週刊 "f" : 半年刊 "g" : 隔年刊 "h" : 3年1回刊 "i" : 週3回刊 "j" : 旬刊 "m" : 月刊 "q" : 季刊 "s" : 半月刊 "t" : 年3回刊 "u" : 不明 "w" : 週刊 "z" : その他 "#": 不定期刊	a
				19	刊行の規則性	M		"r" : 定期 "u" : 不明 "x" : 完全に不定期 " ": コード不使用	r
				20	未定義	M		"#"固定	#
				21	逐次刊行物種別 コード	M		"n" : 新聞 "p" : 逐次刊行物 " ": コード不使用	n
				22	原資料の物理的 属性	M		"#"固定	#
				23	物理的属性	M		"#": 指定なし、又 は不明 "a" : マイクロフ ィルム "b" : マイクロフ ィッシュ "c" : マイクロオ ーク "d" : 大活字 "f" : 点字 "o" : オンライン資 料 "s" : 電子資料	a
				24	継続刊行レベル の資料形式	M		"#"固定	#
				25-2 7	構成レベルの資 料形式	M		"###" : 指定なし、 又は不明 "i##" : 総目次・総 索引あり	i##
				28	政府刊行物	M		"#": 民間出版物 "f" : 中央官庁 " ": 地方自治体 "z" : その他 " ": コード不使用	f
				29	会議録	M		" "固定	
		30-3 2	未定義	M		"###"	###		

				33	原綴タイトルの 使用文字種	M			"a" : ローマ字 "b" : 符号付きロー マ字 "c" : キリル文字 "d" : 仮名、日本漢 字 "e" : 中国漢字 "f" : アラビア文字 "g" : ギリシャ文字 "h" : ヘブライ文字 "i" : タイ文字 "j" : デーヴァナー ガリー文字 "k" : ハングル "l" : タミル文字 "z" : その他 " " : コード不使用	f
				34	記入リンクフイ ールドの有無	M			"0" : 先行記入・後 継記入あり " " : 先行記入・後 継記入なし	0
015	全国書誌番号	#	#			M				
	\$a			全国書誌番号	M					20572013
	\$2			全国書誌作成機 関	M			"jnb"固定		jnb
020	国際標準図書 番号 (ISBN)	#	#			A	○			
	\$a			ISBN	A					978-4-333-02332- 5
	\$z			取り消された又 は無効な ISBN 等	A	○		キャンセルされた ISBN、誤登録された ISBN に加え、単行レ ベルの書誌における 集合単位に付与され たセット ISBN もここ に収める。		978-4-284-30175- 6 (set)
	\$c			入手条件・定価	A					1300 円
022	国際標準逐次 刊行物番号 (ISSN)	#	0			A	○	第 1 インディケー タ : 国際レベル "#": ISSN 国際セン ターに送付しない "0": ISSN 国際セン ターに送付する		
	\$a			ISSN	A					1560-1560
	\$l			ISSN-L	A					1234-1231
	\$m			取り消された ISSN-L	A	○				1560-1560
	\$y			誤った ISSN	A	○				0046-2254
	\$z			取り消された ISSN	A	○				0027-3473
	\$2			ISSN センターコ ード	A			使用コード: ISSN National Centres code list		22

028	出版者番号	0 1 2 5	0			A	○	第 1 インディケータ : 出版者番号種別 "0" : 発売番号 "1" : 原盤番号 "2" : プレート番号 "5" : その他出版者番号、又は番号なし		
				\$a	出版者番号	M				M4X-31427
				\$b	レーベル名	A				Columbia
034	数値データ : コード化情報 (地図資料)	0 1 3	#			A	○	第 1 インディケータ : 縮尺種別 "0" : 縮尺決定不能・表示なし "1" : 単一の縮尺 "3" : 縮尺レンジ		
				\$a	縮尺種別	M			"a" : 距離縮尺 "b" : 角度による縮尺 "z" : その他の縮尺タイプ	a
				\$b	水平縮尺	A	○			25000
				\$c	垂直縮尺	A	○			100
				\$d	最西経度	A				W1800000
				\$e	最東経度	A				E1800000
				\$f	最北緯度	A				N0840000
				\$g	最南緯度	A				S0700000
035	他 MARC 番号等	# 9	#			0	○	第 1 インディケータ : 番号等の種類 #: 未定義 9: 旧書誌 ID		
				\$a	他 MARC 番号等	M			冒頭に括弧つきで番号の由来情報を記録する。 "(JP-ItNTS)" : NS-MARC 番号 "(JP-ToKJK)" : NACSIS 書誌 ID	(JP-ItNTS) 120415 300
				\$z	無効な他 MARC 番号等	A	○		冒頭に括弧つきで番号の由来情報を記録する。 "(JP-ItNTS)" : NS-MARC 番号 "(JP-ToKJK)" : NACSIS 書誌 ID	(JP-ItNTS) 120415 301
040	レコード作成機関	#	#			M				
				\$a	レコード作成機関コード	A			"JTNDL"固定	JTNDL
				\$b	目録用言語コード	A			使用コード :	jpn
				\$c	レコード変換機関コード	M			"JTNDL"固定	JTNDL

				\$e	目録規則	0	○	“ncr/1987”：日本目録規則 1987 年版改訂版 “ncr/1977”：日本目録規則新版予備版 “ncr”：日本目録規則 “ndlserial”：国立国会図書館逐次刊行物目録規則	ncr/1987
041	言語コード	0 1	#			A	○	第 1 インディケータ：翻訳指示 “0”：翻訳資料以外 “1”：翻訳資料（資料全体あるいは大半が翻訳されたもの）	
				\$a	本文の言語	M	○	使用コード： MARC Code List for Languages 翻訳資料を除き、本文の言語が 1 つの場合にはコードを記録せず、008/35-37 にのみ記録する。	jpn
				\$h	原文の言語	A	○	使用コード： MARC Code List for Languages	fre
044	出版・製作国コード	#	#			A			
				\$a	MARC 国名コード	M	○	使用コード： MARC Code List for Countries 国が 2 以上の場合に、全ての国名のコードをここに記録する。国が 1 つの場合は、008/15-17 にのみコードを記録する。	ko
045	内容年	0 1 2	#			0		(M)でのみ使用 第 1 インディケータ：内容年種別 “0”：単一の日付 “1”：複数の日付 “2”：期間	
				\$b	西暦年（定型）	A	○		d1972
084	分類記号	#	#			A	○		
				\$a	分類記号	M	○		EG281

				\$2	分類法	M			“kktb” : “NDLC” “njb” : “NDC” “njb/09” : “NDC 9 版” “njb/08” : “NDC 8 版” “njb/06” : “NDC 6 版” “njb/06T” : “NDC 6 版 大正期・昭和前期版” “njb/06M” : “NDC 6 版 明治期版”	kktb
090	請求記号	#	#			M	○			
				\$a	請求記号	M				Y13-15
098	地図各種番号	#	#			0			(M)でのみ使用	
				\$a	UTM 区画番号	A	○			NK-54-22-1-4
				\$b	全国地方公共団体コード	A	○			01234
				\$d	各国国内海図番号	A	○			70
				\$e	国際海図番号	A	○			INT5310
210	キータイトル略語形	1	#			0	○		(S)でのみ使用	
				\$a	キータイトル略語形	M				Intern. med.
				\$b	キータイトル略語形の識別情報	A				(Tokyo)
222	キータイトル	#	0			A	○		(S)でのみ使用	
				\$a	キータイトル	M				Internal medicine
				\$b	キータイトル識別情報	A				(Tokyo)
245	タイトルと責任表示に関する事項	0	0			M			2 番目以降の本タイトル・責任表示の記述については、注 1 を参照のこと。	
				\$6	読みの対応関係	A			当該フィールドの読みを格納するフィールド 880 との対応関係を記述する。注 2 を参照。	880-01
				\$a	本タイトル	M				山王遺跡
				\$h	資料種別	0				[点字資料]
				\$b	タイトル関連情報	A				仙塩道路建設に係わる発掘調査報告書
				\$n	巻次又は部編番号	A	○	○	単行資料の巻次、又は逐次刊行資料の部編番号を収録する。逐次刊行資料の場合、当該サブフィールドは\$aの後に出現	図版資料編

										する。	
				\$p	部編名	A	○	○	(S)でのみ使用 逐次刊行資料の場合、当該サブフィールドは上記の\$nの後又は\$aの後に出現する。	八幡地区	
				\$c	責任表示	A				多賀城市埋蔵文化財調査センター編	
246	別タイトル	0 1 2 3	0 1 3 4 7 8			A	○		第1インディケータ：注記/タイトル制御 "0"：注記とする・タイトル制御なし "1"：注記とする・タイトル制御あり "2"：注記としない・タイトル制御なし "3"：注記としない・タイトル制御あり 第2インディケータ：タイトルの形式 "#":キータイトル展開形がある、最新号の本タイトルを格納する場合 "0"：部分タイトル "1"：並列タイトル "3"：参照タイトル、別タイトル、その他のタイトル "4"：表紙のタイトル "7"：ランニングタイトル "8"：背表紙のタイトル		
				\$6	読みの対応関係	A			当該フィールドの読みを格納するフィールド880との対応関係を記述する。注2を参照。	880-01	
				\$i	説明句	A			(S)でのみ使用	最新号の本タイトル:	
				\$a	並列タイトル、その他のタイトル	M				Memoirs of the College of Education	
				\$n	並列タイトル、その他のタイトル部編番号	A	○		(S)でのみ使用	1	

				\$p	並列タイトル、その他のタイトル部編名	A	○		(S)でのみ使用	Educational science	
				\$b	並列タイトル、その他のタイトル関連情報	A				文化展望・四日市	
				\$g	付記事項(その他のタイトル)	A			(S)でのみ使用		
250	版に関する事項	#	#			A					
				\$a	版表示	M				改訂版	
				\$b	特定の版にのみ関係する責任表示等	A				森秀麿 改訂編集	
255	数値データに関する事項(地図資料)	#	#			A	○		(M)でのみ使用		
				\$a	縮尺	M				1:25000	
				\$b	投影法表示	A				ユニバーサル横メルカトル図法	
				\$c	経緯度	A				(E140° 13' -E140° 25' /N38° 50' -N38° 36')	
256	電子的内容(電子資料)	#	#			A					
				\$a	電子的内容	M				アプリケーション・プログラム	
260	出版・頒布等に関する事項	# 2 3	#			A	○		出版者・頒布者双方を記録する場合はサブフィールドを繰り返す。 第1インディケータ：出版事項の順序 “#”：非適用又は最初の出版事項 “2”：中間の出版事項 “3”：最新又は最後の出版事項		
				\$6	読みの対応関係	A				当該フィールドの読みを格納するフィールド880との対応関係を記述する。注2を参照。	880-01
				\$a	出版地・頒布地等	A	○	○			東京
				\$b	出版者・頒布者等	A	○	○			国立国会図書館
				\$c	出版年月・頒布年月等	A	○				2008.6
300	形態に関する事項	#	#			M	○				

				\$a	特定資料種別と資料の数量	M	○			1冊（ページ付なし）
				\$b	その他の形態的細目	A				アナログ, 78rpm
				\$c	大きさ	A	○			23×31cm
				\$e	付属資料	A				DVD-Video 1枚 (12cm)
310	刊行頻度	#	#			A			(S)でのみ使用	
				\$a	刊行頻度	M				隔年刊
362	順序表示（巻次・年月次）／休・廃刊注記	0 1	#			A	○		(S)でのみ使用 第1インディケータ：年月次のフォーマット "0"：順序表示（巻次・年月次） "1"：休・廃刊注記	
				\$a	順序表示（巻次・年月次）／休・廃刊注記	M				13巻1号 = 122号 (1984年1月) -
490	シリーズに関する事項	0	#			A	○			
				\$6	読みの対応関係	A			当該フィールドの読みを格納するフィールド880との対応関係を記述する。注2を参照。	880-01
				\$a	シリーズタイトル等	M	○	○		B. B. mook
				\$x	シリーズのISSN	A	○	○		1400-1144
				\$v	シリーズ番号	A	○	○		547
500	一般注記	#	#			0	○			
				\$a	一般注記	M				複製および翻刻
504	書誌注記	#	#			0	○			
				\$a	書誌注記	M				文献あり
505	内容に関する注記	0	# 0			0	○		(M)でのみ使用 第2インディケータ：内容のレベル #：一括内容細目 0：分割内容細目	
				\$a	内容に関する注記	A			内容細目を一括して記述する場合は、ここに記録する。	リール1 第一法令類纂 明治元年-明治10年 凡例・総目、目次(巻之1-巻之44)
				\$t	タイトル	A	○	○	内容細目の各著作のタイトルと責任表示を分けて記述する場合、タイトルをここに記録する。	演芸風聞録

				\$r	責任表示	A	○	○	内容細目の各著作のタイトルと責任表示を分けて記述する場合、責任表示をここに記録する。	水谷乙次郎 著
				\$g	その他の情報	A	○	○		(朝日新聞社昭和5年刊)
511	出演者注記	0	#			A	○			
				\$a	出演者注記	M				演奏:ディルク・ブロッセ指揮, 大阪市音楽団
516	電子的内容に関する注記	#	#			0	○			
				\$a	電子的内容に関する注記	M				プログラムファイル.
518	日時及び場所に関する注記	#	#			0	○			
				\$a	日時及び場所に関する注記	M				2004年アメリカ作品.
530	別の媒体に関する注記	#	#			0	○			
				\$a	別の媒体に関する注記	M			一部の資料群にのみ出現する。和図書等の大半の資料群では、フィールド 500の一般注記に記録する。	同一タイトルのBlu-ray版あり.
534	原資料に関する注記	#	#			A	○			
				\$t	原資料のタイトル	A				「女のきもち男のころ」
				\$c	原資料の出版事項	A				(致知出版社, 1999)
				\$p	説明句	M				の増訂
				\$l	原資料の所蔵情報	0				東北大学附属図書館
				\$n	原資料に関する注記	0	○			駒沢大学所蔵本を国立国会図書館で電子複写したものの.
538	システム要件に関する注記 (電子資料)	#	#			0	○			
				\$a	システム要件に関する注記	M				DAISY ver. 2.0.
546	言語注記	#	#			0	○			
				\$a	言語注記	A				ポルトガル語併記
550	出版・頒布等に関する注記	#	#			0	○		(S)でのみ使用	

				\$a	出版・頒布等に関する注記	M				発行所：漢方医学社.	
555	総目次・総索引注記	#	#			0	○		(S)でのみ使用		
				\$a	総目次・総索引注記	A				1号から30号までの総目次：35号収載	
563	装丁に関する注記	#	#			0	○		(M)でのみ使用		
				\$a	装丁に関する注記	M				和装	
580	記入リンクに関する注記	#	#			A	○		(S)でのみ使用		
				\$a	記入リンクに関する注記	M				以後「History」と改題.	
600	個人名件名標目	1	3	7			A	○	(M)でのみ使用 第1インディケータ：実体種別 "1"：個人名 "3"：家族名		
					\$6	読みの対応関係	A			当該フィールドの読みを格納するフィールド880との対応関係を記述する。注2を参照。	880-03
					\$a	個人名	M				Rudolf
					\$b	世系	A				1世
					\$d	生没年	A				1219-1291
					\$c	その他の付記事項	A				神聖ローマ皇帝
					\$2	情報源	M			"ndlsh"固定	ndlsh
					\$0	典拠レコード管理番号	M				00621408
610	団体名件名標目	2	7			A	○		(M)でのみ使用		
				\$6	読みの対応関係	A			当該フィールドの読みを格納するフィールド880との対応関係を記述する。注2を参照。	880-03	
				\$a	団体名	M				欧州経済共同体	
				\$2	情報源	M			"ndlsh"固定。	ndlsh	
				\$0	典拠レコード管理番号	M				000309334	
630	統一タイトル件名標目	0	7			A	○		(M)でのみ使用		
				\$6	読みの対応関係	A			当該フィールドの読みを格納するフィールド880との対応関係を記述する。注2を参照。	880-03	

				\$a	統一タイトル件名	M				てにをは紐鏡
				\$x	主題細目	A	○			評釈
				\$z	地名細目	A	○			
				\$y	時代細目	A	○			
				\$v	形式細目	A	○			索引
				\$2	情報源	M			"ndlsh"固定	ndlsh
				\$0	典拠レコード管理番号	M				00627019
650	普通件名標目	#	7			A	○		(M)でのみ使用	
				\$6	読みの対応関係	A			当該フィールドの読みを格納するフィールド 880 との対応関係を記述する。注 2 を参照。	880-03
				\$a	普通件名	M				教育課程
				\$x	主題細目	A	○		当該サブフィールドは\$z の後に出現することもある。	大学
				\$z	地名細目	A	○			日本
				\$y	時代細目	A	○			オスマン帝国時代
				\$v	形式細目	A	○			論文集
				\$2	情報源	M			"ndlsh"固定	ndlsh
				\$0	典拠レコード管理番号	M				00567142
651	地名件名標目	#	7			A	○		(M)でのみ使用	
				\$6	読みの対応関係	A			当該フィールドの読みを格納するフィールド 880 との対応関係を記述する。注 2 を参照。	880-03
				\$a	地名	M				アメリカ合衆国
				\$x	主題細目	A	○			外国関係
				\$z	地名細目	A	○			アラブ諸国
				\$y	時代細目	A	○			1945-
				\$v	形式細目	A	○			年表
				\$2	情報源	M			"ndlsh"固定	ndlsh
				\$0	典拠レコード管理番号	M				000562920
700	個人著者標目	1	# 2			A	○		第 2 インディケータ : 副出記入のタイプ "#": 情報なし "2": 分出記入	
				\$6	読みの対応関係	A			当該フィールドの読みを格納するフィールド 880 との対応関係を記述する。注 2	880-04

									を参照。	
				\$a	個人名	M				遠藤, 辰雄
				\$b	世系	A				3 世
				\$d	生没年	A				1912-1982
				\$c	その他の付記事 項	A				美学
				\$0	典拠レコード管 理番号	M				00339572
710	団体著者標目	2	# 2			A	○		第 2 インディケー タ : 副出記入のタイ プ "#": 情報なし "2": 分出記入	
				\$6	読みの対応関係	A			当該フィールドの読 みを格納するフィー ルド 880 との対応関 係を記述する。注 2 を参照。	880-04
				\$a	団体名	M				国立国会図書館総 務部
				\$0	典拠レコード管 理番号	0				00288354
720	非統制標目	2	#			A	○		(S)でのみ使用	
				\$6	読みの対応関係	A			当該フィールドの読 みを格納するフィー ルド 880 との対応関 係を記述する。注 2 を参照。	880-04
				\$a	非統制名称	M				
740	その他のタイト ル標目	0	#			A	○			
				\$6	読みの対応関係	A			当該フィールドの読 みを格納するフィー ルド 880 との対応関 係を記述する。注 2 を参照。	880-04
				\$a	その他のタイト ル標目	M				長弁私案抄.
760	上位シリーズ 記入	0	#			0	○		(S)でのみ使用	
				\$x	上位シリーズの ISSN	A				0287-7902
762	下位シリーズ 記入	0	#			0	○		(S)でのみ使用	
				\$x	下位シリーズの ISSN	A				0546-0476
765	原言語版記入	0	#			A	○		(S)でのみ使用	
				\$x	原言語版の ISSN	A				1884-0604

767	他言語版記入	0	#			0	○	(S)でのみ使用		
				\$x	他言語版の ISSN	A				1881-3720
770	挿入誌又は付録誌記入	0	#			0	○	(S)でのみ使用		
				\$x	挿入誌又は付録誌の ISSN	A				1884-0833
772	本体誌記入	0	#			A	○	(S)でのみ使用		
				\$x	本体誌の ISSN	A				1340-8984
775	異版記入	0	#			A	○	(S)でのみ使用		
				\$t	リンク先レコードのタイトル	A				季刊行政管理研究
				\$x	異版の ISSN	A				0386-684X
				\$w	リンク先レコードの管理番号	A	○			00000031059
776	他媒体版記入	0	#			0	○	(S)でのみ使用		
				\$x	他媒体版の ISSN	A				1349-7006
780	先行記入	0	0 1 4 5 6 7			A	○	(S)でのみ使用 第 2 インディケータ : 関係性種別 "0" : 継続 "1" : 分割 "4" : 合併 "5" : 吸収 "6" : 一部吸収 "7" : 派生		
				\$t	リンク先レコードのタイトル	A				年報 / 横浜市歴史博物館 編
				\$g	改題発生巻次・年月次	A	○			平成 15 年度版-
				\$x	リンク先レコードの ISSN	A				0451-5994
				\$w	リンク先レコードの管理番号	A	○			000000101910
785	後継記入	0	0 1 4 5 6 7			A	○	(S)でのみ使用 第 2 インディケータ : 関係性種別 "0" : 継続 "1" : 派生 "4" : 吸収 "5" : 一部吸収 "6" : 分割 "7" : 合併		
				\$t	リンク先レコードのタイトル	A				時事通信. 海外電報版 [マイクロ資料]
				\$g	改題発生巻次・年月次	A	○			2289 号-
				\$x	リンク先レコードの ISSN	A				1349-3531

				\$w	リンク先レコードの管理番号	A	○		000008938863
787	関連記入	0	#			0	○	(S)でのみ使用	
				\$i	関連の種別に関する情報	0	○		複製資料:
				\$t	リンク先レコードのタイトル	A			赤い鳥 [電子資料]
				\$x	リンク先レコードのISSN	A			0912-1935
				\$w	リンク先レコードの管理番号	A	○		000009398442
800	個人著者標目 (シリーズ)	1	#			A	○		
				\$6	読みの対応関係	A		当該フィールドの読みを格納するフィールド 880 との対応関係を記述する。注 2 を参照。	880-01
				\$a	個人名	M			Christie, Agatha
				\$b	世系	A			3 世
				\$d	生没年	A			1923-1998
				\$c	その他の付記事項	A			美学
				\$0	典拠レコード管理番号	M			00346403
810	団体著者標目 (シリーズ)	2	#			A	○		
				\$6	読みの対応関係	A		当該フィールドの読みを格納するフィールド 880 との対応関係を記述する。注 2 を参照。	880-01
				\$a	団体名	M			国際日本文化研究センター
				\$0	典拠レコード管理番号	M			00288541
856	電子資料アクセス情報	0 1 4 7	0 2			0	○	第 1 インディケータ: アクセス方法 "0": E-mail "1": FTP "4": HTTP "7": 他のアクセス方法 第 2 インディケータ: 関係性 "0": 当該資源 "2": 関連資源	
				\$u	URI (Uniform Resource Identifier: 統一資源識別子)	A	○		http://www.jstage.jst.go.jp/browse/jsceja/-char/ja/

				\$2	アクセス方法	A				
866	所蔵に関する事項	#	0			0	○		(S)でのみ使用	
				\$a	所蔵順序表示	0				1回(2004年7月1日)-20回(2008年7月1日)
				\$z	欠号情報/所蔵に関する注記	0	○			欠: 18回
880	他の字形による表現(カナ読み・ローマ字読み)	X	X			A	○		第1インディケータ・第2インディケータ 対応するフィールドの指示子と同値とする。読みの表現については、注2を参照。	
				\$6	読みの対応関係	M			対応するフィールドを指示する。	245-01/\$1
				X	対応するフィールドに同じ	M			対応するフィールドと同じ用法でサブフィールドを使用する。	

注1) 2番目以降の本タイトル・責任表示の記述について

2番目以降の本タイトル・責任表示は、フィールド245(タイトルと責任表示に関する事項)の末尾に半角スペースで連結して記述する。

例1) 245 00 \$6 880-01

\$a 信長公記□/

\$c 太田和泉守□著.□川角太閤記□/□[川角三郎右衛門□著].¥

ただし、2012年1月から作成されるデータのうち、2番目以降の本タイトルの著者が、2番目の本タイトルの著者と同一であり、かつタイトル関連情報・巻次が存在しない場合については、2番目以降の本タイトルをサブフィールド\$bに記録する。

例2) 245 00 \$6 880-01

\$a にごりえ□;

\$b たけくらべ□/

\$c 樋口一葉□作.¥

注2) 読みの表現方法について

読みの表現方法は、Appendix D: Multiscript Records の Model A に準拠する。

正規フィールドに対応するカナ形・ローマ字形読みをフィールド880(他の字形による表現(カナ読み・ローマ字読み))に保持する。正規フィールドと読みフィールドの対応関係は、サブフィールド\$6に下記のとおり値を格納することにより表現する。

フィールド名	\$6 の値
正規フィールド	読みフィールド番号-オカレンス番号
読みフィールド(カナ形又はハングル形)	正規フィールド番号-オカレンス番号/\$1
読みフィールド(ローマ字形)	正規フィールド番号-オカレンス番号/(B

※オカレンス番号とは、読みを持つ正規フィールドの出現順を示す 2 桁の数字である。

※ “/” は Appendix D で規定されている区切り記号。“\$1” は Script identification code で “Chinese, Japanese, Korean” を意味するコード値、“(B” は Script identification code で “Latin” を意味するコード値。

例 4) 245 00 \$6 880-01

\$a ばらいろの童話集□/

\$c アンドリュー・ラング□編著□;□川端康成,□野上彰□編訳. ¥

700 1# \$a Lang, □Andrew,

\$d 1844-1912

\$0 000446814 ¥

700 1# \$6 880-04

\$a 川端, □康成,

\$d 1899-1972

\$0 00028570 ¥

700 1# \$6 880-05

\$a 野上, □彰,

\$d 1909-1967

\$0 00056080 ¥

880 00 \$6 245-01/\$1

\$a バライロ△ノ△ドウワシュウ□/ ¥

880 00 \$6 245-01/(B

\$a Barairo△no△dowashu□/ ¥

880 1# \$6 700-04/\$1

\$a カワバタ, □ヤスナリ,

\$d 1899-1972

\$0 00028570 ¥

880 1# \$6 700-04/(B

\$a Kawabata, □Yasunari,

\$d 1899-1972

\$0 00028570 ¥

880 1# \$6 700-05/\$1

\$a ノガミ,□アキラ,

\$d 1909-1967

\$0 00056080ㄹ

880 1# \$6 700-05/(B

\$a Nogami,□Akira,

\$d 1909-1967

\$0 00056080ㄹ

例 4) 245 00 \$6 880-01

\$a 大韓民國의△性格과△그△世界的意義.ㄹ

880 00 \$6 245-01/\$1

\$a 대한△민국의△성격과△그△세계적△의의.ㄹ

9. データ例示

<凡例>

- ・ JAPAN/MARC MARC21 フォーマットの書誌レコード例を下表に示す。
- ・ 実際の JAPAN/MARC MARC21 フォーマットでは、データフィールドにはインディケータ（表中では「ind.」という）、サブフィールドコード、及び値が格納されているが、便宜上フィールドコードとともに示す。
- ・ レコードラベル、インディケータ、及び固定長フィールド中の半角スペースは「#」で示す。可変長フィールド中の半角スペースは特に記号で示さない。
- ・ サブフィールド区分文字は「\$」、フィールド区分文字は「¥」、レコード区分文字は「@」で示す。ただし「\$1」はサブフィールド中の値である。

<その1> 図書

レコードラベル	001121087##02382cam#a2200517#i#4500	
ディレクトリ	0010013000000030006000130050017000190070003000360080041000390150018000800200 0330009803500240013104000320015504100130018708400150020008400180021509000130 0233245013500246246005800381260005800439300001800497490005500515500004100570 5040018006115040018006296500056006476500071007037400024007747000031007987000 0480082970000450087788001230092288000770104588000920112288000560121488000620 1270880003701332880009501369880006001464880005801524880004301582880005501625 880007801680880004901758880005701807 ¥	
データフィールド		
フィールド	ind.	サブフィールドコード及び値
001		000011312370 ¥
003		JTNDL ¥
005		20111209101818.0 ¥
007		ta ¥
008		111110s2011#ja# g# # jpn##### ¥
015	##	\$a 22005239 \$2 jnb ¥
020	##	\$a 978-4-8057-0361-8 : \$c 8800 円 ¥
035	9#	\$a 000011312370 ¥
035	##	\$a (JP-ItNTS)130208000 ¥
040	##	\$a JTNDL \$b jpn \$c JTNDL \$e ncr/1987 ¥
041	1#	\$a jpn \$h eng ¥
084	##	\$a A141 \$2 kktb ¥
084	##	\$a 322.3 \$2 njb/09 ¥

090	##	\$a A141-J35 ¥
245	00	\$6 880-01 \$a 法と革命 : \$n 1 (欧米の法制度とキリスト教の教義) / \$c ハロルド・J.バーマン 著 ; 宮島直機 訳. ¥
246	30	\$6 880-02 \$a 欧米の法制度とキリスト教の教義 ¥
260	##	\$6 880-03 \$a 八王子 : \$b 中央大学出版部, \$c 2011.11. ¥
300	##	\$a 720p ; \$c 21cm. ¥
490	0#	\$6 880-04 \$a 日本比較法研究所翻訳叢書 ; \$v 60 ¥
500	##	\$a 原タイトル: Law and revolution. ¥
504	##	\$a 文献あり. ¥
504	##	\$a 索引あり. ¥
650	#7	\$6 880-05 \$a 法制史 \$z ヨーロッパ \$2 ndlsh \$0 00613374 ¥
650	#7	\$6 880-06 \$a キリスト教と政治 \$z ヨーロッパ \$2 ndlsh \$0 01180786 ¥
740	0#	\$a Law and revolution. ¥
700	1#	\$a Berman, Harold J \$0 01190416 ¥
700	1#	\$a Berman, Harold Joseph, \$d 1918-2007 \$0 01190416 ¥
700	1#	\$6 880-07 \$a 宮島, 直機, \$d 1942- \$0 00045747 ¥
880	00	\$6 245-01/\$1 \$a ホウ ト カクメイ. \$n 1 (オウベイ ノ ホウ セイド ト キリストキョウ ノ キョウギ). ¥
880	00	\$6 245-01/(B \$a Ho to kakumei. \$n 1 (Obei no ho seido to kirisutokyo no kyogi). ¥
880	30	\$6 246-02/\$1 \$a オウベイ ノ ホウ セイド ト キリストキョウ ノ キョウギ ¥
880	30	\$6 246-02/(B \$a Obei no ho seido to kirisutokyo no kyogi ¥
880	##	\$6 260-03/\$1 \$b チュウオウダイガクシュツパンブ. ¥
880	##	\$6 260-03/(B \$b Chuodaigakushuppanbu. ¥
880	0#	\$6 490-04/\$1 \$a ニホン ヒカクホウ ケンキュウジョ ホンヤク ソウシヨ ; \$v 60 ¥
880	0#	\$6 490-04/(B \$a Nihon hikakuho kenkyujo hon'yaku sosho ; \$v 60 ¥
880	#7	\$6 650-05/\$1 \$a ホウセイシ \$z ヨーロッパ \$0 00613374 ¥
880	#7	\$6 650-05/(B \$a Hoseishi \$z Yoroppa \$0 00613374 ¥
880	#7	\$6 650-06/(B \$a Kirisutokyo to seiji \$z Yoroppa \$0 01180786 ¥
880	#7	\$6 650-06/\$1 \$a キリストキョウ ト セイジ \$z ヨーロッパ \$0 01180786 ¥
880	1#	\$6 700-07/(B \$a Miyajima, Naoki, \$d 1942- \$0 00045747 ¥
880	1#	\$6 700-07/\$1 \$a ミヤジマ, ナオキ, \$d 1942- \$0 00045747 ¥@

<その2> 電子資料

レコードラベル	02529cmm#a2200373zi#4500
---------	--------------------------

ディレクトリ	0010013000000030006000130050017000190070015000360080041000510150018000920200 0220011004000320013208400160016408400180018009000170019824501290021525600300 0344260007400374300002500448490006600473500002600539538003200565538012800597 5050716007257000045014418800143014868800089016298800088017188800064018068800 11101870880006901981880005702050880004802107 ¥
--------	--

データフィールド

フィールド	ind.	サブフィールドコード及び値
001		000011268726 ¥
003		JTNDL ¥
005		20111208142811.0 ¥
007		co# n un ¥
008		110909s2011####ja#####g###d#####jpn# ¥
015	##	\$a 22005120 \$2 jnb ¥
020	##	\$c 52500 円 (税込) ¥
040	##	\$a JTNDL \$b jpn \$c JTNDL \$e ncr/1987 ¥
084	##	\$a YH231 \$2 kktb ¥
084	##	\$a 919.5 \$2 njb/09 ¥
090	##	\$a YH231-J10691 ¥
245	00	\$6 880-01 \$a 日本漢詩 \$h [電子資料]: \$b 繁体字図文版: 単機版. \$n 第4輯 明治/大正時代 / \$c 加藤国安 監修. ¥
256	##	\$a テキスト・データ. ¥
260	##	\$6 880-02 \$a 名古屋: \$b 凱希メディアサービス (発売), \$c [2011] ¥
300	##	\$a CD-ROM 1 枚; \$c 12cm. ¥
490	0#	\$6 880-03 \$a 雕龍日本漢文古籍検索叢書; \$v シリーズ 6 ¥
500	##	\$a ホルダー入(19cm) ¥
538	##	\$a Windows NT/2000/XP/Vista/7. ¥
538	##	\$a ハードディスク空き容量: テキストのみの場合 21.7MB, テキストと原書の図を合わせた場合 244MB. ¥
505	00	\$t 春濤詩鈔. \$t 枕山詩鈔. \$t 江戸名勝詩. \$t 敬宇詩集. \$t 逍遙遺稿. \$t 秋場桂園浴泉余詠. \$t 景蘇軒詩鈔. \$t 松塘詩鈔. \$t 黄石齋集. \$t 海舟遺稿. \$t 副島蒼海(蒼海詩選). \$t 雲海詩 鈔. \$t 懷古田舎詩存. \$t 戊戌遊草. \$t 陸羯南詩集. \$t 湖山樓十種. \$t 愛軒遺文. \$t 立庵詩 鈔. \$t 槐南集. \$t 來青閣集. \$t 行脚非詩集. \$t 蓮舟遺稿. \$t 棧雲峽雨日記並詩草. \$t 雨水 井上円了漢詩集. \$t 韻雅. \$t 松心榭詩鈔. \$t 蕉鹿窩遺稿. \$t 西湖四十字詩. \$t 碧堂絕句. \$t 秋碧吟廬詩鈔. \$t 湖南詩存. \$t 虛舟詩存. \$t 青崖詩存. \$t 詩董狐. \$t 幽玄洞雜筆. \$t 豹軒 詩鈔. \$t 暗窓余樂. \$t 雲井詩集. \$t 雲林遺稿. \$t 雲來起予吟草. \$t 維新兩雄詩文. ¥

700	1#	\$6 880-04 \$a 加藤, 国安, \$d 1952- \$0 00200277 ¥
880	00	\$6 245-01/\$1 \$a ニホン カンシ \$b ハンタイジ ズモンバン ¥
880	00	\$6 245-01/(B \$a Nihon kanshi \$b Hantaiji zumonban : T ¥
880	##	\$6 260-02/\$1 \$a ナゴヤ : \$b ガイキ メディア サービス ¥
880	##	\$6 260-02/(B \$a Nagoya : \$b Gaiki media sabisu (Hatsu ¥
880	0#	\$6 490-03/\$1 \$a チョウリュウ ニホン カンブン コセキ ケ ¥
880	0#	\$6 490-03/(B \$a Choryu nihon kanbun koseki kensaku so ¥
880	1#	\$6 700-04/\$1 \$a カトウ, クニヤス, \$d 1952- \$0 0020027 ¥
880	1#	\$6 700-04/(B \$a Kato, Kuniyasu, \$d 1952- \$0 00200277 ¥@

<その3>地図資料

レコードラベル	01005cem#a2200313zi#4500	
ディレクトリ	001001300000003000600013005001700019007000900036008004100045015001800086020 003400104034000600138040003200144084001600176084001900192090002000211098001 000231245005700241255002600298260004900324300001800373490005200391880004100 443880003400484880002900518880002300547880007200570880004900642 ¥	
データフィールド		
フィールド	ind.	サブフィールドコード及び値
001		000011312947 ¥
003		JTNDL ¥
005		20111209104741.0 ¥
007		aj# a ¥
008		111111s2011####ja# ### ### ### jpn# ¥
015	##	\$a 22005258 \$2 jnb ¥
020	##	\$a 978-4-432-33092-8 : \$c 11000 円 ¥
034	0#	\$a a ¥
040	##	\$a JTNDL \$b jpn \$c JTNDL \$e ncr/1987 ¥
084	##	\$a YG111 \$2 kktb ¥
084	##	\$a 291.37 \$2 njb/09 ¥
090	##	\$a YG111-14-212-A1 ¥
098	##	\$b 14212 ¥
245	00	\$6 880-01 \$a 厚木市 1(南部) \$h [地図資料]. \$n 201110. ¥
255	##	\$a [縮尺決定不能]. ¥
260	##	\$6 880-02 \$a 北九州 : \$b ゼンリン, \$c 2011.10. ¥
300	##	\$a 1 冊 ; \$c 39cm. ¥

490	0#	\$6 880-03 \$a ゼンリン住宅地図. \$a 神奈川県 ¥
880	00	\$6 245-01/\$1 \$a アツギシ 1 ナンブ. ¥
880	00	\$6 245-01/(B \$a Atsugishi 1 nanbu. ¥
880	##	\$6 260-02/\$1 \$b ゼンリン. ¥
880	##	\$6 260-02/(B \$b Zenrin. ¥
880	0#	\$6 490-03/\$1 \$a ゼンリン ジュウタク チズ. \$a カナガワケン ¥
880	0#	\$6 490-03/(B \$a Zenrin jutaku chizu. \$a Kanagawaken ¥@

<その4>楽譜・録音資料

レコードラベル	01834cjm#a2200313zi#4500	
ディレクトリ	001001300000003000600013005001700019007001500036008004100051015001800092020 002100110028002100131040003200152084001600184090001700200245020400217246004 000421260012400461300004300585511002500628518003800653538002700691505030800 718700004901026880009601075880005501171880018001226880011401406 ¥	
データフィールド		
フィールド	ind.	サブフィールドコード及び値
001		000011308933 ¥
003		JTNDL ¥
005		20111207163348.0 ¥
007		sd# ¥
008		111107s2011###ja## ugq ### ¥
015	##	\$a 22004993 \$2 jnb ¥
020	##	\$c 2500 円 (税込) ¥
028	00	\$a YZBL-1028 \$b Belta ¥
040	##	\$a JTNDL \$b jpn \$c JTNDL \$e ncr/1987 ¥
084	##	\$a YMC11 \$2 kktb ¥
090	##	\$a YMC11-J39919 ¥
245	00	\$6 880-01 \$a ピアノ・ファンタジー～バッハ・モーツァルト・ベートーヴェン \$h [録音資料] / \$c バッハ, モーツァルト, ベートーヴェン [作曲]; 森岡薫 ピアノ. ¥
246	21	\$a Piano fantasy Bach-Mozart-Beethoven
260	##	\$6 880-02 \$a [東京]: \$b 及川音楽事務所 : \$a [東京]: \$b クラウン徳間ミュージック販売 (発売), \$c 2011.10. ¥
300	##	\$a 録音ディスク 1 枚 (66 分): \$b CD.
511	0#	\$a 演奏: 森岡薫(P) ¥
518	##	\$a 収録: 2011 年 6 月, 2003 年 8 月. ¥

538	##	\$a 一部ライブ収録. ¥
505	0#	\$a (1)組曲ハ長調 K.399(モーツァルト)(2)変奏曲ハ長調(キラキラ星変奏曲)K.265(モーツァルト)(3)アヴェ・マリア(リスト編)(シューベルト)(4)イギリス組曲第2番イ短調 BWV807(J.S.バッハ)(5)ピアノ・ソナタ第12番イ長調 op.26(ベートーヴェン) ¥
700	1#	\$a Bach, Johann Sebastian, \$d 1685-1750 \$0 00432003
880	00	\$6 245-01/\$1 \$a ピアノ ファンタジー バッハ モーツァルト ベートーヴェン. ¥
880	00	\$6 245-01/(B \$a Piano fantaji bahha motsuaruto betoven. ¥
880	##	\$6 260-02/\$1 \$a [トウキョウ]: \$b オイカワ オンガク ジムシヨ : \$a [トウキョウ]: \$b クラウン トクマ ミュージック ハンバイ (ハツバイ), \$c 2011.10. ¥
880	##	\$6 260-02/(B \$a [Tokyo]: \$b Oikawa ongaku jimusho : \$a [Tokyo]: \$b Kuraun tokuma myujikku hanbai (Hatsubai), \$c 2011.10. ¥@

<その5>映像・静止画資料

レコードラベル	01596cgm#a2200301zi#4500	
ディレクトリ	001001300000003000600013005001700019007001000036008004100046015001800087020 001200105028004400117028001500161040003200176084001600208090001700224245006 300241260006300304300004700367490001300414490005600427538005000483505061000 533880004101143880003301184880004501217880003201262 ¥	
データフィールド		
フィールド	ind.	サブフィールドコード及び値
001		000011307306 ¥
003		JTNDL ¥
005		20111212102150.0 ¥
007		vd# v ¥
008		111104s2011###ja# g#####q###vu##### ¥
015	##	\$a 22005503 \$2 jnb ¥
020	##	\$c 3200 円 ¥
028	00	\$a NSDS-16381 \$b NHK エンタープライズ ¥
028	00	\$a NSDX-16384
040	##	\$a JTNDL \$b jpn \$c JTNDL \$e ncr/1987 ¥
084	##	\$a YL321 \$2 kktb ¥
090	##	\$a YL321-J23225 ¥
245	00	\$6 880-01 \$a NHK みんなのうた \$h [映像資料]. \$n 2006-2008. ¥
260	##	\$6 880-02 \$a [東京]: \$b NHK エンタープライズ : \$c 2011.10. ¥
300	##	\$a ビデオディスク 1 枚 (42 分): \$b DVD. ¥

490	0#	\$a NHK DVD ¥
490	0#	\$6 6880-03 \$aNHK みんなのうた DVD-box ;\$v v2 1997-2011
538	##	\$a カラー ステレオ ワイド 音声: PCM. ¥
505	0#	\$a (1)恋つぼみ(奥華子)(2)チグエソ地球の空の下で(ユ・ヘジュン)(3)ありがとう-こころのバラ(マイク眞木)(4)これってホメことば?(ことばおじさんとアナウンサーズ)(5)ぼくはくま(宇多田ヒカル)(6)野に咲く花のように(Gackt)(7)ハイ!グラスホッパー(高見のつぼ)(8)おしりかじり虫(おしりかじり虫)(9)ギンガムチェックの小鳥(湯川潮音)(10)CRYSTAL CHILDREN(クリスタルズ)(11)アロエだまめ(ハル&チッチ歌族)(12)数え歌(池田綾子)(13)PoPo Louise(栗コーダーカルテット& UA) ¥
880	00	\$6 245-01/\$1 \$a NHK ミンナ ノ ウタ. ¥
880	00	\$6 245-01/(B \$a NHK minna no uta. ¥
880	##	\$6 260-02/\$1 \$b NHK エンタープライズ. ¥
880	##	\$6 260-02/(B \$b NHK Entapuraizu. ¥ @

<その6> 逐次刊行物

レコードラベル	02591cas#a2200493zi#4500	
ディレクトリ	001001000000003000600010005001700016007000300033008004100036015001800077022 002800095040003200123084001400155090001300169210002300182222003100205245009 500236246005500331246003500386260007500421260010400496300001700600310001400 617362002000631500006200651550016700713710006300880710009600943720003101039 720000801070880010301078880007801181866002001259880005701279880003901336880 008601375880005801461880014101519880009301660880006801753880005001821880013 601871880009002007 ¥	
データフィールド		
フィールド	ind.	サブフィールドコード及び値
001		023161088 ¥
003		JTNDL ¥
005		20111209183703.0 ¥
007		ta ¥
008		111205c20009999ja#fr#p##### #####a jpn ¥
015	##	\$a 01029954 \$2 jnb ¥
022	0#	\$a 2186-6651 \$l 2186-6651 \$2 9 ¥
040	##	\$a JTNDL \$b jpn \$c JTNDL \$e ncr/1987 ¥

084	##	\$a ZM1 \$2 kktb ¥
090	##	\$a Z74-H266 ¥
210	1#	\$a Sci. Acad. Tsukuba ¥
222	#0	\$a Science Academy of Tsukuba ¥
245	00	\$6 880-01 \$a Science Academy of Tsukuba = \$b つくばサイエンス・アカデミー : 会報. ¥
246	21	\$6 880-02 \$a つくばサイエンス・アカデミー ¥
246	23	\$a SAT Science Academy of Tsukuba ¥
260	##	\$6 880-03 \$a [東京] : \$b つくばサイエンス・アカデミー, \$c 2000- ¥
260	3#	\$6 880-04 \$a [つくば] : \$b 茨城県科学技術振興財団つくばサイエンス・アカデミー. ¥
300	##	\$a 冊 ; \$c 30cm. ¥
310	##	\$a 半年刊 ¥
362	0#	\$a v. 1 (2000.11)- ¥
500	##	\$a v. 1 から no.10 までのタイトル関連情報: 会報. ¥
550	##	\$a 出版者変遷: つくばサイエンス・アカデミー (v. 1-no. 15)→ 茨城県科学技術振興財団つくばサイエンス・アカデミー (no. 16-) ¥
710	2#	\$6 880-05 \$a つくばサイエンスアカデミー \$0 001092197 ¥
710	2#	\$6 880-06 \$a 茨城県科学技術振興財団つくばサイエンスアカデミー \$0 001092198 ¥
720	2#	\$a Science Academy of Tsukuba ¥
720	2#	\$a SAT ¥
880	00	\$6 245-01/\$1 \$a Science Academy of Tsukuba = \$b ツクバ サイエンス アカデミー : カイ ホウ. ¥
880	00	\$6 245-01/(B \$a Science Academy of Tsukuba = \$b Tsukuba saiensu akademi : Kaiho. ¥
866	#0	\$a v. 1 (2000.11)- ¥
880	21	\$6 246-02/\$1 \$a ツクバ サイエンス アカデミー ¥
880	21	\$6 246-02/(B \$a Tsukuba saiensu akademi ¥
880	##	\$6 260-03/\$1 \$a [トウキョウ] : \$b ツクバ サイエンス アカデミー, \$c 2000- ¥
880	##	\$6 260-03/(B \$a [Tokyo] : \$b Tsukuba saiensu akademi, \$c 2000- ¥
880	3#	\$6 260-04/\$1 \$a [つくば] : \$b イバラキケン カガク ギジュツ シンコウ ザイダン ツクバ サイエンス アカデミー. ¥
880	3#	\$6 260-04/(B \$a [Tsukuba] : \$b Ibarakiken kagaku gijutsu shinko zaidan tsukuba saiensu akademi. ¥
880	2#	\$6 710-05/\$1 \$a ツクバ サイエンス アカデミー \$0 001092197 ¥
880	2#	\$6 710-05/(B \$a Tsukuba saiensu akademi \$0 001092197 ¥
880	2#	\$6 710-06/\$1 \$a イバラキケン カガク ギジュツ シンコウ ザイダン ツクバ サイエンス ア

		カデミー \$0 001092198 ¥
880	2#	\$6 710-06/(B \$a Ibarakiken kagaku gijutsu shinko zaidan tsukuba saiensu akademi \$0 001092198 ¥@

10. データ要素説明

内容

レコードラベル部.....	61
●00-04 書誌レコード長.....	61
●05 レコード・ステータス.....	61
●06 レコード種別.....	62
●07 書誌レベル.....	62
●08 制御種別コード.....	62
●09 文字コード.....	62
●10 インディケータの長さ.....	62
●11 サブフィールド識別子の長さ.....	62
●12-16 データのベースアドレス.....	63
●17 符号化レベル.....	63
●18 記述目録形式.....	63
●19 リンクレコード要求仕様.....	63
●20 データフィールド長領域の長さ.....	63
●21 先頭文字位置領域の長さ.....	63
●22 適用者指定項目の長さ.....	63
●23 未定義項目.....	63
00X : レコード管理ブロック.....	65
001 レコード管理番号.....	66
003 レコード管理番号識別子.....	67
005 レコード最終更新年月日.....	68
007 物理的属性コード化情報.....	69
008 一般コード化情報.....	79
01X-09X : 番号・コードブロック.....	93
015 全国書誌番号.....	94
020 国際標準図書番号 (ISBN).....	96
022 国際標準逐次刊行物番号 (ISSN).....	99
028 出版者番号.....	101
034 数値データ : コード化情報 (地図資料).....	103
035 他 MARC 番号等.....	106
040 レコード作成機関.....	108
041 言語コード.....	110
044 出版・製作国コード.....	112

045	内容年.....	114
084	分類記号.....	116
090	請求記号.....	118
098	地図各種番号.....	119
20X-24X	: タイトルブロック	121
210	キータイトル略語形.....	122
222	キータイトル.....	123
245	タイトルと責任表示に関する事項.....	124
246	別タイトル	132
25X-28X	: 版、資料特性、出版・頒布等ブロック	136
250	版に関する事項.....	137
255	数値データに関する事項（地図資料）	139
256	電子的内容（電子資料）	142
260	出版・頒布等に関する事項.....	144
3XX	: 形態等ブロック	148
300	形態に関する事項	149
310	刊行頻度.....	153
362	順序表示（巻次・年月次）／休・廃刊注記.....	155
4XX	: シリーズブロック	156
490	シリーズに関する事項.....	157
5XX	: 注記ブロック	162
500	一般注記.....	163
504	書誌注記.....	165
505	内容に関する注記	166
511	出演者注記	171
516	電子的内容に関する注記	172
518	日時及び場所に関する注記.....	173
530	別の媒体に関する注記.....	174
534	原資料に関する注記.....	175
538	システム要件に関する注記（電子資料）	178
546	言語注記.....	180
550	出版・頒布等に関する注記.....	181
555	総目次・総索引注記.....	183
563	装丁に関する注記	184
580	記入リンクに関する注記	185
6XX	: アクセス・ポイント・ブロック（件名標目）	186

600	個人名件名標目	187
610	団体名件名標目	190
630	統一タイトル件名標目	192
650	普通件名標目	195
651	地名件名標目	198
70X-75X	: アクセス・ポイント・ブロック (著者標目等)	200
700	個人著者標目	201
710	団体著者標目	204
720	非統制標目	206
740	その他のタイトル標目	207
76X-78X	: 記入リンクブロック	208
760	上位シリーズ記入	209
762	下位シリーズ記入	210
765	原言語版記入	211
767	他言語版記入	212
770	挿入誌又は付録誌記入	213
772	本体誌記入	214
775	異版記入	215
776	他媒体版記入	217
780	先行記入	218
785	後継記入	221
787	関連記入	224
80X-83X	: アクセス・ポイント・ブロック (シリーズ著者標目)	226
800	個人著者標目 (シリーズ)	227
810	団体著者標目 (シリーズ)	230
84X-88X	: 所蔵、代替表現等ブロック	232
856	電子資料アクセス情報	233
866	所蔵に関する事項	234
880	他の字形による表現 (カナ読み・ローマ字読み)	235

レコードラベル部

レコードラベルは 24 桁からなり、各データ要素はその位置によって定義される。

要素名称	文字数	文字位置
書誌レコード長	5	00-04
レコード・ステータス	1	05
レコード種別	1	06
書誌レベル	1	07
制御種別コード	1	08
文字コード	1	09
インディケータの長さ	1	10
サブフィールド識別子の長さ	1	11
データのベースアドレス	5	12-16
符号化レベル	1	17
記述目録形式	1	18
リンクレコード要求仕様	1	19
データフィールド長領域の長さ	1	20
先頭文字位置領域の長さ	1	21
適用者指定項目の長さ	1	22
未定義項目	1	23

●00-04 書誌レコード長

書誌レコードの長さ(バイト数)を 5 桁の 10 進数で表示する。5 桁に満たない場合”00525”のように 0 埋めしている。典拠レコードの長さ (バイト数) とは、具体的には「レコードラベル部の長さ (24Byte) +ディレクトリ部の長さ+フィールド区分文字 (1Byte) +データフィールド群の長さ+レコード区分文字 (1Byte)」である。

●05 レコード・ステータス

- c 訂正
- n 新規
- d 削除

書誌レコードの状態を表すアルファベット 1 文字のコードが記録されている。2011 年 11 月までに作成したデータに一部 n のものが存在するが、通常は c を記録する。なお、頒布

される書誌レコードには、削除レコードは収録していない。

●06 レコード種別

a	文字資料
c	楽譜
e	地図資料
g	映像資料
i	録音資料（音楽録音資料を除く）
j	音楽録音資料
k	静止画資料
m	電子資料
t	文字資料（書写資料）

書誌レコードの種別を表すアルファベット 1 文字のコードを記録する。文字資料で印刷物の場合は a を記録する。一枚ものの地図や楽譜の場合は c や e を、冊子体の地図や楽譜の場合は a を記録する。

●07 書誌レベル

m	単行資料
s	逐次刊行資料

書誌レコードの種別を表すアルファベット 1 文字のコードを記録する。単行資料では常に m を、逐次刊行資料では常に s を記録する。

●08 制御種別コード

#	特定される種別なし
---	-----------

常に#を記録する。

●09 文字コード

a	UCS/ユニコード
---	-----------

常に a を記録する。

●10 インディケータの長さ

常に 2 を記録する。

●11 サブフィールド識別子の長さ

常に 2 を記録する。

●12-16 **データのベースアドレス**

データフィールド群の先頭位置を表す。書誌レコードの先頭からのバイト数を 10 進数 5 桁で表示する。5 桁に満たない場合“00337”のように 0 埋めしている。

●17 **符号化レベル**

#	フルレベル
3	簡略レベル
4	主要部のみ
z	非適用

書誌レコードの詳細度を表すアルファベット 1 文字のコードを記録する。2011 年 11 月までに作成したデータに一部#、3、4 のものが存在するが、通常は z を記録する。

●18 **記述目録形式**

#	非 ISBD
i	ISBD(区切り記号を含む)
u	不明

書誌レコードの記述目録形式を表すアルファベット 1 文字のコードを記録する。2011 年 11 月までに作成したデータに一部#、u のものが存在するが、通常は i を記録する。

●19 **リンクレコード要求仕様**

#	適用しない
---	-------

常に#を記録する。

●20 **データフィールド長領域の長さ**

常に 4 を記録する。

●21 **先頭文字位置領域の長さ**

常に 5 を記録する。

●22 **適用者指定項目の長さ**

常に 0 を記録する。

●23 **未定義項目**

常に 0 を記録する。

例) 01340cam#a2200349zi#4500

00X : レコード管理ブロック

このブロックには、レコード管理番号と、書誌レコードを処理する際に必要な、その他のコード化情報を記録する。

■フィールド一覧

001	レコード管理番号
003	レコード管理番号識別子
005	レコード最終更新年月日
007	物理的属性コード化情報
008	一般コード化情報

001 レコード管理番号

■インディケータ

なし

フィールド必須

フィールド繰り返し不可

■サブフィールドコード

なし

このフィールドには9桁又は12桁からなるレコード管理番号を記録する。フィールド末尾には区切り記号なし。

例 1) 001 012345678¥

例 2) 001 000009373972¥

003 レコード管理番号識別子

■インディケータ

なし

フィールド必須

フィールド繰り返し不可

■サブフィールドコード

なし

常に JTNDL ([MARC21 Organization Code Sources](#) で国立国会図書館を表すコード) を記録する。フィールド末尾には区切り記号なし。

例) 003 JTNDL¥

005 レコード最終更新年月日

■インディケータ

なし

フィールド必須

フィールド繰り返し不可

■サブフィールドコード

なし

このフィールドにはレコード最終更新日時を「yyyymmddhhmmss.f」の形式で記録する。
フィールド末尾には区切り記号なし。

yyyy：西暦年

mm：月

dd：日

hh：時(00-23 の 24 時制で表記)

mm：分

ss：秒

.f：秒の小数第一位

例) 005 20110310134034.0¥

007 物理的属性コード化情報

■インディケータ

なし

フィールド必須

フィールド繰り返し不可

■サブフィールドコード

なし

このフィールドには 10 の資料群 ([文字資料](#) (2 桁)、[地図資料](#) (8 桁)、[楽譜](#) (2 桁)、[録音資料](#) (14 桁)、[映像資料](#) (9 桁)、[映像資料\(静止画\)](#) (9 桁)、[静止画資料](#) (6 桁)、[電子資料](#) (14 桁)、[点字資料](#) (10 桁)、[マイクロ資料](#) (13 桁)) ごとに規定されたコード化情報を記録する。

以下の各項に記載されたコードは、説明中に別途指示がない限り記録する値を示す。

文字資料

●007/00 資料カテゴリー
常に t (文字資料) を記録する。

●007/01 特定資料種別
文字資料の特定資料種別を記録する。

a 普通活字

b 大活字

u 特定しない(2011年12月から作成するデータでは原則として使用しない)

z その他

例) 007 ta¥

地図資料

- 007/00 資料カテゴリー
常に a (地図) を記録する。
- 007/01 特定資料種別
地図資料の特定資料種別を記録する。
常に j (地図) を記録する。
- 007/02 未定義
常に # (未定義) を記録する。
- 007/03 色彩
常に | (コード不使用) を記録する。
- 007/04 材質
常に a (紙) を記録する。
- 007/05 複製方法
常に | (コード不使用) を記録する。
- 007/06 製造・複製の詳細情報
常に | (コード不使用) を記録する。
- 007/07 極性
常に | (コード不使用) を記録する。

例) 007 aj#|a|||¥

楽譜

- 007/00 資料カテゴリー
常に q (楽譜) を記録する。
- 007/01 特定資料種別
楽譜の特定資料種別を記録する。
常に u (特定しない) を記録する。

例) 007 qu¥

録音資料

- 007/00 資料カテゴリー
常に s (録音資料) を記録する。

- 007/01 特定資料種別
録音資料の特定資料種別を記録する。
 - d 録音ディスク
 - s 録音カセット
 - t 録音リール
 - z その他

- 007/02 未定義
常に # (未定義) を記録する。

- 007/03 再生速度
常に | (コード不使用) を記録する。

- 007/04 録音チャンネル数
常に | (コード不使用) を記録する。

- 007/05 音溝の幅 (アナログ・ディスク)
常に | (コード不使用) を記録する。

- 007/06 大きさ
常に | (コード不使用) を記録する。

- 007/07 テープの幅
常に | (コード不使用) を記録する。

- 007/08 テープの構成
常に | (コード不使用) を記録する。

- 007/09 記録媒体の種別
常に | (コード不使用) を記録する。

v DVD
z その他

- 007/05 音声の形態
常に | (コード不使用) を記録する。
- 007/06 音声用の媒体
常に | (コード不使用) を記録する。
- 007/07 大きさ
常に | (コード不使用) を記録する。
- 007/08 録音チャンネル数
常に | (コード不使用) を記録する。

例) 007 vd#|s|||¥

映像資料 (静止画)

- 007/00 資料カテゴリ
常に g (映像資料 (静止画)) を記録する。
- 007/01 特定資料種別
映像資料 (静止画) の特定資料種別を記録する。
2011年12月から作成するデータでは、以下のコード値を使用する。
 - c フィルムストリップ (カートリッジ)
 - d シートフィルム
 - o フィルムストリップ (ロール)
 - s スライド
 - t トランスペアレンシー2011年11月までのデータは、常に s (スライド) を記録している。
- 007/02 未定義
常に # (未定義) を記録する。
- 007/03 色彩
常に | (コード不使用) を記録する。

- 007/04 ベース（支持体）
常に |（コード不使用）を記録する。
- 007/05 音声の形態
常に |（コード不使用）を記録する。
- 007/06 音声用の媒体
常に |（コード不使用）を記録する。
- 007/07 大きさ
常に |（コード不使用）を記録する。
- 007/08 副次的材料
常に |（コード不使用）を記録する。

例) 007 gs#|||||¥

静止画資料

- 007/00 資料カテゴリー
常に k（静止画資料）を記録する。
- 007/01 特定資料種別
静止画資料の特定資料種別を記録する。
 - a かるた等（2011年12月から作成するデータでは、かるた、トランプ等に使用する）
 - h 写真
 - i 静止画（他に該当する値のない静止画全般で使用する）
 - k ポスター
 - l 設計図
 - p 絵葉書
 - o カード
- 007/02 未定義
常に #（未定義）を記録する。

●007/03 色彩
常に | (コード不使用) を記録する。

●007/04 主要な基盤体の種類
常に | (コード不使用) を記録する。

●007/05 副次的な基盤体の種類
常に | (コード不使用) を記録する。

例) 007 ki#|||¥

電子資料

●007/00 資料カテゴリー
常に c (電子資料) を記録する。

●007/01 特定資料種別
電子資料の特定資料種別を記録する。

- b IC カード、半導体メモリ (2011 年 12 月から作成するデータで使用する)
- j 磁気ディスク
- m 光磁気ディスク (2011 年 12 月から作成するデータで使用する)
- o 光学ディスク
- r オンライン資料
- z その他

●007/02 未定義
常に # (未定義) を記録する。

●007/03 色
常に | (コード不使用) を記録する。

●007/04 大きさ
常に n (適用しない) を記録する。

●007/05 音声の有無
常に | (コード不使用) を記録する。

- 007/06-08 画像のビット数
常に ||| (コード不使用) を記録する。
- 007/09 ファイル形式
常に | (コード不使用) を記録する。
- 007/10 品質保証対象
常に u (不明) を記録する。
- 007/11 デジタル化資料の由来情報
常に n (適用しない) を記録する。
- 007/12 圧縮レベル
常に | (コード不使用) を記録する。
- 007/13 再変換レベル
常に | (コード不使用) を記録する。

例) 007 co#|n||||un||¥

点字資料

- 007/00 資料カテゴリー
点字資料の特定資料種別を記録する。
常に f (点字資料) を記録する。
- 007/01 特定資料種別
常に b (点字資料) を記録する。
- 007/02 未定義
常に # (未定義) を記録する。
- 007/03-04 記述対象属性
常に || (コード不使用) を記録する。
- 007/05 縮約レベル
常に | (コード不使用) を記録する。

●007/06-08 点字音楽フォーマット
常に ||| (コード不使用) を記録する。

●007/09 物理的特性
n 適用しない(2011年12月から作成するデータでは原則として使用しない)
| コード不使用

例) 007 fb#|||||||¥

マイクロ資料

●007/00 資料カテゴリー
常に h (マイクロ資料) を記録する。

●007/01 特定資料種別
マイクロ資料の特定資料種別を記録する。

d マイクロフィルム
e マイクロフィッシュ
g マイクロオペーク
z その他

●007/02 未定義
常に # (未定義) を記録する。

●007/03 極性
常に | (コード不使用) を記録する。

●007/04 大きさ
マイクロ資料の大きさを記録する。

【マイクロフィルム】

a 8 mm.
d 16 mm.
f 35 mm.
g 70 mm.
h 105 mm.

【マイクロフィッシュ・マイクロオペーク等】

m 4x6 in. or 11x15 cm.

【その他】

z その他

| コード不使用

- 007/05 縮率の範囲
常に | (コード不使用) を記録する。

- 007/06-08 縮率
常に ||| (コード不使用) を記録する。

- 007/09 色彩
常に | (コード不使用) を記録する。

- 007/10 フィルム感光乳剤
常に | (コード不使用) を記録する。

- 007/11 世代
常に | (コード不使用) を記録する。

- 007/12 フィルム地
常に | (コード不使用) を記録する。

例) 007 he#|m| || || || || || ¥

008 一般コード化情報

■インディケータ

なし

フィールド必須

フィールド繰り返し不可

■サブフィールドコード

なし

このフィールドは 40 桁からなり、1～18 桁目及び 36～40 桁目 (008/00-17、008/35-39) には、全資料群に共通するコード化情報を記録する。19～35 桁目 (008/18-34) には、6 つの資料群 (図書、地図資料、楽譜・録音資料、映像資料、電子資料、継続資料) ごとに規定されたコード化情報を記録する。

以下の各項に記載されたコードは、説明中に別途指示がない限り記録する値を示す。

一般コード化情報 (共通)

●008/00-05 レコード新規作成年月日 (共通)

レコード新規作成年月日を「yymmdd (西暦下 2 桁、月、日)」の形式で記録する。

●008/06 刊行種別コード (共通)

008/07-10 (西暦年 1) 及び 008/11-14 (西暦年 2) に記録する日付の種類を示す。

継続資料の場合は、同時に、刊行状況をも示す。

- c 継続資料：刊行中 (西暦年 2 は「9999」となる)
- d 継続資料：刊行終了
- m 複数の日付 (多巻もの)
- n 日付不明 (西暦年 1、2 とも「uuuu」となる)
- s 単一の日付 (西暦年 2 は「####」となる)
- u 継続資料：刊行状況不明

●008/07-10 西暦年 1 (共通)

●008/11-14 西暦年 2 (共通)

出版年月 (260\$c) に対応した 4 桁の西暦年を記録する。

資料が多巻ものでも継続資料でもない場合は、西暦年 1 に記録し、西暦年 2 は「#####」となる (例 1)。(008/06 は「s」)

資料が多巻ものや継続資料の場合は、西暦年 1 に最初に刊行された年を、西暦年 2 に最後に刊行された年を記録する (例 2~5)。(008/06 は「c」「d」「m」又は「u」)

008/06 が「c」の場合は、西暦年 2 に「9999」を記録する。

出版年月が不明の場合は、西暦年 1 と西暦年 2 に「uuuu」を記録する。(008/06 は「n」)

使用可能文字は算用数字 (0~9) のほかに次のとおり。

u 一部又は全部が不明の場合

適用外 (008/06 が「s」の場合の 008/11-14 にのみ使用)

例 1) 資料が多巻ものでも継続資料でもない場合

008/06 s
008/07-10 2011
008/11-14 #####
260 ## \$c 2011.9.

例 2) 多巻もの

008/06 m
008/07-10 1998
008/11-14 1999
260 ## \$c 1998-1999

例 3) 継続資料 (刊行継続中)

008/06 c
008/07-10 1998
008/11-14 9999
260 ## \$c 1998-

例 4) 継続資料 (刊行終了)

008/06 d
008/07-10 1998
008/11-14 2011
260 ## \$c 1998-2011

例 5) 継続資料 (刊行状況不明)

008/06 u

008/07-10 1998
008/11-14 uuuu
260 ## \$c 1998-

例 6) 単行資料で出版年が一部不明の場合

008/06 s
008/07-10 19uu
008/11-14 #####
260 ## \$c [19--]

年代によっては、出版年が不明の場合やおおよその出版年代を推定した場合、上記以外の形で記録している場合もある（例 7～9）。

例 7) 008/06 n
008/07-10 uuuu
008/11-14 uuuu
260##\$c [出版年不明]

例 8) 008/06 s
008/07-10 0000
008/11-14 #####
260##\$c [出版年不明]

例 9) 008/06 s
008/07-10 1940
008/11-14 #####
260##\$c [昭和--]

●008/15-17 出版国コード（共通）

出版国コードを記録する。

コードは、[MARC Code List for Countries](#) から 2 桁のものを選択し、3 桁目はスペースとする。ただし、以下については 3 桁のコードを使用する。

xxc カナダ
xxk グレートブリテンおよび北部アイルランド連合王国（英国）
xxu アメリカ合衆国（米国）

上記の国に属する州名等のコード（3 桁）は使用しない。

出版地が複数あり、対応するコードが複数となる場合、008/15-17 には主たる出版地に対応したコードを記録し、フィールド 044（出版・製作国コード）に対応する全ての国のコードを記録する（例 10）。（044 は、複数のコードを記録する場合以外は使用しない。）

例 10) 出版国が日本と韓国であり、主要な国が日本である場合

008/15-17 ja#

044 ## \$a ja

\$a ko₩

●008/35-37 言語コード (共通)

本文の言語のコードを記録する。

コードは、[MARC Code List for Languages](#) を使用する。

本文の言語が 2 以上の場合、008/35-37 には主要な言語に対応したコードを記録し、フィールド 041 (言語コード) に対応する全ての言語のコードを記録する (例 11)。(041 は、複数のコードを記録する場合以外は使用しない。)

例 11) 日本語・ロシア語併記の場合

008/35-37 jpn

041 0# \$a jpn

\$a rus₩

●008/38 改変レコードコード (共通)

レコードに何らかの改変があるかどうかを、1 桁のコードで記録する。

改変なし

x 文字の欠落あり (レコード中にゲタ (=) が存在する場合)

●008/39 目録作成機関 (共通)

最初にレコードを作成した機関の種別を、1 桁のコードで記録する。

具体的な機関コードは、フィールド 040 (レコード作成機関) に記録する。

国立国会図書館が作成するレコードについては、常に「#」(全国書誌作成機関) を記録する。

一般コード化情報 (図書)

●008/18-21 挿図等 (図書)

常に |||| (コード不使用) を記録する。

●008/22 対象利用者コード (図書)

指定なし、又は不明

g 一般

j 児童書

年代によっては、一般又は児童書であっても「#」を記録している場合もある。

●008/23 物理的属性 (図書)

図書の物理的属性を記録する。大活字・点字でない印刷資料は「#」を記録する。

- # 指定なし、又は不明
- a マイクロフィルム
- b マイクロフィッシュ
- c マイクロオペーク
- d 大活字図書
- f 点字図書

●008/24-27 資料形式 (図書)

常に |||| (コード不使用) を記録する。

●008/28 政府刊行物 (図書)

- # 民間出版物
- f 中央官庁
- l 地方自治体
- z その他 (2011年12月から作成するデータでは原則として使用しない)
- | コード不使用 (2011年12月から作成するデータでは原則として使用しない)

●008/29 会議録 (図書)

常に | (コード不使用) を記録する。

●008/30 記念論文集 (図書)

常に | (コード不使用) を記録する。

●008/31 索引 (図書)

常に | (コード不使用) を記録する。

●008/32 未定義 (図書)

常に | (コード不使用) を記録する。

●008/33 文学形式 (図書)

常に | (コード不使用) を記録する。

- 008/34 伝記 (図書)
常に | (コード不使用) を記録する。

一般コード化情報 (地図資料)

- 008/18-21 高低差の表現 (地図資料)
常に |||| (コード不使用) を記録する。

- 008/22-23 投影図法 (地図資料)

255\$b に記録している投影図法をコード化して記録する場合は、[MARC 21 Bibliographic: 008 – Maps](#) のコード値に従って記録する。なお、以前のデータとの調整上、UNIMARC でのみ規定されている以下のコードも使用している。

cd	円錐図法
cf	ドリール図法
cg	万国図法(変更多円錐図法)
ch	ティソー指示楕円図法
di	多面体図法

- 008/24 未定義 (地図資料)
常に # (未定義) を記録する。

- 008/25 地図タイプ (地図資料)
常に | (コード不使用) を記録する。

- 008/26-27 未定義 (地図資料)
常に ## (未定義) を記録する。

- 008/28 政府刊行物 (地図資料)

#	民間出版物
f	中央官庁
l	地方自治体
z	その他 (2011年12月から作成するデータでは原則として使用しない)
	コード不使用 (2011年12月から作成するデータでは原則として使用しない)

- 008/29 物理的属性（地図資料）
 - # 指定なし、又は不明（2011年12月から作成するデータでは原則として使用しない）
 - | コード不使用

- 008/30 未定義（地図資料）
 - 常に #（未定義）を記録する。

- 008/31 索引（地図資料）
 - 常に|（コード不使用）を記録する。

- 008/32 未定義（地図資料）
 - 常に #（未定義）を記録する。

- 008/33-34 フォーマット特性（地図資料）
 - ## 指定なし（2011年12月から作成するデータでは原則として使用しない）
 - || コード不使用

一般コード化情報（楽譜・録音資料）

- 008/18-19 音楽タイプ（楽譜・録音資料）
 - 常に ||（コード不使用）を記録する。

- 008/20 音楽形態（楽譜・録音資料）
 - 常に |（コード不使用）を記録する。

- 008/21 音楽のパート（楽譜・録音資料）
 - 常に u（不明）を記録する。

- 008/22 対象利用者コード（楽譜・録音資料）
 - # 指定なし、又は不明
 - g 一般
 - j 児童書

年代によっては、一般又は児童書であっても「#」を記録している場合もある。

- 008/23 物理的属性（楽譜・録音資料）

r 印刷資料（2011年12月作成するデータで使用する）
q 録音資料（2011年12月から作成するデータで使用する）
指定なし、又は不明（2011年12月から作成するデータでは原則として使用しない）

●008/24-29 関連事項（楽譜・録音資料）
常に |||||（コード不使用）を記録する。

●008/30-31 本文の文学形式（楽譜・録音資料）
楽譜・録音資料（2011年12月から作成するデータでは原則として使用しない）
|| コード不使用（2011年12月から作成するデータで使用する）

●008/32 未定義（楽譜・録音資料）
未定義（2011年12月から作成するデータでは原則として使用しない）
| コード不使用（2011年12月から作成するデータで使用する）

●008/33 転調・編曲（楽譜・録音資料）
u 不明（2011年12月から作成するデータでは原則として使用しない）
| コード不使用（2011年12月から作成するデータで使用する）

●008/34 未定義（楽譜・録音資料）
常に |（コード不使用）を記録する。

一般コード化情報（映像・静止画資料）

●008/18-20 再生時間（映像・静止画資料）
常に |||（コード不使用）を記録する。

●008/21 未定義（映像・静止画資料）
常に #（未定義）を記録する。

●008/22 対象利用者コード（映像・静止画資料）
指定なし、又は不明
g 一般
j 児童書

年代によっては、一般又は児童書であっても「#」を記録している場合もある。

- 008/23-27 未定義（映像・静止画資料）
常に #####（未定義）を記録する。

- 008/28 政府刊行物（映像・静止画資料）
 - # 民間出版物
 - f 中央官庁
 - l 地方自治体
 - z その他（2011年12月から作成するデータでは原則として使用しない）
 - | コード不使用（2011年12月から作成するデータでは原則として使用しない）

- 008/29 物理的属性（映像・静止画資料）
 - # 指定なし、又は不明
 - q 映像資料（2011年12月から作成するデータで使用する）
 - s 電子資料（2011年12月から作成するデータでは原則として使用しない）

- 008/30-32 未定義（映像・静止画資料）
常に ####（未定義）を記録する。

- 008/33 資料内容種別（映像・静止画資料）
映像・静止画資料の資料内容種別を記録する。設計図又はカードでない静止画資料は「i」を記録する。
 - i 静止画
 - l 設計図
 - o カード（2011年12月から作成するデータで使用する）
 - s スライド
 - v 映像資料（2011年12月から作成するデータで使用する）
 - | コード不使用

- 008/34 動画技術（映像・静止画資料）
常に u（不明）を記録する。

一般コード化情報（電子資料）

- 008/18-21 未定義（電子資料）

常に ##### (未定義) を記録する。

●008/22 対象利用者コード (電子資料)

- # 指定なし、又は不明
- g 一般
- j 児童書

年代によっては、一般又は児童書であっても「#」を記録している場合もある。

●008/23 物理的属性 (電子資料)

常に # (指定なし、又は不明) を記録する。

●008/24-25 未定義 (電子資料)

常に ## (未定義) を記録する。

●008/26 電子的内容 (電子資料)

- a 数値データ
- b コンピュータ・プログラム
- c 画像データ
- d 文書データ
- f フォント・データ (2011年12月から作成するデータで使用する)
- g ゲーム・ソフトウェア (2011年12月から作成するデータで使用する)
- h 録音データ (2011年12月から作成するデータで使用する)
- i インタラクティブ・マルチメディア (2011年12月から作成するデータで使用する)
- m 複合体
- z その他

●008/27 未定義 (電子資料)

常に # (未定義) を記録する。

●008/28 政府刊行物 (電子資料)

- # 民間出版物
- f 中央官庁
- l 地方自治体
- z その他 (2011年12月から作成するデータでは原則として使用しない)
- | コード不使用 (2011年12月から作成するデータでは原則として使用しない)

い)

- 008/29-34 未定義（電子資料）
常に #####（未定義）を記録する。

一般コード化情報（継続資料）

- 008/18 刊行頻度（継続資料）
 - a 年刊
 - b 隔月刊
 - c 半週刊
 - d 日刊
 - e 隔週刊
 - f 半年刊
 - g 隔年刊
 - h 3年1回刊
 - i 週3回刊
 - j 旬刊
 - m 月刊
 - q 季刊
 - s 半月刊
 - t 年3回刊
 - u 不明
 - w 週刊
 - z その他
 - # 不定期刊

- 008/19 刊行の規則性（継続資料）
 - r 定期
 - u 不明
 - x 完全に不定期
 - | コード不使用

- 008/20 未定義（継続資料）
常に #（未定義）を記録する。

- 008/21 逐次刊行物種別コード（継続資料）

n	新聞
p	逐次刊行物（新聞以外の逐次刊行資料に使用する）
l	コード不使用

●008/22 原資料の物理的属性（継続資料）

常に #（その他）を記録する。

●008/23 物理的属性（継続資料）

継続資料の物理的属性を記録する。大活字・点字でない印刷資料は「#」を記録する。

#	指定なし、又は不明
a	マイクロフィルム
b	マイクロフィッシュ
c	マイクロオペーク
d	大活字
f	点字
o	オンライン資料
s	電子資料

●008/24 継続刊行レベルの資料形式（継続資料）

常に #（指定なし）を記録する。

●008/25-27 構成レベルの資料形式（継続資料）

###	指定なし、又は不明
i##	総目次・総索引あり

●008/28 政府刊行物（継続資料）

#	民間出版物
f	中央官庁
l	地方自治体
z	その他（2011年12月から作成するデータでは原則として使用しない）
l	コード不使用（2011年12月から作成するデータでは原則として使用しない）

●008/29 会議録（継続資料）

常に l（コード不使用）を記録する。

●008/30-32 未定義（継続資料）

常に####（未定義）を記録する。

●008/33 原綴タイトルの使用文字種（継続資料）

- a ローマ字
- b 符号付きローマ字
- c キリル文字
- d 仮名、日本漢字
- e 中国漢字
- f アラビア文字
- g ギリシャ文字
- h ヘブライ文字
- i タイ文字
- j デーヴァナーガリー文字
- k ハングル
- l タミル文字
- z その他
- | コード不使用

●008/34 記入リンクフィールドの有無（継続資料）

- 0 先行記入・後継記入あり
- | 先行記入・後継記入なし

例)

図書

文字資料 100709s2010#####ja#|||g#|||f| ||||jpn## ¥
 点字資料 880512s1987#####ja#|||gf| |||f| ||||jpn## ¥
 マイクロフィッシュ 980617s1980#####ja#|||gb| |||#| ||||jpn## ¥

地図資料 040805s2001#####ja#|||###|##f|#|#|jpn## ¥

楽譜・録音資料 111205s2011#####ja#|||ug#| ||||| ||||jpn## ¥

映像・静止画資料

映像資料（静止画） 030221s2002#####ja#|||#g#####sujpn## ¥
 静止画資料 090528s1926#####ja#|||#g#####iujpn## ¥

映像資料 100630s2010#####ja# || #g#####s### |ujpn## ¥

電子資料 070607s2007#####ja#####g###c#####jpn## ¥

継続資料

文字資料 070517c20069999ja#ar#p##### |### | |jpn## ¥

電子資料 100528c20109999ja#ar#p#s##### |### | |jpn## ¥

マイクロフィルムの新聞 030129u19uuuuuuxxu# |#n#a##### |### | |jpn## ¥

01X-09X : 番号・コードブロック

このブロックには、標準番号、分類記号、コード、レコードに関連のあるその他のデータ要素を記録する。

■フィールド一覧

- 015 全国書誌番号
- 020 国際標準図書番号 (ISBN)
- 022 国際標準逐次刊行物番号 (ISSN)
- 028 出版者番号
- 034 数値データ：コード化情報 (地図資料)
- 035 他 MARC 番号等
- 040 レコード作成機関
- 041 言語コード
- 044 出版・製作国コード
- 045 内容年
- 084 分類記号
- 090 請求記号
- 098 地図各種番号

015 全国書誌番号

■インディケータ

一番目: 未定義

#: 未定義

二番目: 未定義

#: 未定義

フィールド必須 フィールド繰り返し不可				
サブフィールドコード		入力		繰り返し
\$a	全国書誌番号	使用	必須	不可
\$2	全国書誌作成機関	使用	必須	不可

このフィールドには全国書誌番号を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。又、全てのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●\$a: 全国書誌番号

全国書誌番号（8桁）を記録する。全国書誌番号は次頁に示すような番号体系となっている。

●\$2: 全国書誌作成機関

常に jnb（MARC21 [National Bibliography Number Source Codes](#) で「日本全国書誌」を表すコード）を記録する。

例 1) 015 ## \$a 20529932
\$2 jnb ¥

例 2) 015 ## \$a 01027800
\$2 jnb ¥

単行資料の全国書誌番号の構成

40XXXXXX～41XXXXXX	1868年～1912年（明治期）
42XXXXXX～43XXXXXX	1912年～1926年（大正期）
44XXXXXX 46XXXXXX～47XXXXXX	1926年（昭和元年）～1949年3月
45XXXXXX	児童書遡及版
48XXXXXX～68XXXXXX	1948年～1968年の遡及入力 上位2桁は西暦年下2桁に一致
69XXXXXX～75XXXXXX 69000001～69027786 70000001～70028768 71000001～71020461 72000001～72013465 73000001～73023311 74000001～74013004 75000001～75030840 75040000～75051161 75060000～75088230	1969年～1976年の遡及入力 主題分野別に割当 科学技術 経済・産業 社会・労働・教育 政治・法律・行政・議会・法令資料 歴史・地理 学術一般、哲学・宗教 言語・文学 芸術 娯楽・家庭書・その他
76000001～76002164	1976年の児童書のみ
77000001～99131674	1977年～1999年のカレント入力 上位2桁は西暦年下2桁に一致
20000001～29999999	2000年以降のカレント入力 2で始まる一連番号

逐次刊行資料の全国書誌番号の構成

00000001～00999999	2002年までの和逐次刊行資料に対して付与
10XXXXXX	2002年までの国内刊行洋逐次刊行資料に対して付与
01XXXXXX	2003年以降の全ての逐次刊行資料に対して一連番号として付与

020 国際標準図書番号 (ISBN)

■インディケータ

一番目: 未定義

#: 未定義

二番目: 未定義

#: 未定義

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可					
サブフィールドコード		入力		繰り返し	NCR 条項
\$a	ISBN	使用	あれば必須	不可	1.8.1 2.8.1
\$c	入手条件・定価	使用	あれば必須	不可	1.8.3
\$z	取り消された又は無効な ISBN 等	使用	あれば必須	可	1.8.1 2.8.1

このフィールドには、「日本図書コード」のうち ISBN 13 桁（ハイフンを入れて 17 桁、以下同様）又は 10 桁（同 13 桁、以下同様）、あるいは日本以外の国で付与された ISBN 13 桁又は 10 桁及び入手条件・定価を記録する。「日本図書コード」の分類コード及び価格コードは含めない。

資料に表記されている ISBN が 13 桁のみであっても、2006 年 3 月末までに作成したデータは、10 桁に変換した ISBN を 020\$a へ、13 桁の ISBN を 020\$z へ記録している。又、同様の場合について、2006 年 4 月から 12 月までの期間に作成したデータは、チェックデジット等の誤りがない限り 10 桁と 13 桁の ISBN を 020\$a へ記録している（例 2）。

フィールド末尾には区切り記号なし。

●\$a: ISBN

- ・ ISBN を記録する。
- ・ セット全体に ISBN があり、かつ一括記入した場合のセット ISBN はここに記録する。
- ・ 付属資料に ISBN が付与されている場合には末尾に「□（付属資料）」と付記して記録す

る（例 1）。

例 1) 020 ## \$a 4-87022-465-8□(付属資料)¥

例 2) 2006 年 4 月から 12 月までの期間に作成したデータの例

020 ## \$a 978-4-902811-38-4□:

\$c 1800 円¥

020 ## \$a 4-902811-38-3¥

・末尾の区切り記号

①\$c が続く → コロン “□ :”

②\$z が続くか、\$a がフィールド末尾 → 記号なし

●\$c: 入手条件・定価

・本体価格、税込価格等を記録する。

・末尾の区切り記号なし

例 3) ISBN と本体価格を記録する場合

020 ## \$a 978-4-333-02332-5□:

\$c 1300 円¥

例 4) ISBN がなく、本体価格のみ記録する場合

020 ## \$c 648 円¥

例 5) 税込価格を記録する場合

020 ## \$a 4-8327-0047-2□:

\$c 1300 円□(税込)¥

●\$z: 取り消された又は無効な ISBN 等

・チェックデジット等の誤りのある ISBN、無効な ISBN、取り消された ISBN 等を記録する（例 6）。

・2 冊以上のセットものを分割記入した場合のセット ISBN は末尾に「□ (set)」と付記してここに記録する（例 7）。

例 6) 無効な ISBN を記録する場合

020 ## \$a 978-4-87646-255-1

\$z 978-4-88646-255-1□:

\$c 1800 円□(税込)¥

例 7) 2冊以上のセットものを分割記入した場合のセット ISBN を記録する場合の例

020 ## \$a 978-4-284-30176-3

\$z 978-4-284-30175-6□(set)¥

・2011年11月までに作成したデータについては、2冊以上のセットものを分割記入した場合のセット ISBN が 020\$a に記録されている場合もある（例 8）。

例 8) 020 ## \$a 4-87742-785-6¥

020 ## \$a 4-87742-783-X□(set)¥

・末尾の区切り記号

①別の\$zが続くか\$zがフィールド末尾 → 記号なし

②\$cが続く → コロン“□:”

022 国際標準逐次刊行物番号 (ISSN)

■インディケータ

一番目: 国際レベル

: ISSN 国際センターに送付しない

0 : ISSN 国際センターに送付する

二番目: 未定義

: 未定義

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可					
サブフィールドコード		入力		繰り返し	NCR 条項
\$a	ISSN	使用	あれば必須	不可	1.8.1 13.8.1
\$l	ISSN-L	使用	あれば必須	不可	
\$m	取り消された ISSN-L	使用	あれば必須	可	
\$y	誤った ISSN	使用	あれば必須	可	
\$z	取り消された ISSN	使用	あれば必須	可	
\$2	ISSN センターコード	使用	あれば必須	不可	

このフィールドには、ISSN センターが当該逐次刊行資料に付与した ISSN、ISSN-L 及び管轄する ISSN センターコードを記録する。

2 以上の ISSN がある場合は、フィールドを繰り返す。

シリーズに固有の ISSN を記録する場合は、当フィールドではなく 490\$x に記録する。ただし、年代によってはシリーズ名等に対する ISSN を 022\$a に記録している場合もある。

フィールド末尾には区切り記号なし。又、全てのサブフィールド末尾に区切り記号なし。

●\$a: ISSN

- ・ 正規の ISSN を記録する (例 1)。
- ・ 単行資料の付属資料に ISSN が付与されている場合には末尾に「□ (付属資料)」と付記して記録する。

例 1) 022 ## \$a1234-1234¥

●\$l: ISSN-L

ISSN-L を記録する (例 2)。

例 2) 022 ## \$a 1234-1234
\$l 1234-4321¥

●\$m: 取り消された ISSN-L

取り消された ISSN-L を記録する (例 3)。

例 3) 022 ## \$a 1560-1560
\$l 1234-1231
\$m 1560-1560¥

●\$y: 誤った ISSN

資料等に誤った ISSN が表示されている場合、ここに誤った ISSN を記録する (例 4)。

例 4) 022 ## \$a 0145-0808
\$y 0145-0809¥

●\$z: 取り消された ISSN

取り消された ISSN を記録する (例 5)。

例 5) 022 ## \$a 0145-0808
\$z 0361-7106¥

●\$2: ISSN センターコード

ISSN 国際センター送付データとなる ISSN (第 1 インディケータが 0) で、ISSN 日本センターが管轄する ISSN については、9 ([ISSN National Centres code](#) で日本センターを表すコード値) を記録する (例 6)。

例 6) 022 0# \$a 1234-1234
\$l 5678-5678
\$2 9¥

028 出版者番号

■インディケータ

一番目: 出版者番号種別

0: 発売番号

1: 原盤番号 (2011年12月から作成するデータでは原則として使用しない)

2: プレート番号 (2011年12月から作成するデータでは原則として使用しない)

5: その他の出版者番号、又は番号なし

二番目: 注記/副出記入制御

0: 注記とする、副出記入なし

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可					
サブフィールドコード		入力		繰り返し	NCR 条項
\$a	出版者番号	使用	必須	不可	1.8.1
\$b	レーベル名	使用	あれば必須	不可	1.8.1

このフィールドは、楽譜・録音及び映像・静止画資料にのみ使用し、録音・映像資料、楽譜などに付与された各種番号及びレーベル名を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。又、全てのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●\$a:出版者番号

・録音・映像資料の発売番号等を記録する。又、発売番号のほかに、シリーズに対する発売番号も記録する場合がある。

・複数の番号を記録する場合は、フィールドを繰り返す。その際、028\$b は 1 番目のフィールドのみに記録する (例 1)。

例 1) 028 00 \$a COCQ-84394
\$b デンオン¥
028 00 \$a COCQ-84395¥

028 00 \$a COCQ-84396¥

・発売番号等がなく、レーベル名がある場合、028\$a にハイフン 3 つ “---” を記録する（例 2）。

例 2) 028 00 \$a ---
\$b Yumehenro Music¥

・不正確な番号の場合には値の後ろに “□（エラーコード）” と付記する（例 3）。

例 3) 028 00 \$a TJDVD-001
\$b スキージャーナル¥
028 00 \$a TJDVD-002□(エラーコード)¥

●\$b:レーベル名

- ・録音・映像資料のレーベル名を記録する。
- ・発売番号等があり、レーベル名がない場合は、028\$b にハイフン 3 つ “---” を記録する（例 4）。
- ・2011 年 11 月までに作成したデータについては、発売番号等があり、レーベル名がない場合は、出版者名を記録している（例 5）。

例 4) 028 00 \$a TCAD-243
\$b---¥

例 5) 028 00 \$a TCAD-239
\$b 宝塚クリエイティブアーツ¥

034 数値データ：コード化情報（地図資料）

■インディケータ

一番目：縮尺種別

0：縮尺決定不能・表示なし

1：単一の縮尺

3：縮尺レンジ

二番目：デジタル地図資料のためのリング種別

#：非適用

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可					
サブフィールドコード		入力		繰り返し	NCR 条項
\$a	縮尺種別	使用	必須	不可	
\$b	水平縮尺	使用	あれば必須	可	4.3.1
\$c	垂直縮尺	使用	あれば必須	可	4.3.1
\$d	最西経度	使用	あれば必須	不可	4.3.3
\$e	最東経度	使用	あれば必須	不可	4.3.3
\$f	最北緯度	使用	あれば必須	不可	4.3.3
\$g	最南緯度	使用	あれば必須	不可	4.3.3

このフィールドは、地図資料についてのみ使用し、フィールド 255（数値データに関する事項（地図資料））をコード化した情報を記録する。フィールド 255 を繰り返す場合は、それぞれに対応するフィールド 034 を、フィールドを繰り返して記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。又、全てのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●\$a: 縮尺種別

・縮尺の種別として以下のいずれかの値を記録する。

a 距離縮尺

b 角度による縮尺

z その他の縮尺タイプ

・フィールド 255 において特定の縮尺又は経緯度の値を示すデータが存在しない場合は、フィールド 034 には\$aのみ存在する（例 1）。

例 1) 034 0# \$a a¥
255 ## \$a [縮尺決定不能].¥

●\$b: 水平縮尺

水平方向の縮尺表示の分母にあたる情報を記録する（例 2～4）。

例 2) 水平方向の縮尺が一つ存在する場合

034 1# \$a a
\$b 25000¥
255 ## \$a 1:25000.¥

例 3) 水平方向の縮尺が二つ存在する場合

034 1# \$a a
\$b 25000
\$b 50000¥
255 ## \$a 1:25000,□1:50000.¥

例 4) 水平方向の縮尺が三つ存在する場合

034 1# \$a a
\$b 10000
\$b 25000
\$b 50000¥
255 ## \$a 1:10000-1:50000.¥

●\$c: 垂直縮尺

資料の性質は問わず垂直方向の縮尺表示の分母にあたる情報を記録する（例 5）。

例 5) 水平方向と垂直方向とで縮尺の異なる断面図の場合

034 1# \$a a
\$b 10000
\$c 100¥
255 ## \$a 1:10000,□垂直 1:100.¥

●\$d: 最西経度

●\$e: 最東経度

●\$f: 最北緯度

•\$g: 最南緯度

• 経緯度を記録する場合は、「hdddmmss」の8桁に正規化した形式で記録する（例6）。

\$d、\$e、\$f、\$gはセットで記録する。

h：経緯度の識別値

ddd：度

mm：分

ss：秒

経緯度の識別値は、以下の省略形のいずれかを記録する。

N：北緯

S：南緯

E：東経

W：西経

例6) 034 1# \$a a

\$b 25000

\$d E1401300

\$e E1402500

\$f N0385000

\$g N0383600¥

255 ## \$a 1:25000□;

\$b ユニバーサル横メルカトル図法

\$c (E140° 13' -E140° 25' /N38° 50' -N38° 36').¥

035 他 MARC 番号等

■インディケータ

一番目: 番号等の種類

#: 未定義

9: 旧書誌 ID (2011 年 11 月までに作成したデータで使用する)

二番目: 未定義

#: 未定義

フィールド任意			
フィールド繰り返し可			
サブフィールドコード	入力		繰り返し
\$a	他 MARC 番号等	使用	必須 不可
\$z	無効な他 MARC 番号等	使用	あれば必須 可

このフィールドには、国立国会図書館以外で付与された MARC 番号とその MARC 名を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。又、全てのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●\$a: 他 MARC 番号等

- ・国立国会図書館以外で付与された MARC 番号等を記録する。
- ・MARC を付与した機関のコードは、[MARC Code List for Organizations](#) を使用し、MARC 番号の前に丸括弧で囲み記録する。
- ・複数の番号を記録する場合は、フィールドを繰り返して記録する。

例 1) NS-MARC 番号の場合

035 ## \$a (JP-ItNTS)100158000¥

- ・2011 年 11 月までに作成したデータには、0359#\$a が原則として存在する。0359#\$a にはフィールド 001 (レコード管理番号) と同じ値が記録されている。

例 2) 001 000009986082¥
035 9# \$a 000009986082¥
035 ## \$a (JP-ItNTS)105870400¥

●\$z: 無効な他 MARC 番号等

- ・無効な他 MARC 番号、キャンセルされた他 MARC 番号を記録する。
- ・MARC を付与した機関のコードは、MARC21 [Organization Code Source Codes](#) を使用し、無効な他 MARC 番号等の前に丸括弧で囲み記録する。
- ・035\$z を記録する場合には、同一フィールドの 035\$a には有効な他 MARC 番号を記録する。

040 レコード作成機関

■インディケータ

一番目: 未定義

#: 未定義

二番目: 未定義

#: 未定義

フィールド必須 フィールド繰り返し不可				
サブフィールドコード		入力		繰り返し
\$a	レコード作成機関コード	使用	あれば必須	不可
\$b	目録用言語コード	使用	あれば必須	不可
\$c	レコード変換機関	使用	必須	不可
\$e	目録規則	使用	任意	可

このフィールドにはレコード作成機関、目録用言語コード、レコード変換機関、目録規則をコード化した情報を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。又、全てのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●\$a: レコード作成機関コード

常に JTNDL ([MARC Code List for Organizations](#) で国立国会図書館を表すコード) を記録する。

●\$b: 目録用言語コード

jpn ([MARC Code List for Languages](#) で日本語を表すコード) 又は eng (同 英語) を記録する。

●\$c: レコード変換機関

常に JTNDL ([MARC Code List for Organizations](#) で国立国会図書館を表すコード) を

記録する。

●\$e: 目録規則

データ作成時に準拠した目録規則として、以下のコード値を記録する。準拠規則の変遷については「2. 収録範囲と内容」の「JAPAN/MARC の構成と準拠規則一覧」を参照のこと。

ncr/1987	日本目録規則 1987 年版改訂版
ncr/1977	日本目録規則新版予備版
ncr	日本目録規則 1942 年版、1952 年版、1965 年版
ndlserial	国立国会図書館逐次刊行物目録規則

例 1) 040 ## \$a JTNDL
 \$b jpn
 \$c JTNDL
 \$e ncr/1987¥

例 2) 040 ## \$a JTNDL
 \$b eng
 \$c JTNDL
 \$e ncr/1977¥

041 言語コード

■インディケータ

一番目: 翻訳指示

0: 翻訳資料以外

1: 翻訳資料 (資料全体あるいは大半が翻訳されたもの)

二番目: コードの種類

#: MARC 言語コード ([MARC Code List for Languages](#)) を使用

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可			
サブフィールドコード	入力		繰り返し
\$a	本文の言語	使用 必須	可
\$h	原文の言語	使用 あれば必須	可

このフィールドには、2以上の本文の言語又は原文の言語がある場合に、本文の言語及び原文の言語のコードを記録する。言語コードは [MARC Code List for Languages](#) のうち3桁のコードを使用する。

翻訳資料を除き、本文の言語が一つの場合には当フィールドを使用せず、008/35-37にのみコードを記録する。

直訳、重訳、抄訳にかかわらず翻訳資料とみなすが、以下のものは翻訳資料とはみなさない。又、年代によっては041\$hにデータを記録していないことがある。

- ・ 古文の現代語訳
- ・ 漢文の読み下し文
- ・ 語学用学習テキスト
- ・ 翻案
- ・ 対訳書
- ・ 編纂もの
- ・ 点字資料及び楽譜
- ・ 雑誌の一論文の翻訳

・ 他言語からの翻訳であるが、原稿からの翻訳で、原語の出版物が存在しないもの

フィールド末尾には区切り記号なし。又、全てのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●\$a: 本文の言語

- ・ 本文の言語が 2 以上の場合に、対応する全ての言語のコードを同一フィールド内にサブ

フィールドを繰り返して記録する。

記録の順序は原則として主要な言語の順とし、主要な言語が無い場合はコードのアルファベット順とする。1番目の言語コードと008/35-37のコードは一致する(例1)。

- 翻訳資料の場合、翻訳の言語を記録し、原文の言語を041\$hに記録する。

例1) 日本語・ロシア語併記の場合

008/35-37 jpn

041 0# \$a jpn

\$a rus ¥

- \$h: 原文の言語

翻訳資料の場合、原文の言語のコードを記録する(例2、3)。

例2) 原文の言語はフランス語で日本語へ翻訳したものの場合

008/35-37 jpn

041 1# \$a jpn

\$h fre ¥

例3) ロシア語からの翻訳資料であり、かつ原文も併記されている場合

008/35-37 jpn

041 1# \$a jpn

\$a rus

\$h rus ¥

044 出版・製作国コード

■インディケータ

一番目: 未定義

#: 未定義

二番目: 未定義

#: 未定義

フィールドあれば必須				
フィールド繰り返し不可				
サブフィールドコード		入力		繰り返し
\$a	MARC 国名コード	使用	必須	可

このフィールドには、出版国・製作国が 2 以上ある場合、出版・製作された国を示すコードを記録する。国が一つの場合には当フィールドを使用せず、008/15-17 にのみコードを記録する。

コードは [MARC Code List for Countries](#) から 2 桁のものを選択し、使用する。ただし、以下については 3 桁のコードを使用する。

xxc カナダ

xxk グレートブリテンおよび北部アイルランド連合王国 (英国)

xxu アメリカ合衆国 (米国)

上記の国に属する州名等のコード (3 桁) は使用しない。

コードは、書誌レコード作成時における国名コードを記録している。

フィールド末尾には区切り記号なし。又、サブフィールド末尾に区切り記号なし。

●\$a: MARC 国名コード

国が 2 以上の場合に、対応する全ての国のコードを記録する。1 番目の国名コードと 008/15-17 のコードは一致する。

例) 008/15-17 ja#

044 ## \$a ja

\$a ko¥

045 内容年

■インディケータ

一番目: 内容年種別

0: 単一の日付

1: 複数の日付

2: 期間

二番目: 未定義

#: 未定義

フィールド任意				
フィールド繰り返し不可				
サブフィールドコード		入力		繰り返し
\$b	西暦年 (定型)	使用	あれば必須	可

このフィールドは、地図資料についてのみ使用し、複製資料において当該資料の原資料が刊行又は製作された年を4桁に正規化して記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。又、サブフィールド末尾に区切り記号なし。

●\$b: 西暦年 (定型)

紀元前/後を示すコード (1桁) の後に西暦年4桁を記録する。

c 紀元前

d 紀元後

例 1) 原資料が 1883 年刊行、複製資料が 1991 年刊行の場合

008/07-10 1991

045 0# \$b d1883¥

260 ## \$a 東京□:

\$b 日本地図センター,

\$c 1991.¥

500 ## \$a 参謀本部明治 16 年 7 月測量(国土地理院所蔵)の複製. ¥

例 2) 1989 年刊行の複製資料に 1805 年製作と 1943 年刊行の原資料が含まれる場合

008/07-10 1989

045 1# \$b d1805

\$b d1943 ¥

260 ## \$a 東京□:

\$b 国書刊行会,

\$c 1989.8. ¥

505 00 \$t [延宝年中長岡城下図]

\$g (延宝年間製作,△文化二年模写の複製).

\$t 長岡市地図

\$g (1:10000□目黒書店昭和 18 年刊の複製). ¥

例 3) 寛文 13 年から嘉永元年にかけて刊行又は製作された資料の複製の場合

045 2# \$b d1673

\$b d1848

084 分類記号

■インディケータ

一番目: 未定義

#: 未定義

二番目: 未定義

#: 未定義

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可					
サブフィールドコード		入力		繰り返し	NCR 条項
\$a	分類記号	使用	必須	可	25
\$2	分類法	使用	必須	不可	25

このフィールドには、国立国会図書館分類表（以下 NDLC）による分類記号及び日本十進分類法（以下 NDC）による分類記号を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。又、全てのサブフィールド末尾に区切り記号なし。

●\$a: 分類記号

- ・ NDLC 分類記号及び NDC 分類記号を記録する。
- ・ 同一分類法の分類記号を重出する場合には、同一フィールド内でサブフィールドを繰り返す。
- ・ 異なる分類法の分類記号を記録する場合には、フィールドを繰り返す。

例 1) NDLC と NDC 新訂 9 版による分類記号を記録する場合

084 ## \$a AZ-391

\$2 kktb¥

084 ## \$a 318.5

\$2 njb/09¥

例 2) 同一分類法の分類記号を複数記録する場合

084 ## \$a E2
\$a EG281
\$2 kktb ㍻

●\$2: 分類法

分類法を示すコードを記録する。コードは [MARC21 Classification Scheme Source Codes](#) を以下のとおり拡張して適用する。適用する分類法の変遷については「2. 収録範囲と内容」の「JAPAN/MARC の構成と準拠規則一覧」を参照のこと。

kktb	NDLC
njb	NDC (版次不明)
njb/09	NDC 新訂 9 版
njb/08	NDC 新訂 8 版
njb/06	NDC 新訂 6 版
njb/06T	NDC6 版大正期・昭和前期版
njb/06M	NDC6 版明治期版

090 請求記号

■インディケータ

一番目: 未定義

#: 未定義

二番目: 未定義

#: 未定義

フィールド必須			
フィールド繰り返し可			
サブフィールドコード		入力	繰り返し
\$a	請求記号	使用	必須
			不可

このフィールドには、国立国会図書館の請求記号を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。

●\$a: 請求記号

国立国会図書館の請求記号を記録する。国立国会図書館の請求記号には「国立国会図書館分類表」によるもの（例 1、2）のほかに「日本十進分類法 新訂 6 版」（例 3）、「国立国会図書館和漢書図書記号法」（例 4）によるもの等もある。

請求記号には、アルファベット、数字、片仮名、漢字、及びピリオド、ハイフン、丸括弧などが使用されている。

例 1) 090 ## \$a HA1-J13¥

例 2) 090 ## \$a Z41-B88¥

例 3) 090 ## \$a 025.22-Ta165t¥

例 4) 090 ## \$a 特 62-531¥

098 地図各種番号

■インディケータ

一番目: 未定義

#: 未定義

二番目: 未定義

#: 未定義

フィールド任意 フィールド繰り返し不可				
サブフィールドコード		入力		繰り返し
\$a	UTM 区画番号	使用	あれば必須	可
\$b	全国地方公共団体コード	使用	あれば必須	可
\$d	各国国内海図番号	使用	あれば必須	可
\$e	国際海図番号	使用	あれば必須	可

このフィールドは、地図資料にのみ使用し、地図資料の各種番号を記録する。不正確な番号の場合には値の後ろに“□ (エラーコード)”と付記する。

フィールド末尾には区切り記号なし。又、全てのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●\$a: UTM 区画番号

主に地形図・地勢図に表示されている、UTM 座標系に則った UTM 区画番号を記録する (例 1)。

例 1) 098 ## \$a NI-53-27-12-4

\$a NI-53-28-9-3¥

●\$b: 全国地方公共団体コード

総務省が設定している全国地方公共団体コードの内、都道府県コード 2 桁、市区町村コード 3 桁の計 5 桁のコードを記録する (例 2)。

例 2) 098 ## \$b 11203
\$b11223¥
245 00 \$6 880-01
\$a 川口市 2(西部)・蕨市
\$h [地図資料].
\$n 201103.¥

- \$d: 各国国内海図番号
各国の国内海図番号を記録する (例 3)。

例 3) 098 ## \$d W123¥

- \$e: 国際海図番号
国際水路機関 (IHO) の決議に基づく海図の国際的な共通番号である、国際海図番号を記録する (例 4)。

例 4) 098 ## \$d W123
\$e INT5314¥

20X-24X : タイトルブロック

このブロックには、『日本目録規則 1987 年版改訂 3 版』(NCR) で規定される書誌的事項のうち、タイトルと責任表示に関する事項 (NCR の 1.1)、キータイトル (同 1.8.2) を記録する。又、標目とするタイトル (同 22.1) を記録することがある。

■フィールド一覧

- | | |
|-----|-----------------|
| 210 | キータイトル略語形 |
| 222 | キータイトル |
| 245 | タイトルと責任表示に関する事項 |
| 246 | 別タイトル |

210 キータイトル略語形

■インディケータ

一番目: タイトル副出記入

1: 副出記入

二番目: 形式

#: キータイトル略語形

フィールド任意				
フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		入力		繰り返し
\$a	キータイトル略語形	使用	必須	不可
\$b	キータイトル略語形の識別情報	使用	あれば必須	不可

このフィールドは逐次刊行資料にのみ使用し、フィールド 222 (キータイトル) のキータイトルが略語形を持つ場合、略語形とその識別情報を記録する。フィールド末尾には区切り記号なし。又、全てのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●\$a: キータイトル略語形

キータイトルが欧文の場合、略語形を記録する。略語形は ISO 4 に従う。

●\$b: キータイトル略語形の識別情報

キータイトルが欧文で、キータイトル識別情報がある場合、識別情報を丸括弧で囲み記録する。

例) 210 1# \$a Intern.△med.

\$b (Tokyo)¥

222 #0 \$a Internal△medicine

\$b (Tokyo)¥

222 キータイトル

■インディケータ

一番目: 未定義

#: 未定義

二番目: 排列無視文字数

0: 排列無視文字なし

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可					
サブフィールドコード		入力		繰り返し	NCR 条項
\$a	キータイトル	使用	必須	不可	13.8.2
\$b	キータイトル識別情報	使用	あれば必須	不可	

このフィールドは逐次刊行資料にのみ使用し、ISSN 付与にともなう、キータイトル及びキータイトル識別情報を記録する。フィールド末尾には区切り記号なし。又、全てのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●\$a: キータイトル

キータイトルはフィールド 245 (タイトルと責任表示) に対応する本タイトル読みをへボン式ローマ字で記録する。欧文タイトルの場合はそのまま記録する。

●\$b: キータイトル識別情報

同じキータイトルをもつ継続資料がすでに存在する場合、区別するための情報を記録する。このとき、識別情報は丸括弧で囲み記録する。

例) 222 #0 \$a Internal△medicine
 \$b (Tokyo)¥

245 タイトルと責任表示に関する事項

■インディケータ

一番目：タイトル副出記入

0：副出記入なし

二番目：排列無視文字数

0：排列無視文字なし

フィールド必須 フィールド繰り返し不可					
サブフィールドコード		入力		繰り返し	NCR 条項
\$a	本タイトル	使用	必須	不可	1.1.1
\$b	タイトル関連情報	使用	あれば必須	不可	1.1.1 1.1.3 1.1.4
\$c	責任表示	使用	あれば必須	不可	1.1.5
\$h	資料種別	印刷された文字 資料以外で使用	印刷された文字 資料以外で必須	不可	1.1.2
\$n	巻次又は部編番号	使用	あれば必須	可	1.10.1.1 13.1.1
\$p	部編名	逐次刊行資料で のみ使用	あれば必須	可	13.1.1
\$6	読みの対応関係	使用	あれば必須	不可	

このフィールドには本タイトルと責任表示等を記録する。又、単行資料においては巻次、回次、年次等も記録する。

フィールド末尾にはピリオド“.”を付す。ピリオドが連続する場合は一つのみ記録する。

・総合タイトルがなく、資料の内容をなす各著作のタイトル等が表示されている場合には、以下のように記録する。詳細はそれぞれのサブフィールドの項を参照のこと。

①責任表示が各著作に共通しており、かつ異なるタイトル関連情報も巻次もない場合には、

1 番目の本タイトルを 245\$a、2 番目以降の本タイトルを 245\$b に記録する。

ただし、年代によっては 2 番目以降の本タイトルを 245\$a に記録しているものや、同一フィールド内の最後のサブフィールド内に区切り記号で連結して記録しているものもある。

- ②責任表示が各著作に共通しており、かつ異なるタイトル関連情報や巻次がある場合には、1 番目の本タイトルを 245\$a、タイトル関連情報を 245\$b、巻次を 245\$n、責任表示を 245\$c に記録する。2 番目以降の本タイトルとタイトル関連情報、巻次、責任表示は同一フィールド内の最後のサブフィールド内に区切り記号で連結して記録する。
- ③責任表示が異なる場合、1 番目の本タイトルを 245\$a、その責任表示を 245\$c に、2 番目以降の本タイトルとタイトル関連情報、巻次、責任表示を同一フィールド内の最後のサブフィールド内に区切り記号で連結して記録する（例 1）。

例 1) 245 00 \$6 880-01

\$a 枕草子□/

\$c 清少納言□[原作]□;□大沼津代志□文□;□河伯りょう□イラスト.□更級日記□/□菅原孝標女□[原作]□;□大沼津代志□文□;□河伯りょう□イラスト.¥

●\$a: 本タイトル

- ・ 1 番目の本タイトルを記録する。
- ・ 末尾の区切り記号

- ①\$a がフィールド末尾 → ピリオド “.”（ピリオドが連続する場合は一つのみ記録）
- ②\$b（2 番目以降の本タイトル）が続く → セミコロン “□;”
- ③\$b（並列タイトル）が続く → 等号 “□=”
- ④\$b（タイトル関連情報）が続く → コロン “□:”
- ⑤\$c が続く → 斜線 “□/”
- ⑥\$n 又は \$p が続く → ピリオド “.”（ピリオドが連続する場合は一つのみ記録）
- ⑦\$h が続く → 記号なし

●\$b: タイトル関連情報

- ・ 2 番目以降の本タイトルや、タイトル関連情報、並列タイトル等を記録する。
- ・ 総合タイトルがなく、責任表示が各著作に共通しており、かつ異なるタイトル関連情報も巻次もない場合には、1 番目の本タイトルを 245\$a、2 番目以降の本タイトルを 245\$b に記録する（例 2）。ただし、資料種別を記録している 2011 年 11 月までのデータについては、2 番目以降の本タイトルを同一フィールド内の最後のサブフィールドにピリオド、

スペース “. □” で連結して記録している場合がある（例 15）。

例 2) 245 00 \$6 880-01

\$a にごりえ□;
\$b たけくらべ□/
\$c 樋口一葉□著. ¥

- ・タイトル関連情報を本タイトルに続けて記録する（例 3）。
- ・2 以上のタイトル関連情報がある場合は、スペース、コロン、スペース “□ : □” で連結して記録する（例 4）。ただし、年代によっては、スペース “□” で連結して記録しているものもある（例 5）。

例 3) 245 00 \$6 880-01

\$a インド料理ダイエット・レシピ集□:
\$b 簡単!スパイス cooking□/
\$c ロイチョウドゥーリ・ジョイ, □ロイチョウドゥーリ・邦子□著. ¥

例 4) 245 00 \$ 6 880-01

\$a 江戸きらら□:
\$b 隠密廻り同心・磯貝真六□: □時代小説□/
\$c 佐藤高市□著. ¥

例 5) 245 00 \$ 6 880-01

\$a 信仰治療の秘密□:
\$b 現代医学に挑む□神の力か、悪魔の力か?□/
\$c ウイリアム・A. ノーラン□著□; □加藤秀□訳. ¥

- ・並列タイトルを本タイトルに続けて記録する（例 6）。
- ・本タイトルのタイトル関連情報と、本タイトルの並列タイトルをあわせて記録する場合、\$b に並列タイトル、スペース、コロン、スペース “□ : □”、タイトル関連情報の順で記録する（例 7）。

例 6) 245 00 \$6 880-01

\$a 経営管理□=
\$b Management. ¥

例 7) 245 00 \$6 880-01

\$a 北の起業学□=
\$b Management△technology□: □成長 4 社の軌跡□/

\$c 浜田康行,□佐藤孝一□著.¥

- ・並列タイトルが複数ある場合は、並列タイトル同士をスペース、等号、スペース“□=□”で連結して記録する（例 8）。

例 8) 245 00 \$6 880-01

\$a 国際文化研究□=

\$b Intercultural △ studies □ = □ Etudes △ interculturelles □ = □
Internationale△Kulturforschungen□/

\$c 龍谷大学国際文化学会□編.¥

- ・並列タイトルは 246\$a にも記録する。フィールド 246（別タイトル）を参照のこと。ただし、2011 年 11 月までのデータについては、並列タイトルは 246\$a にのみ記録している（例 9）。

例 9) 245 00 \$ 6 880-01

\$a 日本研究のための参考図書□/

\$c 国際文化会館図書室□編.¥

246 21 \$ a A△guide△to△reference△books△for△Japanese△studies¥

- ・並列タイトル関連情報、並列タイトル責任表示は逐次刊行資料についてのみ記録する。逐次刊行資料で、並列タイトル関連情報を記録する場合は、\$b にタイトル関連情報、スペース、等号、スペース“□=□”、並列タイトル、スペース、コロン、スペース“□：□”並列タイトル関連情報の順で記録する（例 10）。本タイトルの責任表示と並列タイトル責任表示の双方を記録する場合は、\$c に本タイトルの責任表示、スペース、等号、スペース“□=□”、並列タイトル、スペース、斜線、スペース“□/□”並列タイトル責任表示の順で記録する（例 11）。

例 10) 逐次刊行資料で、並列タイトル関連情報を記録する場合

245 00 \$6 880-01

\$a India△news□:

\$b monthly△bulletin△of△the△Embassy△of△India,△Tokyo□=□イ
ンド新聞□:□月刊ニュースレポート.¥

例 11) 逐次刊行資料で、並列タイトル責任表示を記録する場合

245 00 \$6 880-01

\$a 業務年報□/

\$c[青森県畑作園芸試験場]□[編]□=□Annual△report△for△the△year□
/□Aomori△Field△Crops△and△Horticultural△Research△Center.¥

例 12) 逐次刊行資料で、並列タイトル関連情報と並列タイトル責任表示を記録する場合
245 00 \$6 880-01

\$a 上武大学教育研究センター年報□:

\$b 大学の質の向上を目指して□/

\$c 上武大学教育研究センター□編□=□Annual△report□:□aim△at△
improvement△of△quality△of△the△university□/□Jobu△University
△ Education△and△Research△Center.¥

・ 末尾の区切り記号

- ①\$b がフィールド末尾 → ペリオド “.” (ペリオドが連続する場合は一つのみ記録)
- ②\$c が続く → 斜線 “□/”
- ③\$n 又が続く → ペリオド “.” (ペリオドが連続する場合は一つのみ記録)

●\$c: 責任表示

- ・ 本タイトルの責任表示を記録する。
- ・ 責任表示と役割表示はスペース “□” で連結する。同一の役割のもとに責任表示が複数ある場合は、コンマ、スペース “, □” で連結する。役割が異なる責任表示が複数ある場合はスペース、セミコロン、スペース “□ ; □” で連結する (例 13)。

例 13) 245 00 \$6 880-01

\$a ばらいろの童話集□/

\$c アンドリュー・ラング□編著□;□川端康成,□野上彰□編訳.¥

- ・ 245\$c が同一フィールド内の最後のサブフィールドであり、2 番目以降の本タイトルを責任表示に続けて記録する場合、責任表示、役割表示と 2 番目以降の本タイトルはペリオド、スペース “. □” で連結する (ペリオドが連続する場合は一つのみ記録)。
- ・ 末尾の区切り記号 → ペリオド “.” (ペリオドが連続する場合は一つのみ記録)

●\$h: 資料種別

- ・ 資料種別は 1 番目の本タイトルに続けて記録する (例 14)。逐次刊行資料で部編番号または部編名がある場合は、その後に続けて記録する (例 15)。記録する際は次の用語を使用する。

- [写本]
- [楽譜]
- [静止画資料]
- [マイクロ資料]
- [稿本]
- [録音資料]
- [電子資料]
- [地図資料]
- [映像資料]
- [点字資料]

例 14) 録音資料の場合

245 00 \$6 880-01

\$a 犬神家の一族

\$h [録音資料]□:

\$b 市川崑監督作品□:□original△sound△track□/

\$c 谷川賢作,□大野雄二□音楽. ¥

例 15) 逐次刊行資料で、部編番号、部編名があるマイクロ資料の場合

245 00 \$6 01

\$a 大分大学学芸学部研究紀要.

\$p 人文・社会科学.

\$n A 集.

\$p 人文科学

\$h[マイクロ資料]. ¥

- 総合タイトルがなく、責任表示が各著作に共通しており、かつ異なるタイトル関連情報も巻次もなく、資料種別を記録する必要がある場合、1 番目の本タイトルを 245\$a、資料種別を 245\$h、2 番目以降の本タイトルを 245\$b に記録する。ただし、2011 年 11 月までのデータについては、資料種別と 2 番目以降の本タイトルをピリオド、スペース “. □” で連結して 245\$h に記録している場合がある（例 16）。

例 16) 資料種別と 2 番目以降の本タイトルをピリオド、スペース “. □” で連結して記録している場合

245 00 \$6 880-01

\$a 日本陸上(鐵道)交通圖

\$h [地図資料].□日本・海上・航空交通圖□/□宮田恒吉□著□;□地理歴史
研究同志會□編. ¥

- 末尾の区切り記号

①\$h がフィールド末尾 → ピリオド “. ”

②\$b (2 番目以降の本タイトル) が続く → セミコロン “□ ; ”

③\$b (並列タイトル) が続く → 等号 “□ = ”

④**\$b** (タイトル関連情報) が続く → コロン “□ : ”

⑤**\$c** が続く → 斜線 “□ / ”

⑥**\$n** が続く → ピリオド “ . ”

●**\$n**: 巻次又は部編番号

- ・単行資料の巻次及び部編名を記録する。245**\$p** は、単行資料では使用しない。
- ・逐次刊行資料では、本タイトルに続けて 245**\$n** に部編番号、245**\$p** に部編名を記録する。
- ・巻次と部編名を共に記録する場合は、巻次と部編名が同格なら「巻次□ (部編名)」の形で部編名をスペースで連結し、丸括弧で囲み記録する (例 16)。巻次と部編名が階層構造にある場合は、スペース “□” で連結して記録する (例 17)。

例 16) 単行資料で巻次と部編名が同格の場合

245 00 \$6 880-01

\$a 楽しく実験・工作小学生の自由研究□:

\$b 身近なものでおもしろ実験をやってみよう!

\$n 低学年編□(1・2・3年)□/

\$c 成美堂出版編集部□編 ¥

例 17) 単行資料で、巻次と部編名が階層構造にある場合

245 00 \$6 880-01

\$a 世界古典文学全集.

\$n 第 30 巻□A. ¥

- ・245**\$n** が同一フィールド内の最後のサブフィールドであり、2 番目以降の本タイトルを巻次又は部編番号に続けて記録する場合、巻次又は部編番号と 2 番目以降の本タイトルはピリオド、スペース “ . □ ” で連結する (ピリオドが連続する場合は一つのみ記録)。

・末尾の区切り記号

①**\$n** がフィールド末尾 → ピリオド “ . ” (ピリオドが連続する場合は一つのみ記録)

②**\$c** が続く → 斜線 “□ / ”

③**\$p** が続く → コンマ “ , ”

④別の**\$n** が続く → ピリオド “ . ” (ピリオドが連続する場合は一つのみ記録)

⑤**\$b** (並列タイトル) が続く → 等号 “□ = ”

⑥**\$b** (タイトル関連情報) が続く → コロン “□ : ”

⑦**\$h** が続く → 区切り記号なし

●\$p:部編名

- ・逐次刊行資料の部編名を記録する（例 18）。単行資料の巻次及び部編名は 245\$n に記録し、245\$p は使用しない。

例 18) 245 00 \$6 880-01

\$a 千葉大学教育学部研究紀要.

\$n 2,

\$p 人文・社会科学編□/

\$c 千葉大学教育学部□編.¥

- ・末尾の区切り記号

①\$p がフィールド末尾 → ペリオド “.”（ペリオドが連続する場合は一つのみ記録）

②\$b（並列タイトル）が続く → 等号 “□=”

③\$b（タイトル関連情報）が続く → コロン “□:”

④\$cが続く → 斜線 “□/”

⑤\$n 又は別の\$pが続く → ペリオド “.”（ペリオドが連続する場合は一つのみ記録）

⑥\$hが続く → 区切り記号なし

●\$6: 読みの対応関係

- ・「5. 読みの表現方法」を参照のこと。
- ・末尾の区切り記号なし

246 別タイトル

■インディケータ

一番目: 注記/タイトル制御

0: 注記とする・タイトル制御なし (逐次刊行資料でのみ使用)

1: 注記とする・タイトル制御あり (逐次刊行資料でのみ使用)

2: 注記としない・タイトル制御なし

3: 注記としない・タイトル制御あり (2011年12月から作成するデータでは原則として使用しない)

二番目: タイトルの形式

#: キータイトル展開形又は最新号の本タイトルを格納する場合 (逐次刊行資料でのみ使用)

0: 部分タイトル (逐次刊行資料でのみ使用)

1: 並列タイトル

3: 参照タイトル、別タイトル、その他のタイトル (逐次刊行資料でのみ使用)

4: 表紙のタイトル (逐次刊行資料でのみ使用)

7: ランニングタイトル (逐次刊行資料でのみ使用)

8: 背表紙のタイトル (逐次刊行資料でのみ使用)

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可					
サブフィールドコード		全国書誌グループ入力		繰り返し	NCR 条項
\$a	並列タイトル、その他のタイトル	使用	必須	不可	1.1.3
\$b	並列タイトル、その他のタイトル関連情報	逐次刊行資料でのみ使用	あれば必須	不可	
\$g	付記事項 (その他のタイトル)	逐次刊行資料でのみ使用	あれば必須	不可	
\$i	説明句	逐次刊行資料でのみ使用	あれば必須	不可	
\$n	並列タイトル、その他のタイトル部編番	逐次刊行資料でのみ使用	あれば必須	可	

	号				
\$p	並列タイトル、その他のタイトル部編名	逐次刊行資料でのみ使用	あれば必須	可	
\$6	読みの対応関係	使用	あれば必須	不可	

このフィールドには、並列タイトルに関する事項等を記録する。フィールド末尾には区切り記号なし。

●\$a: 並列タイトル、その他のタイトル

- ・単行資料では並列タイトルを記録する（例 1）。ただし、2011 年 11 月までに作成したデータには部分タイトル、各巻タイトルが記録されている場合がある（例 2、3）。又、年代によっては、並列タイトルがフィールド 500（一般注記）に記録されている場合がある。

例 1) 245 00 \$6 880- 01

\$a 知の現場□=

\$b The△fields△of△knowledge□/

\$c 知的生産の技術研究会□編□;□久恒啓一□監修.¥

246 21 \$a The△fields△of△knowledge¥

例 2) 部分タイトルを記録する場合

246 20 \$a 手裏剣お花¥

246 20 \$a 千の利休¥

例 3) 各巻タイトルを記録する場合

246 30 \$6 880- 02

\$a ふじいろの童話集¥

- ・逐次刊行資料では並列タイトル、その他のタイトル、最新号の本タイトル、キータイトルの展開形を記録する。ただし、その他のタイトルのうち、原タイトル、関連タイトルは、フィールド 740（その他のタイトル標目）に記録し、フィールド 246 には記録しない。
- ・並列タイトル責任表示がある場合、同一サブフィールド内にスペース、斜線、スペース “□/□” で連結して記録する（例 4）。その他のタイトル責任表示も同様とする。

例 4) 246 21 \$a Bulletin□/□Research△Institute△of△Christian△Culture¥

- ・末尾の区切り記号

①\$*n* 又は \$*p* が続く → ピリオド “.”

②\$b (タイトル関連情報) が続く → コロン “□ :”

③\$g が続くか、\$a がフィールド末尾 → 記号なし

●\$b: 並列タイトル関連情報、その他のタイトル関連情報

- ・逐次刊行資料の 246\$a に記録したタイトルのタイトル関連情報を記録する (例 5、6)。
- ・末尾の区切り記号なし

例 5) 246 21 \$a Family△Court△probation□:

\$b bulletin △ of △ the △ Research △ and △ Training △ Institute △ for △ family△Court△Probation△Officers ¥

例 6) 246 21 \$a Annual△report□:

\$b Canadian△record△of△performance△for△sheep□/□Agriculture△ Canada,△Food△Production△and△Marketing△Branch,△Livestock△ Division ¥

●\$n: 並列タイトル、その他のタイトル部編番号

- ・逐次刊行資料の 246\$a に記録したタイトルの部編番号を記録する。

例 7) 246 21 \$a Memoirs△of△the△College△of△Education.

\$n 1,

\$p Educational△science ¥

- ・末尾の区切り記号

①別の\$n が続く → ピリオド “.”

②\$p が続く → コンマ “,”

③\$b (タイトル関連情報) が続く → コロン “□ :”

④\$n がフィールド末尾 → 記号なし

●\$p: 並列タイトル、その他のタイトル部編名

- ・逐次刊行資料の 246\$a に記録したタイトルの部編名を記録する。
- ・末尾の区切り記号

①\$n 又は別の\$p が続く → ピリオド “.”

②\$b (タイトル関連情報) が続く → コロン “□ :”

③\$p がフィールド末尾 → 記号なし

●\$g: 付記事項 (その他のタイトル)

- ・逐次刊行資料のその他のタイトルの付記事項を記録する場合、丸括弧で囲み記録する。
- ・末尾の区切り記号なし

例 8) 246 23 \$a 英知大学人文科学研究室紀要
\$g (1 卷-10 卷)¥

●\$i: 説明句

- ・ 逐次刊行資料の最新号の本タイトル、キータイトル展開形を 246\$a に記録する場合に、「最新号の本タイトル:」、「キータイトル展開形:」とそれぞれ記録する (例 9、10)。
- ・ 末尾の区切り記号なし。

例 9) 245 00 \$a 発育発達専門分科会通信.¥
246 1# \$i 最新号の本タイトル:
\$a 日本体育学会発育発達専門分科会通信¥

例 10) 222 #0 \$a CHAT△technical△report ¥
246 0# \$i キータイトル展開形:
\$a Center△for△Human△Activity△Theory△technical△reports ¥

●\$6: 読みの対応関係

- ・ 「5. 読みの表現方法」を参照のこと。
- ・ 末尾の区切り記号なし

25X-28X : 版、資料特性、出版・頒布等ブロック

このブロックには、『日本目録規則 1987年版改訂3版』(NCR)で規定される書誌的事項のうち、版に関する事項(NCRの1.2)、資料(又は刊行形式)の特性に関する事項(同1.3)、出版・頒布等に関する事項(同1.4)を記録する。

■フィールド一覧

- 250 版に関する事項
- 255 数値データに関する事項(地図資料)
- 256 電子的内容(電子資料)
- 260 出版・頒布等に関する事項

250 版に関する事項

■インディケータ

一番目: 未定義

#: 未定義

二番目: 未定義

#: 未定義

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し不可					
サブフィールドコード		入力		繰り返し	NCR 条項
\$a	版表示	使用	必須	不可	1.2
\$b	特定の版にのみ関係する責任表示等	使用	あれば必須	不可	1.2

このフィールドには、版に関する事項を記録する。単行資料において、「平成 20 年度版」等、年次として扱ったものは 245\$n に記録する。

特殊な版表示（装丁や出版物の流通範囲を示す版。NCR 1.7.3 参照）や翻訳資料の原著の版次は、フィールド 500（一般注記）に記録する。

フィールド末尾にはピリオド“.”を付す。ピリオドが連続する場合は一つのみ記録する。

●\$a: 版表示

・版表示を記録する（例 1）。

例 1) 250 ## \$a 新装版.¥

・付加的版表示がある場合は同一サブフィールド内にコンマ、スペース“,”、“ ”で連結して記録する（例 2）。ただし、年代によっては同一サブフィールド内にスペース“ ”で連結して記録している場合もある（例 3）。

例 2) 250 ## \$a 第 2 版,□補訂 2 版.¥

例 3) 250 ## \$a 新版□全訂版.¥

・末尾の区切り記号

① \$b (版責任表示) が続く → スペース、斜線 “□/”

② \$a がフィールド末尾 → ピリオド“.”(ピリオドが連続する場合は一つのみ記録)

● \$b: 特定の版にのみ関係する責任表示等

・特定の版にのみ関係する責任表示を記録する。責任表示と役割表示はスペース“□”で連結する(例3、4)。

例3) 250 ## \$a 第3版□/

\$b 清水誠□補訂.¥

例4) 250 ## \$a 第3版,□補訂2版□/

\$b 船山泰範□補訂.¥

・同一の役割のもとに責任表示が複数ある場合は、コンマ、スペース“,”、“□”で連結する(例5)。

例5) 250 ## \$a 増補版□/

\$b 酒井啓亘,□田中清久□著.¥

・役割が異なる責任表示が複数ある場合はスペース、セミコロン、スペース“□;□”で連結する(例6)。

例6) 250 ## \$a 普及版□/

\$b セルゲイ・クズネツォーフ□監訳□;□長勢了治□訳.¥

・年代によっては一つの250\$a内に版表示と責任表示を記録している場合もある(例7)。

例7) 250 ## \$a 修訂第2版□鎌田正, 米山寅太郎修訂.¥

・末尾の区切り記号 → ピリオド“.”(ピリオドが連続する場合は一つのみ記録)

255 数値データに関する事項（地図資料）

■インディケータ

一番目：未定義

#：未定義

二番目：未定義

#：未定義

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可					
サブフィールドコード		入力		繰り返し	NCR 条項
\$a	縮尺	使用	必須	不可	1.3 4.3
\$b	投影法表示	使用	あれば必須	不可	1.3 4.3
\$c	経緯度	使用	あれば必須	不可	1.3 4.3

このフィールドは、地図資料についてのみ使用し、地図資料の資料特性事項である数値データに関する事項（縮尺・図法・経緯度）を記録する。フィールド 255 を繰り返す場合は、それぞれに対応するフィールド 034（数値データ：コード化情報（地図資料））を記録する。

フィールドの末尾には必ずピリオドを付す。

●\$a: 縮尺

- ・縮尺表示を記録する（例 1）。
- ・縮率を記録する際のコロンの前後にはスペースは置かない。二つの縮尺を記録する場合は、コンマ、スペース“ ”で連結する（例 2）。三つ以上の縮尺があり、最大値と最小値がわかっている場合は、両者の縮尺をハイフン“-”で結んで記録する（例 3）。

例 1) 255 ## \$a 1:5000.¥

例 2) 255 ## \$a 1:18000,□1:30000.¥

例 3) 255 ## \$a 1:13896-1:36794.¥

例 4) 255 ## \$a [縮尺決定不能].¥

・ 比例形式の縮尺を当フィールドに記録した場合は、それを正規化した数値を 034\$b または 034\$c に記録する。

・ 末尾の区切り記号

①\$a がフィールド末尾 → ピリオド “.”

②別の\$b が続く → セミコロン “;”

③\$c が続く → 記号なし

●\$b: 投影法表示

・ 投影法表示を記録する (例 5)。

例 5) 255 ## \$a 1:5000□;

\$b メルカトル図法.¥

・ 投影法表示をコード化して記録する場合には 008/22-23 投影図法 (地図資料) に記録する (例 6)。

・ 末尾の区切り記号

①\$b がフィールド末尾 → ピリオド “.” (ピリオドが連続する場合は一つのみ記録)

②\$c が続く → 記号なし

●\$c: 経緯度

・ 経緯度を記録する。

・ 地図資料の最西端 (経度)、最東端 (経度)、最北端 (緯度)、最南端 (緯度) の順序に経度・緯度ともに 60 進法 (ただし、度については 360 度) により、度 (°)、分 (′)、秒 (″) で記録する。度はグリニッチ主基準線から記録し、北緯は N (North の略)、南緯は S (South の略)、西経は W (West の略)、東経は E (East の略) と記録する。

記録の形は (経度-経度/緯度-緯度) とする。それぞれ対になった経度と緯度とは斜線 “/” で区切る。斜線の前後にスペースは置かない。経度同士、緯度同士はハイフン “-” で区切る。ハイフンの前後にスペースは置かない。経緯度表示全体は丸括弧で囲み記録する。

・ 経緯度を 8 桁に正規化したものを 034\$d~\$g に記録する。

・ 末尾の区切り記号 → ピリオド “.”

例 6) 008/22-23 bh

034 1# \$a a

\$b 25000

\$d E1401300

\$e E1402500

\$f N0385000

\$g N0383600 \yen

255 ## \$a 1:25000 \square ;

\$b ユニバーサル横メルカトル \square 法

\$c (E140° 13' -E140° 25' /N38° 50' -N38° 36'). \yen

256 電子的内容（電子資料）

■インディケータ

一番目：未定義

#：未定義

二番目：未定義

#：未定義

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し不可					
サブフィールドコード		入力		繰り返し	NCR 条項
\$a	電子的内容	使用	必須	不可	1.3 9.3.1

このフィールドは、電子資料についてのみ使用し、電子資料の資料特性事項である電子的内容を記録する。

フィールド末尾にピリオドを付す。

●\$a: 電子的内容

- ・電子的内容を記録する。電子的内容は、一まとまりのデータや一つの特定の名称で識別されるプログラムを一単位とする。
- ・電子的内容を第1レベルもしくは第2レベルで記録する（例1）。具体的には以下に示す日本語又は英語の用語を使用する。
- ・複数の用語を記録する場合、同一サブフィールド内にスペース“□”で連結する（例2）。

第1レベル	第2レベル
データ Data	画像データ Image△data 数値データ Numeric△data 地図データ Map△data テキスト・データ Text△data フォント・データ Font△data

	録音データ Sound△data 点字データ Braille△data
プログラム Program	アプリケーション・プログラム Application△program システム・プログラム System△program ユーティリティ・プログラム Utility△program
データ及びプログラム Data△and△program	上記の用語の組み合わせ インタラクティブ・マルチメディア Interactive △ multimedia オンライン・サービス Online△service

例 1) 256 ## \$a アプリケーション・プログラム.¥

例 2) 256 ## \$a 画像データ□テキスト・データ.¥

260 出版・頒布等に関する事項

■インディケータ

一番目：出版事項の順序

#：非適用又は最初の出版事項

2：中間の出版事項（逐次刊行資料でのみ使用）

3：最新又は最後の出版事項（逐次刊行資料でのみ使用）

二番目：未定義

#：未定義

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し 逐次刊行資料：可 逐次刊行資料以外：不可					
サブフィールドコード		入力		繰り返し	NCR 条項
\$a	出版地・頒布地等	使用	あれば必須	可	1.4.1
\$b	出版者・頒布者等	使用	あれば必須	可	1.4.2
\$c	出版年月・頒布年月等	使用	あれば必須	可	1.4.3
\$6	読みの対応関係	使用	あれば必須	不可	

このフィールドには、出版・頒布等に関する事項を記録する。

継続ものの出版者の変遷がある場合、逐次刊行資料ではフィールドを繰り返して記録する。逐次刊行資料以外ではフィールド 260 は繰り返さない。

出版者と頒布者を記録する場合、及び逐次刊行資料で共同刊行者を記録する場合、同一フィールド内でサブフィールドを繰り返す。

他の記号が末尾になれば、フィールド末尾にピリオドを付す。

●\$a: 出版地・頒布地等

・出版地・頒布地等を記録する（例 1、2）。

例 1) 260 ## \$6 880-02

\$a 東京□:

\$b 音楽の世界社,

\$c 2008.6.¥

例 2) 260 ## \$6 880-02

\$a[出版地不明]□:

\$b「シュルレアリスムと美術-イメージとリアリティーをめぐって」展実行
委員会

\$c 2007. ¥

- ・ 出版地が町村の場合（例 3）及び識別上必要があるとき（例 4）には、都道府県名（同一町村名があるとき郡名まで）を付記事項として丸括弧で付記する。ただし、年代によってはそれ以外の形もある（例 5、6）。

例 3) 260 ## \$a 大社町□(島根県)□:

例 4) 260 ## \$a 府中□(広島県)□:

例 5) 260 ## \$a 兵庫県日高町□:

例 6) 260 ## \$a 滋賀県東浅井郡速水村□:

- ・ 出版地・出版者と頒布地・頒布者の双方を記録する場合は、260\$a と 260\$b をセットで繰り返す（例 7）。ただし、年代によっては頒布地・頒布者をフィールド 500（一般注記）に記録している場合がある。

例 7) 260 ## \$6 880-02

\$a 八王子□:

\$b アースメディア□;

\$a 東京□:

\$b 星雲社□(発売),

\$c 2008.6. ¥

- ・ 共同刊行の場合、2 番目以降の出版者は注記する。ただし、逐次刊行資料の場合は、260\$a と 260\$b をセットで繰り返してフィールド 260 に記録する（例 8）。

例 8) 逐次刊行資料で共同刊行者を記録する場合

260 ## \$6 880-03

\$a [福岡]□:

\$b 自然災害研究協議会西部地区部会□;

\$a [福岡]□:

\$b 九州大学西部地区自然災害資料センター,

\$c 2011- ¥

- ・ 逐次刊行資料の出版者の変遷がある場合は、インディケータを区別し、フィールド 260

を繰り返して記録する（例 9）。

例 9) 260 ## \$6 880-02

\$a 横浜□:

\$b 近代文化研究所,

\$c2008-¥

260 2# \$6 880-03

\$a 千葉□:

\$b 文化財研究所.¥

260 3# \$6 880-04

\$a 東京□:

\$b 平成女子大学文化研究会.¥

・末尾の区切り記号

①\$b が続く → スペース、コロン “□ :”

②\$c が続く → コンマ “,”

③\$a がフィールド末尾 → ペリオド “.”（ただし、他の記号の直後となる場合は記録しない）

●\$b: 出版者・頒布者等

・出版者・頒布者等を記録する。頒布者、製作者等は説明を丸括弧で付記することがある（例 10）。

例 10) 260 ## \$a 東京:

\$b 朋文社□(印刷)

\$c 2000.11.¥

・末尾の区切り記号

①\$a が続く → セミコロン “□ ;”

②別の\$b が続く → コロン “□ :”

③\$c が続く → コンマ “,”

④\$b がフィールド末尾 → ペリオド “.”（ただし、他の記号の直後となる場合は記録しない）

●\$c: 出版年月・頒布年月等

・出版・頒布年月等を西暦年で記録する。

・出版年月は、『日本目録規則 1987 年版改訂版』採用後は当該版初刷の出版年月を（例 10、11）、『日本目録規則 1987 年版改訂版』採用前は当該版最新の出版年月を記録する。

・ 出版年月以外の表示のみの時は表示されているものを記録する（例 12）。ただし、元号を用いている場合（例 13、15）、出版月を除いた出版年のみを記録している場合（例 14、15）もある。なお、逐次刊行資料においては出版年のみを記録する。

例 11) 初刷の出版年が不明で、3刷の出版年を記録する場合

260 ## \$c 1976.6(3刷)

例 12) 著作権表示年を記録する場合

260 ## \$c c1986

例 13) 260 ## \$c 明 44.8

例 14) 260 ## \$c 1968□6版

例 15) 260 ## \$c 昭和 20

・ 逐次刊行資料において、出版者の変遷があり、フィールド 260 を繰り返して記録する場合、インディケータ##のフィールド 260 にのみ 260\$c を記録する。

・ 単行資料の一括記入や加除式資料では最初の出版年月と最新の出版年月をハイフン“-”で連結して記録する（例 16～18）。

例 16) 一括記入で最初の出版年月と最新の出版年月を記録する場合

260 ## \$c 1997.6-1998.5.

例 17) 一括記入で最初の出版年と最新の出版年が同一の場合

260 ## \$c 1997.6-8.

例 18) 加除式資料の場合

260 ## \$c 1998.2-

・ 末尾の区切り記号 → ピリオド“.”（ただし、他の記号の直後となる場合は記録しない）

●\$6: 読みの対応関係

・ 「5. 読みの表現方法」を参照のこと。

・ 末尾の区切り記号なし

3XX : 形態等ブロック

このブロックには、『日本目録規則 1987年版改訂3版』(NCR)で規定される書誌的事項のうち、形態に関する事項(NCRの1.5)、逐次刊行資料の刊行頻度(同13.7.3.0エ)、逐次刊行資料の順序表示(同13.3)を記録する。又、逐次刊行資料の休・廃刊注記も記録する。

■フィールド一覧

- 300 形態に関する事項
- 310 刊行頻度
- 362 順序表示(巻次・年月次) / 休・廃刊注記

300 形態に関する事項

■インディケータ

一番目: 未定義

#: 未定義

二番目: 未定義

#: 未定義

フィールド必須 フィールド繰り返し可					
サブフィールドコード		全国書誌グループ入力		繰り返し	NCR 条項
\$a	特定資料種別と資料の数量	使用	必須	可	1.5.1
\$b	その他の形態的細目	使用	あれば必須	不可	1.5.2
\$c	大きさ	使用	あれば必須	可	1.5.3
\$e	付属資料	使用	あれば必須	不可	1.5.4

このフィールドには、形態に関する事項を記録する。

他の記号が末尾になれば、フィールド末尾にピリオドを付す。

●\$a: 特定資料種別と資料の数量

- 当該記述対象資料の属する特定資料種別の名称と資料の個数（冊・枚等）を「特定資料種別□数量」の形で記録する（例 1）。ただし、印刷された文字資料や点字資料の場合、特定資料種別は記録せず、資料の構成単位の数量（例えばページ、丁等）を記録する。資料の個数又は構成単位の数量は、冊、軸、枚、p、丁、欄、などを用いる。ページ付けが複数ある場合は同一サブフィールド内でコンマ、スペース“， □”で連結して記録する（例 2）。

例 1) 特定資料種別を記録する場合

300 ## \$a トランスペアレンシー□1 枚.¥

例 2) ページ付けが複数ある場合

300 ## \$a 774,□21p□;
\$c 23cm. ¥

例 3) ページ付けがない場合

300 ## \$a 1 冊□(ページ付なし)□;
\$c 23×31cm. ¥

・年代によっては、挿図、肖像、地図、表等をつけて記録している場合がある (例 4～6)。

例 4) 300 ## \$a 356p□図版□表□地図

例 5) 300 ## \$a 246p(図版□解説共)

例 6) 300 ## \$a 285p□貼り込み原色図版 100 枚

・末尾の区切り記号

①\$b が続く → コロン “□ :”

②\$c が続く → セミコロン “□ ;”

③\$e が続く → プラス “□ +”

④\$a がフィールド末尾 → ペリオド “.” (ただし、他の記号の直後となる場合は記録しない)

●\$b: その他の形態的細目

・数量と大きさ以外の形態に関する書誌的事項を記録する (例 7、8)。

・末尾の区切り記号

①\$c が続く → セミコロン “□ ;”

②\$e が続く → プラス “□ +”

例 7) マイクロ資料の極性について記録する場合

300 ## \$a マイクロフィルムリール□1 巻□:
\$b ネガ□;
\$c 10cm,□35mm. ¥

例 8) 録音ディスクの記録方式と再生速度を記録する場合

300 ## \$a 録音ディスク□1 枚□:
\$b アナログ,□78rpm
\$c 25cm. ¥

●\$c: 大きさ

- ・資料の大きさを記録する。
- ・資料の大きさの単位は原則としてセンチメートル“cm”を使用する。小数点以下は、原則として大きさが10cm以下のときのみ記録する。ただし、マイクロ資料等では、ミリメートル“mm”の単位を用いている場合もある。
- ・末尾の区切り記号
 - ①\$eが続く → プラス“□+”
 - ②\$cがフィールド末尾 → ピリオド“.”（ただし、他の記号の直後となる場合は記録しない）

例 9) 資料の背の高さを記録する場合

300 ## \$a 310p□;
\$c 30cm.¥

例 10) 資料の直径を記録する場合

300 ## \$a CD-ROM□1 枚□;
\$c 12cm,□+
\$e マニュアル□(41p□;□21cm)¥
500 ## \$a ホルダー入□(19cm)¥

●\$e: 付属資料

- ・資料本体と分離する付属資料がある場合、付属資料の資料の種別、特性、数量、大きさ等を区切り記号で連結して記録する。ただし、以前のデータではフィールド500（一般注記）に記録している場合がある。
- ・付属資料のタイトルは、当フィールドではなくフィールド500（一般注記）に記録する。
- ・末尾の区切り記号 → ピリオド“.”（ただし、他の記号の直後となる場合は記録しない）

例 11) 付属資料の数量のみを記録する場合

300 ## \$a 282p□;
\$c 20cm□+
\$e 4p.¥

例 12) 付属資料の種別と数量と大きさを記録する場合

300 ## \$a 176p□;
\$c 30cm□+
\$e DVD-Video□1 枚□(12cm)¥

例 13) 複数の付属資料を記録する場合

300 ## \$a 1 冊□(ページ付なし)□;

\$c 22×22cm□+

\$e タングラム□1 セット□+□1 枚. ㍷

310 刊行頻度

■インディケータ

一番目: 未定義

#: 未定義

二番目: 未定義

#: 未定義

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し不可					
サブフィールドコード		入力		繰り返し	NCR 条項
\$a	刊行頻度	使用	必須	不可	13.7.3.0

このフィールドは、逐次刊行資料についてのみ使用し、刊行頻度に関する注記を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。

●\$a: 刊行頻度

現在の刊行頻度を、文字列で記録する（例 1）。具体的には以下に示す用語を使用する。刊行頻度が不明の場合、当フィールドには何も記録しない（例 2）。

008/18 刊行頻度（継続資料）	008/19 刊行の規則性 （継続資料）	310\$a（日本語又は英語のいずれかの用語を使用）
a	r	年刊 annual
b		隔月刊 bimonthly
c		半週刊 semiweekly
d		日刊 daily
e		隔週刊 biweekly
f		半年刊 semiannual
g		隔年刊 biennial

h		3年1回刊 triennial
i		週3回刊 three△times△a△week
j		旬刊 three△times△a△month
m		月刊 monthly
q		季刊 quarterly
s		半月刊 semimonthly
t		年3回刊 three△times△a△year
w		週刊 weekly
z		隔日刊 bidaily 月 n 回刊※ n△times△a△month 週 n 回刊※ n△times△a△week 年 n 回刊※ n△times△a△year n 月 1 回刊※ every△n△months n 週 1 回刊※ every△n△weeks n 年 1 回刊※ every△n△years 記録しない場合もあり
#	x	不定期刊 irregular
		記録しない
u	u	記録しない

※n=数字

例 1) 008/18 m
008/19 r
310 ## \$a 月刊 ¥

例 2) 008/18 u
008/19 u
(フィールド 310 は記録しない)

362 順序表示（巻次・年月次）／休・廃刊注記

■インディケータ

一番目：年月次のフォーマット

0：順序表示（巻次・年月次）

1：休・廃刊注記

二番目：未定義

#：未定義

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可					
サブフィールドコード		入力		繰り返し	NCR 条項
\$a	順序表示（巻次・年月次） ／休・廃刊注記	使用	必須	不可	1.3 13.3

このフィールドは、逐次刊行資料についてのみ使用し、逐次刊行資料の資料特性事項である順序表示に関する事項を記録する。

他の記号が末尾になれば、フィールド末尾にピリオドを付す。

●\$a: 順序表示（巻次・年月次）／休・廃刊注記

- ・逐次刊行資料の刊行状態を示す巻次とその年月次に関する事項を記録する。年月次は、巻次に続けて丸括弧で囲み記録する（例 1）。

例 1) 362 0# \$a 13 巻 1 号□=□122 号△(1984 年 1 月)-36 巻 12 号□=□409 号△(2007 年 12 月)¥

- ・休・廃刊に関する事実が明らかなきときは、休・廃刊注記を記録する（例 2）。

例 2) 362 1# \$a 以後廃刊.¥

4XX : シリーズブロック

このブロックには、『日本目録規則 1987年版改訂3版』(NCR)で規定される書誌的事項のうち、シリーズに関する事項(NCRの1.6)を記録する。

■フィールド一覧

490 シリーズに関する事項

490 シリーズに関する事項

■インディケータ

一番目: シリーズ副出記入の有無

0: シリーズ副出記入なし

二番目: 未定義

#: 未定義

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可					
サブフィールドコード		入力		繰り返し	NCR 条項
\$a	シリーズタイトル等	使用	必須	可	1.6
\$v	シリーズ番号	使用	あれば必須	可	1.6.6
\$x	シリーズの ISSN	使用	あれば必須	可	1.6.5
\$6	読みの対応関係	使用	あれば必須	不可	

このフィールドには、シリーズに関する事項を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。

●\$a: シリーズタイトル等

- ・本シリーズ名、シリーズ部編番号、シリーズ部編名、並列シリーズ名、シリーズ名関連情報、シリーズに関係する責任表示を区切り記号で連結して記録する（例 1）。

例 1) 490 0# \$6 880- 02

\$a 世界音楽全集≡

- ・シリーズ名が複数あり、親子関係（上位シリーズ、下位シリーズがある）の場合は、記録の順序順にピリオド“.”で連結して同一フィールド内でサブフィールドを繰り返して記録する（例 2、3）。

例 2) 490 0# \$6 880-03

\$a 児童図書館・文学の部屋.

\$a ベイカー少年探偵団□=

\$a Baker△street△boys□;

\$v 3¥

例 3) 490 0# \$6 880-03

\$a B. B.△mook□;

\$v 547.

\$a スポーツシリーズ□;

\$v no.421¥

- ・ 2 以上のシリーズに属している場合の 2 番目以降の本シリーズ名は、フィールド 490 を繰り返して記録する (例 4)。ただし、年代によっては、2 番目以降のシリーズに関する事項をフィールド 500 (一般注記) に丸括弧で囲み記録している場合がある。フィールド 500 の項を参照のこと。

例 4) 490 0# \$6 880-03

\$a 国土技術政策総合研究所資料□=

\$a Technical△note△of△National△Institute△for△Land△and△
Infrastructure△Management□/□国土技術政策総合研究所□編,

\$x 1346-7328□;

\$v 第 360 号¥

490 0# \$6 880-04

\$a 土木研究所資料□=

\$a Technical△note△of△Public△Works△Research△Institute□/□土木
研究所□編□;

\$v 第 4040 号¥

- ・ 逐次刊行資料のシリーズ部編番号、シリーズ部編名を記録する際は、本シリーズ名の直後に本シリーズ名、ピリオド、スペース “ . □ ”、シリーズ部編番号、コンマ、スペース “ , □ ”、シリーズ部編名の順で記録する (例 5、6)。

例 5) 逐次刊行資料のシリーズ部編番号、シリーズ部編名を記録する場合

490 0# \$6 880-04

\$a 国際基督教大学学報.□4,□B

例 6) 逐次刊行資料のシリーズ部編名を記録する場合

490 0# \$6 880-04

\$a NHK ラジオ学校放送.□社会科 4 年¥

- ・並列シリーズ名を記録する場合は、本シリーズ名の直後にスペース、等号“□=”で連結してサブフィールドを繰り返して記録する(例 7)。本シリーズ名のシリーズ名関連情報、シリーズに関する責任表示は並列シリーズ名の直後に、並列シリーズ名、スペース、コロン、スペース“□:□”、シリーズ名関連情報、スペース、斜線、スペース“□/□”、シリーズに関する責任表示の順で記録する(例 8)。

例 7) 490 0# \$6 880-03

\$a シークレット・セブン□=

\$a The△secret△seven□;

\$v 4¥

例 8) 490 0# \$6 880-03

\$a 大阪大学 21 世紀 COE プログラム「インターフェイスの人文科学」報告書□=

\$a Osaka △ University △ the △ 21st △ century △ COE △ program △ interface△humanities△research△activities□/□大阪大学文学研究科・

人間科学研究科・言語文化研究科□[編]¥

- ・並列シリーズ名を記録しない場合は、本シリーズ名のシリーズ名関連情報、シリーズに関する責任表示は本シリーズ名の直後に、本シリーズ名、スペース、コロン、スペース“□:□”、シリーズ名関連情報、スペース、斜線、スペース“□/□”、シリーズに関する責任表示の順で記録する(例 9~11)。ただし、年代によっては、本シリーズ名のシリーズ名関連情報を本シリーズ名の後にスペース“□”で連結して記録している場合もある。

例 9) 本シリーズ名、シリーズ名関連情報、シリーズに関する責任表示を記録する場合

490 0# \$6 880-03

\$a 日本歴史叢書□:□新装版□/□日本歴史学会□編¥

例 10) 本シリーズ名、シリーズ名関連情報を記録する場合

490 0# \$6 880-03

\$a 高度技術集約型産業等研究開発調査□:□ITS の規格化事業(第 2 フェーズ)□;

\$v 平成 20 年度.

\$a ITS 規格化□;

\$v S08-3¥

例 11) 本シリーズ名、シリーズに関する責任表示を記録する場合

490 0# \$6 880-03

\$a 場面でわかる正しいことばづかいと敬語□/□田近洵一,□宮腰賢□監修
□;

\$v 5¥

・ 末尾の区切り記号

- ①別の\$aが続く（下位シリーズ名を記録する） → ピリオド “.”
- ②別の\$aが続く（並列シリーズ名を記録する） → 等号 “□=”
- ③\$xが続く → コンマ “,”
- ④\$vが続く → セミコロン “□ ;”
- ⑤\$aがフィールド末尾 → 記号なし

●\$v: シリーズ番号

・ シリーズ番号を記録する（例 12）。

・ 末尾の区切り記号

- ①\$aが続く（下位シリーズ名を記録する） → ピリオド “.”
- ②\$vがフィールド末尾 → 記号なし

例 12) 490 0# \$6 880-03

\$a 大和郡山市埋蔵文化財調査報告書□;

\$v 第 18 集¥

●\$x: シリーズの ISSN

・ シリーズの ISSN を記録する（例 13）。複数あるシリーズのそれぞれに ISSN が付与されている場合は、それぞれ記録する（例 14）。ただし、年代によっては、シリーズに対する ISSN であってもフィールド 022（国際標準逐次刊行物番号（ISSN））に記録している場合がある。

・ 末尾の区切り記号

- ①\$aが続く（下位シリーズ名を記録する） → ピリオド “.”
- ②\$vが続く → セミコロン “□ ;”
- ③\$xがフィールド末尾 → 記号なし

例 13) 490 0# \$6 880-03

\$a 食べもの文化別冊,
\$x 0388-9424¥

例 14) 490 0# \$6 880-03

\$a Lund△studies△in△geography,
\$x 1400-1144□;
\$v 101.
\$a Ser.△B,□Human△geography,
\$x 0076-1478□;
\$v 48¥

●\$6: 読みの対応関係

- ・「5. 読みの表現方法」を参照のこと。
- ・末尾の区切り記号なし

5XX : 注記ブロック

このブロックには、『日本目録規則 1987年版改訂3版』(NCR)で規定される書誌的事項のうち、注記に関する事項(NCRの1.7)を記録する。

■フィールド一覧

- 500 一般注記
- 504 書誌注記
- 505 内容に関する注記
- 511 出演者注記
- 516 電子的内容に関する注記
- 518 日時及び場所に関する注記
- 530 別の媒体に関する注記
- 534 原資料に関する注記
- 538 システム要件に関する注記 (電子資料)
- 546 言語注記
- 550 出版・頒布等に関する注記
- 555 総目次・総索引注記
- 563 装丁に関する注記
- 580 記入リンクに関する注記

500 一般注記

■インディケータ

一番目: 未定義

#: 未定義

二番目: 未定義

#: 未定義

フィールド任意					
フィールド繰り返し可					
サブフィールドコード		入力		繰り返し	NCR 条項
\$a	一般注記	使用	必須	不可	1.7

このフィールドには、一般注記を記録する。注記ブロック（フィールド 5XX）の他のフィールドに属さない注記事項は全て当フィールドに記録する。

他の記号が末尾になれば、フィールド末尾にピリオドを付す。

●\$a: 一般注記

- ・一般注記を記録する。一般注記が複数ある場合は、特定事項に属さない注記、各書誌的
事項に関する注記の順にフィールドを繰り返して記録する。
- ・同一の書誌的事項に関する事項が複数ある場合は、コンマ、スペース“、□”で連結し
て記録する。ただし、この形式によらない場合もある。

例 1) 500 ## \$a 複製及び翻刻.¥

例 2) 500 ## \$a 会期・会場:□2007年4月21日-6月17日 宇都宮美術館ほか.¥

例 3) 500 ## \$a 標題紙・背のタイトル:□シュルレアリスムと美術-イメージとリアリテ
ィーをめぐって.¥

例 4) 500 ## \$a 画:□池田宗隆.¥

- ・単行資料の年代によっては、2以上のシリーズに属しているときの2番目以降の本シリー
ズ名、シリーズ番号を、丸括弧で囲み先頭に記録していることがある（例 5）。

例 5) 500 ## \$a (東北縦貫自動車道八戸線関係埋蔵文化財調査報告書△1)□引用・参考文献:□357～360. ¥

・並列タイトル・原タイトルでない外国語のタイトル及び情報源によって異なるタイトルのうち、フィールド 245 (タイトルと責任表示に関する事項)、490 (シリーズに関する事項) に記録しなかったタイトルはここに記録する。

・資料本体と分離する付属資料は、原則としてフィールド 300 (形態に関する事項) に記録するが、ここに記録している場合がある。

・付属資料のタイトル等を記録する際は、導入句「付属資料：□」の後に続けてここに記録する (例 6)。

例 6) 300 ## \$a 1 冊□(ページ付なし)□;

\$c 26×26cm□+

\$e 23p. ¥

500 ## \$a 付属資料:□23p□:□ミニ恐竜図鑑. ¥

・単行資料で原タイトルを記録する場合は、導入句「原タイトル：□」の後に続けて記録する (例 7)。抄訳等の付記事項がある場合は丸括弧で付記する (例 8)。原タイトルはフィールド 740 (その他のタイトル標目) にも記録する。

例 7) 500 ## \$a 原タイトル:□How△to△heal△a△broken△wing. ¥

例 8) 500 ## \$a 原タイトル:□The△violet△fairy△book.□(抄訳) ¥

・同じ媒体の別の版がある場合や、目録対象資料そのものの媒体に関する注記を記録する (例 9)。記述しているものとは異なる媒体に関する注記は、フィールド 530 (別の媒体に関する注記) に記録する。ただし、年代によっては目録対象資料そのものの媒体の形態に関する注記がフィールド 530 に記録されている場合がある。

例 9) 500 ## \$a microSD. ¥

・資料の容器及び容器の大きさに関する注記はここに記録する (例 10、11)。

例 10) 500 ## \$a 箱入. ¥

例 11) 500 ## \$a 外箱入□(38cm) ¥

504 書誌注記

■インディケータ

一番目: 未定義

#: 未定義

二番目: 未定義

#: 未定義

フィールド任意					
フィールド繰り返し可					
サブフィールドコード		入力		繰り返し	NCR 条項
\$a	書誌注記	使用	必須	不可	1.7

このフィールドには、内容に関する注記のうち書誌、年譜、年表等についての注記を記録する。

他の記号が末尾になれば、フィールド末尾にピリオドを付す。

●\$a: 書誌注記

- ・書誌注記を記録する。書誌注記が複数ある場合はフィールドを繰り返して記録する。

例) 504 ## \$a 文献あり.¥

504 ## \$a 年表あり.¥

505 内容に関する注記

■インディケータ

一番目: 固定表示文字列

0: 内容

二番目: 内容のレベル

#: 一括内容細目

0: 分割内容細目

フィールド任意 フィールド繰り返し可					
サブフィールドコード		入力		繰り返し	NCR 条項
\$a	内容に関する注記	使用	あれば必須	不可	1.7 2.7.3.7
\$g	その他の情報	使用	あれば必須	可	1.7 2.7.3.7
\$r	責任表示	使用	あれば必須	可	1.7 2.7.3.7
\$t	タイトル	使用	あれば必須	可	1.7 2.7.3.7

このフィールドには、内容に関する注記を記録する。内容に関する注記のうち書誌、年譜、年表等についてはフィールド 504（書誌注記）に記録するが、年代によっては当フィールドに記録している場合がある。又、録音資料と映像資料の 505\$a に記録した内容細目の責任表示については、フィールド 511（出演者注記）に記録する。

同一の順序内の内容細目は、同一フィールド内にサブフィールドを繰り返して記録する（例 3）。ただし、必要に応じて、同一の順序内の内容細目であっても、フィールド 505 を繰り返して記録していることがある。

異なる順序付けの内容細目は、フィールド 505 を繰り返して記録する（例 4）。

フィールド 505 を繰り返して片仮名読みを記録している場合がある（例 12）。

フィールド 505 を繰り返す場合を除き、他の記号が末尾になればフィールド末尾にピリオドを付す。

フィールド 505 を繰り返す場合は、他の記号が末尾になれば最後のフィールド 505 にのみフィールド末尾にピリオドを付す。ただし、年代によっては全てのフィールド 505 の末尾にピリオドを付している。

●\$a: 内容に関する注記

- ・2011 年 12 月から作成するデータでは、原則として録音資料又は映像資料の内容に関する注記を記録する（例 1、2）。

例 1) 505 0# \$a DISC1(1)長崎の鐘(藤山一郎)(2)オリンピックの歌(藤山一郎,荒井恵子)(3)ホームラン・ブギ(笠置シズ子)(4)丘は花かざり(藤山一郎)(5)アデュー(淡谷のり子)¥

例 2) 505 0# \$a DISC2(1)芸道一代(美空ひばり)(2)熱帯(美空ひばり)(3)別れてもありがとう(美空ひばり)(4)人生将棋(美空ひばり)(5)この道を行く(美空ひばり)¥

- ・多巻ものを一括記入した場合の各巻のタイトル等のデータをここに記録している場合もある。

●\$g: その他の情報

- ・内容細目に対する注記を丸括弧で囲み記録する（例 11）。
- ・同一順序内の異なる内容細目に対する注記は、原則として同一フィールド内にサブフィールドを繰り返して記録する（例 5、6）。
- ・末尾の区切り記号

①\$t が続く → ピリオド “.”。

②\$g がフィールド末尾（別のフィールド 505 が続く） → 記号なし

③\$g がフィールド末尾（別のフィールド 505 が続かない） → ピリオド “.”

●\$r: 責任表示

- ・内容細目の責任表示を記録する。
- ・責任表示と役割表示はスペース “□” で連結する（例 7）。同一の役割のもとに責任表示が複数ある場合は、コンマ、スペース “, □” で連結する（例 8）。役割が異なる責任表示が複数ある場合はスペース、セミコロン、スペース “□ ; □” で連結する（例 9）。
- ・同一順序内の異なる内容細目の責任表示は、原則として同一フィールド内にサブフィールドを繰り返して記録する（例 7）。
- ・末尾の区切り記号

- ①\$g が続く → 記号なし
- ②別の\$t が続く → ピリオド “.” (ただし、他の記号の直後となる場合は記録しない)
- ③\$r がフィールド末尾 (別の 505 が続かない) → ピリオド “.” (ただし、他の記号の直後となる場合は記録しない)
- ④\$r がフィールド末尾 (別の 505 が続く) → 記号なし

●\$t:タイトル

- ・内容細目のタイトルを記録する。同一順序内で複数の内容細目がある場合は、原則として同一フィールド内にサブフィールドを繰り返して記録する (例 3)。
- ・順序付けを記録する場合もここに記録する (例 4)。
- ・各巻タイトルが複数ある場合の各巻のタイトルもここに記録する (例 10)。ただし、年代によっては、\$a に記録している場合がある。
- ・\$t に記録するタイトルの関連情報 (例 10) や巻次 (例 11) も区切り記号で連結して記録する。
- ・末尾の区切り記号

- ①別の\$t が続く → ピリオド “.” (ただし、他の記号の直後となる場合は記録しない)
- ②\$r が続く → 斜線 “□/”
- ③\$g が続く → 記号なし
- ④\$t がフィールド末尾 (別のフィールド 505 が続かない) → ピリオド “.” (ただし、他の記号の直後となる場合は記録しない)
- ⑤\$t がフィールド末尾 (別のフィールド 505 が続く) → 記号なし

例 3) 505 00 \$t スタン・ボロバン.
 \$t みどり色のさる.
 \$t とぶ船.
 \$t マドシャン.
 \$t 妖精のしくじり.¥

例 4) 505 00 \$t 巻 10.
 \$t 読書法.□上
 505 00 \$t 巻 11.
 \$t 読書法.□下.¥

例 5) 505 00 \$t [延宝年中長岡城下図]

\$g (延宝年間製作,□文化二年模写の複製).
\$t 長岡市地図
\$g (1:10000□目黒書店昭和 18 年刊の複製).¥

例 6) 505 00 \$t 聯珠類聚方□/
\$r 尾台武雄□撰
\$g (稿本).
\$t 信古堂丸散方萃□/
\$r 尾台武雄□纂集
\$g (稿本).
\$t 徳本翁方纂□/
\$r 尾台武雄□編
\$g (自筆稿本).¥

例 7) 505 00 \$t 死者はさまよう□/
\$r 松原由美子□著.
\$t ママはゴースト□/
\$r 石川千穂子□著.
\$t 火の玉を追うネコ□/
\$r 中村文人□著.
\$t さいごの写真□/
\$r たけたにちほみ□著.¥

例 8) 505 00 \$t 鼎談江戸川乱歩と大衆の二十世紀□/
\$r 川本三郎,□桜井哲夫,□藤井淑禎□述.¥

例 9) 505 00 \$t 未完小説草稿.
\$t 怪物□/
\$r 江戸川乱歩□著□;□藤井淑禎□解説.¥

例 10) 505 00 \$t 骨董□/
\$r 大谷正信,□田部隆次□訳
505 00 \$t 怪談□/
\$r 戸川明三□等訳
505 00 \$t 天の河縁起□:□そのほか□/
\$r 大谷正信,□田部隆次□訳.¥

例 11) 505 00 \$t 庖厨備用倭名本草.□卷 1-7□/
\$r 向井元升□著
\$g(国立国会図書館白井文庫蔵貞享元年刊).¥

例 12) 505 00 \$t 55.
\$t 鼎湖録.
505 00 \$t テイコロク.¥

511 出演者注記

■インディケータ

一番目: 固定表示文字列

0: 表示の固定制御なし

二番目: 未定義

#: 未定義

フィールドあれば必須				
フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		入力		繰り返し
\$a	出演者注記	使用	必須	不可

このフィールドは、録音資料と映像資料についてのみ使用し、内容細目の責任表示、及び責任表示に記録しなかった出演者や演奏者等の著作関与者に関する注記を記録する。

●\$a: 出演者注記

内容細目の責任表示及び、責任表示に記録しなかった出演者や演奏者等の著作関与者を役割表示と共に記録する。

例 1) 511 0# \$a 演奏:ラファエル・クーベリック(COND),チェコ・フィルハーモニー管弦楽団ルドルフ・フィルクシュニー(P)¥

例 2) 511 0# \$a 製作・監督・脚本:ガイ・リッチー製作:ジョエル・シルバー/スーザン・ダウニー,スティーブ・クラーク=ホール出演:ジェラルド・バトラー,トム・ウィルキンソン,タンディ・ニュートン,マーク・ストロング,イドリス・エルバ声の出演:藤原啓治,たかお鷹,甲斐田裕子,加藤亮夫,楠大典.¥

516 電子的内容に関する注記

■インディケータ

一番目: 固定表示文字列

#: ファイル形式

二番目: 未定義

#: 未定義

フィールド任意					
フィールド繰り返し可					
サブフィールドコード		入力		繰り返し	NCR 条項
\$a	電子的内容に関する注記	使用	必須	不可	9.7.3.0

このフィールドは、電子資料にのみ使用し、電子的内容に関する注記を記録する。
他の記号が末尾になれば、フィールド末尾にピリオドを付す。

●\$a: 電子的内容に関する注記

- ・電子的内容に関する注記を記録する。
- ・複数の電子的内容に関する注記を記録する場合は、コンマ、スペース“ , ”で連結して記録する (例 1)。ただし、年代によっては、フィールド 516 を繰り返して記録していることもある (例 2)。

例 1) 516 ## \$a PDF 形式, HTML 形式. ¥

例 2) 516 ## \$a PDF 形式. ¥
516 ## \$a HTML 形式. ¥

518 日時及び場所に関する注記

■インディケータ

一番目: 未定義

#: 未定義

二番目: 未定義

#: 未定義

フィールド任意					
フィールド繰り返し可					
サブフィールドコード		入力		繰り返し	NCR 条項
\$a	日時及び場所に関する注記	使用	必須	不可	1.7

このフィールドは、録音資料と映像資料についてのみ使用し、日時及び場所に関する注記を記録する。

他の記号が末尾になれば、フィールド末尾にピリオドを付す。

●\$a: 日時及び場所に関する注記

収録や製作に関する日時と場所を記録する。会議等の会期・会場に関する注記は、フィールド 500 (一般注記) に記録する。

例 1) 518 ## \$a 収録:□1996 年 4 月(大阪サンケイホール)¥

例 2) 518 ## \$a 2009 年イギリス作品.¥

530 別の媒体に関する注記

■インディケータ

一番目: 未定義

#: 未定義

二番目: 未定義

#: 未定義

フィールド任意					
フィールド繰り返し可					
サブフィールドコード		入力		繰り返し	NCR 条項
\$a	別の媒体に関する注記	使用	必須	不可	1.7

このフィールドには、目録対象資料とは別の媒体に関する注記を記録する。
他の記号が末尾になれば、フィールド末尾にピリオドを付す。

●\$a: 別の媒体に関する注記

- ・目録対象資料とは異なる媒体がある場合、異なる媒体の情報を記録する（例 1）。
- ・同じ媒体の別の版がある場合や、目録対象資料そのものの媒体に関する注記は、フィールド 500（一般注記）に記録する。録音資料や映像資料の媒体に関する注記は、フィールド 538（システム要件に関する注記）に記録する。ただし、年代によっては目録対象資料そのものの媒体の形態に関する注記や、録音資料や映像資料の媒体に関する注記がフィールド 530 に記録されている場合もある（例 2、3）。

例 1) 530 ## \$a 同一タイトルの Blu-ray 版あり. ¥

例 2) 530 ## \$a HQCD. ¥

例 3) 530 ## \$a カラー□ステレオ□スタンダード. ¥

534 原資料に関する注記

■インディケータ

一番目: 未定義

#: 未定義

二番目: 未定義

#: 未定義

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可					
サブフィールドコード		入力		繰り返し	NCR 条項
\$c	原資料の出版事項	使用	あれば必須	不可	1.7
\$l	原資料の所蔵情報	使用	任意	不可	1.7
\$n	原資料に関する注記	使用	任意	可	1.7
\$p	説明句	使用	必須	不可	1.7
\$t	原資料のタイトル	使用	あれば必須	不可	1.7

このフィールドには、複製資料の原資料に関する注記を記録する。

他の記号が末尾になれば、フィールド末尾にピリオドを付す。

●\$c: 原資料の出版事項

目録対象資料の原資料の出版事項を記録する場合、ここに記録する (例 1~4)。

●\$l: 原資料の所蔵情報

- ・目録対象資料の原資料の出版事項が判明せず、所蔵情報のみが判明し、所蔵情報を記録する場合、ここに記録する (例 5)。個人の所蔵の場合は記録しない。
- ・他の記号が末尾になれば、末尾にピリオドを付す。

●\$n: 原資料に関する注記

- ・原資料について記録する際、注記すべき事項があればここに記録する (例 6)。
- ・原資料のタイトルが複数ある場合、2番目以降のタイトルをここに記録する (例 2)。

●\$p: 説明句

- ・原資料に関する注記の説明句を記録する（例 1～4）。
- ・目録対象資料と関係のある資料の出版事項、所蔵、タイトル等を記録する際、「改題」「改訂」「増訂」「増補」「複製」等、その関係をここに記録する。

●\$t: 原資料のタイトル

- ・原資料のタイトルと目録対象資料のタイトルが異なる場合、原資料のタイトルを記録する（例 1）。
- ・原資料のタイトルが複数ある場合は、2 番目以降のタイトルを\$n に記録する（例 2）。

例 1) 原資料のタイトル、出版事項、説明句を記録する場合

534 ## \$t 「風俗時評」
\$c (東洋経済新報社□昭和 28 年刊)
\$p の増補、編纂. ¥

例 2) 複数の原資料のタイトル、出版事項、説明句を記録する場合

534 ## \$t 「宇都宮市史」
\$c (下野史談会□昭和 3 年刊)
\$p と
\$n 「宇都宮誌」 □(下野史談会□大正 15 年刊)□の複製, □合本. ¥

例 3) 原資料の出版事項、説明句を記録する場合

534 ## \$c 全国営業便覧発行所□明治 37 年刊
\$p の複製. ¥

例 4) 原資料の出版事項のみ記録する場合

534 ## \$p 原本の出版事項:
\$c 東京□:□新詩社, □明治 33-41. ¥

例 5) 原資料の所蔵機関のみ記録する場合

534 ## \$l 東北大学附属図書館. ¥

例 6) 定形の注記でない場合

534 ## \$n 駒沢大学所蔵本を国立国会図書館で電子複写したもの. ¥
534 ## \$n 原資料の本タイトル: □長崎新聞□(1 号-433 号), □長崎日日新聞□(434

号-450 号)≠

538 システム要件に関する注記（電子資料）

■インディケータ

一番目: 未定義

#: 未定義

二番目: 未定義

#: 未定義

フィールド任意					
フィールド繰り返し可					
サブフィールドコード		入力		繰り返し	NCR 条項
\$a	システム要件に関する注記	使用	必須	不可	9.7.3.0

このフィールドは、電子資料、録音資料、映像資料にのみ使用し、システム要件に関する注記を記録する。

他の記号が末尾になれば、フィールド末尾にピリオドを付す。

●\$a: システム要件に関する注記

- ・電子資料の動作環境に関する注記を記録する（例 1）。

例 1) 538 ## \$a PlayStation△2.¥

- ・録音・映像資料の録音特性、映像特性及び媒体に関する注記を記録する（例 2）。ただし、年代によっては、フィールド 530（別の媒体に関する注記）に記録されているものもある。

例 2) 538 ## \$a SHM-CD.¥

- ・複数の注記を記録する場合、フィールドを繰り返して記録する（例 3、4）。

例 3) 538 ## \$a OS△Windows△Vista/XP/2000 日本語版.¥

538 ## \$a CPU △ Windows △ Vista:800MHz 以上, □ XP/2000:Pentium △ 3 △
800MHz 以上.¥

538 ## \$a メモリ△Windows△Vista:512MB 以上, □XP/2000:256MB 以上.¥

538 ## \$a HDD△300MB 以上の空き容量.¥

538 ## \$a ディスプレイ△HighColor(16ビット)以上,□800×600ドット以上.¥

538 ## \$a Internet△Explorer△5.0以上.¥

例 4) 538 ## \$a カラー・一部モノクロ,□ステレオ,□スタンダード.¥

538 ## \$a 音声:□英(5.1),□英(DTS/5.1),□日(5.1),□日(PCM),□音声解説.¥

538 ## \$a 字幕:□日,□英,□吹替用.¥

546 言語注記

■インディケータ

一番目: 未定義

#: 未定義

二番目: 未定義

#: 未定義

フィールド任意					
フィールド繰り返し可					
サブフィールドコード		入力		繰り返し	NCR 条項
\$a	言語注記	使用	あれば必須	不可	1.7

このフィールドには本文の言語に関する注記を記録する。
他の記号が末尾になれば、フィールド末尾にピリオドを付す。

●\$a: 言語注記

本文の言語に関する注記を記録する。

例 1) 546 ## \$a ポルトガル語併記. ¥

例 2) 546 ## \$a 英語併載. ¥

550 出版・頒布等に関する注記

■インディケータ

一番目: 未定義

#: 未定義

二番目: 未定義

#: 未定義

フィールド任意					
フィールド繰り返し可					
サブフィールドコード		入力		繰り返し	NCR 条項
\$a	出版・頒布等に関する注記	使用	必須	不可	1.7 13.7.3.4

このフィールドは逐次刊行資料についてのみ使用し、逐次刊行資料の出版・頒布等に関する注記を記録する。単行資料の出版・頒布等に関する注記はフィールド 500（一般注記）に記録する。

他の記号が末尾になれば、フィールド末尾にピリオドを付す。

●\$a: 出版・頒布等に関する注記

- ・逐次刊行資料の出版・頒布等に関する注記を記録する。
- ・出版者の変遷がある場合、ここに記録する。
- ・出版者の表示がなく、会議等の主催者を出版事項に補記した場合は、主催者名を注記する。
- ・「発行所」と表示されている団体について、ここに記録している場合がある（例 2）。
- ・責任表示に関する注記はフィールド 500（一般注記）に記録する。
- ・共同刊行者がある場合は、フィールド 260（出版・頒布等に関する事項）に記録する。

例 1) 出版者の変遷を記録する場合

550 ## \$a 出版者変遷:□樹海社□(-69 号)¥

例 2) 「発行所」と表示されている団体を記録する場合

550 ## \$a 発行所:□漢方医学社.¥

555 総目次・総索引注記

■インディケータ

一番目: 固定表示文字列

#: 総目次・総索引

二番目: 未定義

#: 未定義

フィールド任意					
フィールド繰り返し可					
サブフィールドコード		入力		繰り返し	NCR 条項
\$a	総目次・総索引注記	使用	あれば必須	不可	13.7.3.7

このフィールドは逐次刊行資料についてのみ使用し、総目次・総索引の注記を記録する。
他の記号が末尾になれば、フィールド末尾にピリオドを付す。

●\$a: 総目次・総索引注記

総目次・総索引の注記を記録する。総目次・総索引が存在する場合は 008/25-27 (一般コード化情報 (継続資料) 構成レベルの資料形式) を「i##」とする。

例) 008/25-27 i##

555 ## \$a 1 号から 30 号までの総目次:□35 号収載.¥

563 装丁に関する注記

■インディケータ

一番目: 未定義

#: 未定義

二番目: 未定義

#: 未定義

フィールド任意				
フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		入力		繰り返し
\$a	装丁に関する注記	使用	必須	不可

このフィールドには、装丁に関する注記を記録する。

他の記号が末尾になれば、フィールド末尾にピリオドを付す。

●\$a: 装丁に関する注記

「和装」という語のみを記録する。「一部和装本」「ルーズリーフ」「未装丁」「箱入」「帙入」等の語はフィールド 500（一般注記）に記録する。

例) 563 ## \$a 和装.¥

580 記入リンクに関する注記

■インディケータ

一番目: 未定義

#: 未定義

二番目: 未定義

#: 未定義

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可					
サブフィールドコード		全国書誌グループ入力		繰り返し	NCR 条項
\$a	記入リンクに関する注記	使用	必須	不可	13.7.3.2

このフィールドは、逐次刊行資料についてのみ使用し、当該書誌の記入リンクブロック（フィールド 76X-78X）を作成できない場合に、リンク先に関する注記を記録する。

他の記号が末尾になれば、フィールド末尾にピリオドを付す。

●\$a: 記入リンクに関する注記

記入リンクブロック（フィールド 76X-78X）を作成できない場合、リンク先に関する注記を記録する。

例 1) 580 ## \$a 継続後誌:□文化財事業報告.¥

例 2) 580 ## \$a 英語版:□Nutrition△reviews.¥

6XX : アクセス・ポイント・ブロック (件名標目)

このブロックには、件名標目 (『日本目録規則 1987 年版改訂 3 版』(NCR) 第 24 章) を記録する。

■フィールド一覧

- 600 個人名件名標目
- 610 団体名件名標目
- 630 統一タイトル件名標目
- 650 普通件名標目
- 651 地名件名標目

600 個人名件名標目

■インディケータ

一番目：実体種別

1：個人名

3：家族名

二番目：情報源

7：\$2 に情報源を明示

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可					
サブフィールドコード		入力		繰り返し	NCR 条項
\$a	個人名	使用	必須	不可	24
\$b	世系	使用	あれば必須	不可	24
\$c	その他の付記事項	使用	あれば必須	不可	24
\$d	生没年	使用	あれば必須	不可	24
\$0	典拠レコード管理番号	使用	必須	不可	
\$2	情報源	使用	必須	不可	
\$6	読みの対応関係	使用	あれば必須	不可	

このフィールドには、個人名件名標目を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。

●\$a: 個人名

- ・個人名又は家族名を記録する。
- ・個人名は姓名の順に記録し、姓と名の間はコンマ、スペース“，□”で区切る（例 1）。
姓名形となっていない個人名は全体を一語として記録する（例 2）。
- ・個人名の敬称等は基本的に記録しないが、識別上必要な場合は、\$a に含めて記録する。
- ・家族名については、所在地等の付記事項がある場合は丸括弧で付記する（例 3）。
- ・末尾の区切り記号

①\$b が続く → 記号なし

②\$c 又は\$d が続く → コンマ “,”

③\$2 が続く → 記号なし

●\$b: 世系

・名称に付記される世系を記録する（例 4）。ここに記録される要素には「家系」「屋号」「王室」「教皇」等がある。

・原則として「～世」を採用するが、先代が「～代目」「～代」を採用している場合にはそれに倣う。

・末尾の区切り記号

①\$c 又は\$d が続く → コンマ “,”

②\$2 が続く → 記号なし

●\$c: その他の付記事項

・世系、生没年のみでは同姓同名の識別が困難な場合、識別上必要な生没年が判明しない場合、職業、専攻、初出資料の出版年（月）等をここに記録する（例 5）。

・末尾の区切り記号なし

●\$d: 生没年

・個人名の生没年を記録する。

・生年と没年はハイフン “-” でつなぐ。

・生年のみの場合には生年のあとにハイフンを、没年のみの場合には没年の前にハイフンを記録する。

・末尾の区切り記号

①\$d “YYYY-” で\$c が続く → 記号なし

②①以外で\$c が続く → コンマ “,”

③\$2 が続く → 記号なし

●\$0: 典拠レコード管理番号

・リンク先典拠のレコード管理番号を記録する。この番号は、『JAPAN/MARC(A)』におけるレコード管理番号と同一のものである。

・末尾の区切り記号なし

●\$2: 情報源

・常に ndlsh (MARC21 [Subject Heading and Term Source Codes](#) に掲載のコード値) を記録する。

・末尾の区切り記号なし

●\$6: 読みの対応関係

- ・「5. 読みの表現方法」を参照のこと。
- ・末尾の区切り記号なし

例 1) 600 17 \$a Depp,□Johnny,
\$d 1963-
\$2 ndlsh
\$0 00650307¥

例 2) 600 17 \$6 880-03
\$a 空海,
\$d 774-835
\$2 ndlsh
\$0 00270624¥

例 3) 600 37 \$6 880-03
\$a 上杉□(家)□(米沢市)
\$2 ndlsh
\$0 00637375¥

例 4) 600 17 \$6 880-04
\$a 市川,□団十郎
\$b 2 世,
\$d 1688-1758
\$2 ndlsh
\$0 00270078¥

例 5) 600 1 \$6 880-03
\$a 鈴木,□健二,
\$d 1929-
\$c アナウンサー
\$2 ndlsh
\$0 00075507¥

610 団体名件名標目

■インディケータ

一番目: 実体種別

2: 直接形で記入される名称

二番目: 情報源

7: \$2 に情報源を明示

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可					
サブフィールドコード		入力		繰り返し	NCR 条項
\$a	団体名	使用	必須	不可	24
\$0	典拠レコード管理番号	使用	必須	不可	
\$2	情報源	使用	必須	不可	
\$6	読みの対応関係	使用	あれば必須	不可	

このフィールドには、団体名件名標目を記録する。フィールド末尾には区切り記号なし。
又、全てのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●\$a: 団体名

団体名の標目形を記録する(例 1)。設立年、所在地、初出資料の出版年(月)等の付記事項がある場合は丸括弧で付記する(例 2)。

●\$0: 典拠レコード管理番号

リンク先典拠のレコード管理番号を記録する。この番号は、『JAPAN/MARC(A)』におけるレコード管理番号と同一のものである。

●\$2: 情報源

常に ndlsh (MARC21 [Subject Heading and Term Source Codes](#) に掲載のコード値) を記録する。

●\$6: 読みの対応関係

「5. 読みの表現方法」を参照のこと。

例 1) 610 27 \$6 880-03

\$a 国立国会図書館

\$2 ndlsh

\$0 00288347¥

例 2) 設立年を付記している場合

610 27 \$6 880-03

\$a 日本総合研究所□(1989年)

\$2 ndlsh

\$0 00258448¥

630 統一タイトル件名標目

■インディケータ

一番目: 排列無視文字数

0: 排列無視文字なし

二番目: 情報源

7: \$2 に情報源を明示

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可					
サブフィールドコード		入力		繰り返し	NCR 条項
\$a	統一タイトル件名	使用	必須	不可	24
\$v	形式細目	使用	あれば必須	可	
\$x	主題細目	使用	あれば必須	可	
\$y	時代細目	使用	あれば必須	可	
\$z	地名細目	使用	あれば必須	可	
\$0	典拠レコード管理番号	使用	必須	不可	
\$2	情報源	使用	必須	不可	
\$6	読みの対応関係	使用	あれば必須	不可	

このフィールドには、統一タイトル件名標目を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。又、全てのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●\$a: 統一タイトル件名

著者の有無にかかわらず統一タイトル件名標目を記録する (例 1)。ジャンル (例 2) や著者 (例 3) 等を示す限定語句は、サブフィールドで区別せず、丸括弧で\$a に付記する。

●\$v: 形式細目

形式細目を記録する (例 2)。

- \$x: 主題細目
主題細目を記録する。
- \$y: 時代細目
時代細目を記録する。
- \$z: 地名細目
地名細目を記録する。
- \$0: 典拠レコード管理番号
リンク先典拠のレコード管理番号を記録する。この番号は、『JAPAN/MARC(A)』におけるレコード管理番号と同一のものである。
- \$2: 情報源
常に ndlsh (MARC21 [Subject Heading and Term Source Codes](#) に掲載のコード値) を記録する。
- \$6: 読みの対応関係
「5. 読みの表現方法」を参照のこと。

例 1) 630 07 \$6 880-03
 \$a 純粹理性批判
 \$2 ndlsh
 \$0 00627400¥

例 2) ジャンル名を付記している場合
 630 07 \$6 880-04
 \$a 舞姫□(小説)
 \$v 評釈
 \$2 ndlsh
 \$0 01044622¥

例 3) 著者名を付記している場合
 630 07 \$6 880-03
 \$a 歴史□(ヘロドトス)
 \$2 ndlsh

\$0 00949302¥

650 普通件名標目

■インディケータ

一番目: 主題レベル

#: 情報なし

二番目: 情報源

7: \$2 に情報源を明示

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可					
サブフィールドコード		入力		繰り返し	NCR 条項
\$a	普通件名	使用	必須	不可	24
\$v	形式細目	使用	あれば必須	可	
\$x	主題細目	使用	あれば必須	可	
\$y	時代細目	使用	あれば必須	可	
\$z	地名細目	使用	あれば必須	可	
\$0	典拠レコード管理番号	使用	必須	不可	
\$2	情報源	使用	必須	不可	
\$6	読みの対応関係	使用	あれば必須	不可	

このフィールドには、普通件名標目を記録する。

フィールドの末尾には区切り記号なし。又、全てのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●\$a: 普通件名

普通件名主標目を記録する (例 1)。芸術分野における様式 (例 2) や、事件名・戦争名等の年代 (例 3) 等を示す限定語句は、サブフィールドで区別せず、丸括弧で付記する。

●\$v: 形式細目

形式細目を記録する (例 4)。

- \$x: 主題細目
主題細目を記録する（例 4）。
- \$y: 時代細目
時代細目を記録する（例 4）。
- \$z:地名細目
地名細目を記録する（例 4）。
- \$0: 典拠レコード管理番号
国立国会図書館件名典拠の典拠番号を記録する。
- \$2: 情報源
常に ndlsh (MARC21 [Subject Heading and Term Source Codes](#) に掲載のコード値) を記録する。
- \$6: 読みの対応関係
「5. 読みの表現方法」を参照のこと。

例 1) 650 #7 \$6 880-03
 \$a ラジオ放送
 \$2 ndlsh
 \$0 01178450¥

例 2) 芸術分野における様式を付記している場合
 650 #7 \$6 880-03
 \$a 舞踊□(日本)
 \$2 ndlsh
 \$0 00561140¥

例 3) 事件名・戦争名等の年代を付記している場合
 650 #7 \$6 880-03
 \$a 上海事変□(1932)
 \$2 ndlsh
 \$0 00571954¥

例 4) 細目付きの場合

650 #7 \$6 880-03

\$a 自然災害

\$z 日本

\$x 歴史

\$y 中世

\$v 年表

\$2 ndlsh

\$0 01150660 ㊦

651 地名件名標目

■インディケータ

一番目: 未定義

#: 未定義

二番目: 情報源

7: \$2 に情報源を明示

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可					
サブフィールドコード		入力		繰り返し	NCR 条項
\$a	地名	使用	必須	不可	24
\$v	形式細目	使用	あれば必須	可	
\$x	主題細目	使用	あれば必須	可	
\$y	時代細目	使用	あれば必須	可	
\$z	地名細目	使用	あれば必須	可	
\$0	典拠レコード管理番号	使用	必須	不可	
\$2	情報源	使用	必須	不可	
\$6	読みの対応関係	使用	あれば必須	不可	

このフィールドには、地名件名標目を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。又、全てのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●\$a: 地名

件名標目としてのみ使用する地名（例 1）のほかに、国名・地方自治体名等（例 2）もここに記録する。

●\$v: 形式細目

形式細目を記録する。

- \$x: 主題細目
主題細目を記録する（例 2）。
- \$y: 時代細目
時代細目を記録する（例 2）。
- \$z: 地名細目
地名細目を記録する（例 2）。
- \$0: 典拠レコード管理番号
リンク先典拠のレコード管理番号を記録する。この番号は、『JAPAN/MARC(A)』におけるレコード管理番号と同一のものである。
- \$2: 情報源
常に ndlsh（MARC21 [Subject Heading and Term Source Codes](#) に掲載のコード値）を記録する。
- \$6: 読みの対応関係
「5. 読みの表現方法」を参照のこと。

例 1) 件名標目としてのみ使用する地名

```
651 #7 $6 880-04
    $a 銀座口(東京都中央区)
    $2 ndlsh
    $0 00649130¥
```

例 2) 細目付き国名

```
651 #7 $6 880-04
    $a 日本
    $x 外国関係
    $z フランス
    $x 歴史
    $y 江戸末期
    $2 ndlsh
    $0 00617153¥
```

70X-75X : アクセス・ポイント・ブロック (著者標目等)

このブロックには、著者標目 (『日本目録規則 1987 年版改訂第 3 版』(NCR) の第 23 章。ただし、シリーズの著者標目は除く。)、タイトル標目 (NCR 第 22 章) 等を記録する。シリーズに関する著者標目はフィールド 80X-83X を参照のこと。

■フィールド一覧

- 700 個人著者標目
- 710 団体著者標目
- 720 非統制標目
- 740 その他のタイトル標目

700 個人著者標目

■インディケータ

一番目：実体種別

1：個人名

二番目：副出記入のタイプ

#：情報なし（本タイトルに関わる著者標目の場合）

2：分出記入（各巻タイトル、内容細目に関わる著者標目の場合）

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可					
サブフィールドコード		入力		繰り返し	NCR 条項
\$a	個人名	使用	必須	不可	23
\$b	世系	使用	あれば必須	不可	23
\$c	その他の付記事項	使用	あれば必須	不可	23
\$d	生没年	使用	あれば必須	不可	23
\$0	典拠レコード管理番号	使用	必須	不可	
\$6	読みの対応関係	使用	あれば必須	不可	

このフィールドには、記述ブロックのフィールド 245（タイトルと責任表示に関する事項）に記録された著作に対する個人著者標目（アクセス・ポイント）を記録する。フィールド 250（版に関する事項）、260（出版・頒布等に関する事項）、500（一般注記）、505（内容に関する注記）に記録された事項に対する個人著者標目を記録する場合もある。なお、以前のデータでは、フィールド 490（シリーズに関する事項）に記録された事項に対する個人著者標目を記録している場合もある。

フィールド末尾には区切り記号なし。

●\$a: 個人名

- ・個人名を記録する。
- ・個人名は姓名の順に記録し、姓と名の間はコンマ、スペース“， □”で区切る（例 1）。姓名形となっていない個人名は全体を一語として記録する（例 2）。

- ・敬称等は基本的に記録しないが、識別上必要な場合は、\$a に含めて記録する。

- ・末尾の区切り記号

- ①\$b が続く → 記号なし

- ②\$c 又は\$d が続く → コンマ “,”

- ③\$0 が続く → 記号なし

- \$b: 世系

- ・名称に付記される世系を記録する（例 3）。ここに記録される要素には「家系」「屋号」「王室」「教皇」等がある。

- ・原則として「～世」を採用するが、先代が「～代目」「～代」を採用している場合にはそれに倣う。

- ・末尾の区切り記号

- ①\$c 又は\$d が続く → コンマ “,”

- ②\$0 が続く → 記号なし

- \$c: その他の付記事項

- ・世系、生没年のみでは同姓同名の識別が困難な場合、識別上必要な生没年が判明しない場合、職業、専攻、初出資料の出版年（月）等をここに記録する（例 4）。

- ・末尾の区切り記号なし

- \$d: 生没年

- ・個人名の生没年を記録する。

- ・生年と没年はハイフン “-” でつなぐ。

- ・生年の場合には生年のあとにハイフンを、没年の場合には没年の前にハイフンを記録する。

- ・末尾の区切り記号

- ①\$d “YYYY-” で\$c が続く → 記号なし

- ②①以外で\$c が続く → コンマ “,”

- ③\$0 が続く → 記号なし

- \$0: 典拠レコード管理番号

- ・リンク先典拠のレコード管理番号を記録する。この番号は、『JAPAN/MARC(A)』におけるレコード管理番号と同一のものである。

- ・末尾の区切り記号なし

- \$6: 読みの対応関係

- ・「5. 読みの表現方法」を参照のこと。
- ・末尾の区切り記号なし

例 1) 700 1# \$a Depp,□Johnny,
\$d 1963-
\$0 00650307¥

例 2) 700 1# \$6 880-03
\$a 空海,
\$d 774-835
\$0 00270624¥

例 3) 700 1# \$6 880-04
\$a 市川,□団十郎
\$b 2 世,
\$d 1688-1758
\$0 00270078¥

例 4) 700 1# \$6 880-03
\$a 鈴木,□健二,
\$d 1929-
\$c アナウンサー
\$0 00075507¥

710 団体著者標目

■インディケータ

一番目：実体種別

2：直接形で記入される名称

二番目：副出記入のタイプ

#：情報なし（本タイトルに関わる著者標目の場合）

2：分出記入（各巻タイトル、内容細目に関わる著者標目の場合）

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可					
サブフィールドコード		入力		繰り返し	NCR 条項
\$a	団体名	使用	必須	不可	23
\$0	典拠レコード管理番号	使用	任意	不可	
\$6	読みの対応関係	使用	あれば必須	不可	

このフィールドには、記述ブロックのフィールド 245(タイトルと責任表示に関する事項)に記録された著作に対する団体著者標目(アクセス・ポイント)を記録する。フィールド 250(版に関する事項)、260(出版・頒布等に関する事項)、500(一般注記)、505(内容に関する注記)に記録された事項に対する団体著者標目を記録する場合もある。なお、年代によっては、フィールド 490(シリーズに関する事項)に記録された事項に対する団体著者標目を記録している場合もある。

フィールド末尾には区切り記号なし。又、全てのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●\$a: 団体名

団体名の標目形を記録する(例 1)。設立年(例 2)、所在地、初出資料の出版年(月)等の付記事項がある場合は丸括弧で付記する。国名(例 3)・地方自治体名(例 4)等、地名標目を記録する場合もある。

●\$0: 典拠レコード管理番号

・リンク先典拠のレコード管理番号を記録する。この番号は、『JAPAN/MARC(A)』におけるレコード管理番号と同一のものである。

・逐次刊行資料の年代によっては、典拠レコード管理番号を記録しないものもある。

●\$6: 読みの対応関係

「5. 読みの表現方法」を参照のこと。

例 1) 710 2# \$6 880-03

\$a 国立国会図書館

\$0 00288347¥

例 2) 設立年を付記している場合

710 2# \$6 880-03

\$a 日本総合研究所□(1989年)

\$0 00258448¥

例 3) 国名

710 2# \$6 880-03

\$a オーストラリア

\$0 00297308¥

例 4) 地方自治体名

710 2# \$6 880-03

\$a さいたま市

\$0 00846617¥

720 非統制標目

■インディケータ

一番目: 名称の種別

2: その他

二番目: 未定義

#: 未定義

フィールドあれば必須				
フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		入力		繰り返し
\$a	非統制名称	使用	必須	不可
\$6	読みの対応関係	使用	あれば必須	不可

このフィールドは、逐次刊行資料についてのみ使用し、フィールド 700（個人著者標目）フィールド 710（団体著者標目）に記録するもの以外の著者標目を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。又、全てのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●\$a: 非統制名称

並列表示出版者等を記録する。

●\$6: 読みの対応関係

「5. 読みの表現方法」を参照のこと。

例) 720 2# \$a Hanabusa△Institute△for△the△Protection△of△Industrial△
Property¥

740 その他のタイトル標目

■インディケータ

一番目: 排列無視文字数

0: 排列無視文字なし

二番目: 副出記入のタイプ

#: 情報なし

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可					
サブフィールドコード		入力		繰り返し	NCR 条項
\$a	その他のタイトル標目	使用	必須	不可	22
\$6	読みの対応関係	使用	あれば必須	不可	

このフィールドには、その他のタイトルに対する標目を記録する。
他の記号が末尾になれば、フィールド末尾にピリオドを付す。

●\$a: その他のタイトル標目

原タイトル、関連タイトル（改題、改訂、合冊等によりタイトルが変更した場合の以前のタイトル）、その他のタイトルで、タイトル標目として副出する必要があるものを記録する。

●\$6: 読みの対応関係

- ・「5. 読みの表現方法」を参照のこと。
- ・末尾の区切り記号なし

例 1) 原タイトル

740 0# \$a Economic△and△social△survey△of△Asia△and△the△Pacific.¥

例 2) 関連タイトル

740 0# \$6 880-03

\$a 愛と人生をめぐる断想.¥

76X-78X : 記入リンクブロック

このブロックには、継続資料のタイトル変遷に関する注記（『日本目録規則 1987年版改訂第3版』（NCR）の13.7.3.2B）等を記録する。

■フィールド一覧

- 760 上位シリーズ記入
- 762 下位シリーズ記入
- 765 原言語版記入
- 767 他言語版記入
- 770 挿入誌又は付録誌記入
- 772 本体誌記入
- 775 異版記入
- 776 他媒体版記入
- 780 先行記入
- 785 後継記入
- 787 関連記入

760 上位シリーズ記入

- インディケータ

一番目: 表示注記の制御

0: 表示注記あり

二番目: 固定表示文字列

#: 上位シリーズの ISSN

フィールド任意				
フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		入力		繰り返し
\$x	上位シリーズの ISSN	使用	あれば必須	不可

このフィールドは、逐次刊行資料にのみ使用し、逐次刊行資料の上位シリーズ記入を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。

- \$x: 上位シリーズの ISSN

上位シリーズの ISSN を記録する。

例 1) 760 0# \$x 0287-7902¥

例 2) 760 0# \$x 1346-7514¥

762 下位シリーズ記入

- インディケータ

一番目: 表示注記の制御

0: 表示注記あり

二番目: 固定表示文字列

#: 下位シリーズの ISSN

フィールド任意				
フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		入力		繰り返し
\$x	下位シリーズの ISSN	使用	あれば必須	不可

このフィールドは、逐次刊行資料にのみ使用し、逐次刊行資料の下位シリーズ記入を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。

- \$x: 下位シリーズの ISSN

下位シリーズの ISSN を記録する。

例 1) 762 0# \$x 0546-0476¥

例 2) 762 0# \$x 1345-0751¥

765 原言語版記入

- インディケータ

一番目: 表示注記の制御

0: 表示注記あり

二番目: 固定表示文字列

#: 原言語版の ISSN

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		入力		繰り返し
\$x	原言語版の ISSN	使用	あれば必須	不可

このフィールドは、逐次刊行資料にのみ使用し、逐次刊行資料の原言語版記入を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。

- \$x: 原言語版の ISSN

原言語版の ISSN を記録する。

例 1) 765 0# \$x 1884-0604¥

例 2) 765 0# \$x 0085-2538¥

767 他言語版記入

- インディケータ

一番目: 表示注記の制御

0: 表示注記あり

二番目: 固定表示文字列

#: 他言語版の ISSN

フィールド任意				
フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		入力		繰り返し
\$x	他言語版の ISSN	使用	あれば必須	不可

このフィールドは、逐次刊行資料にのみ使用し、逐次刊行資料の他言語版記入を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。

- \$x: 他言語版の ISSN

他言語版の ISSN を記録する。

例 1) 767 0# \$x 1347-9407¥

例 2) 767 0# \$x 1881-3720¥

770 挿入誌又は付録誌記入

- インディケータ

一番目: 表示注記の制御

0: 表示注記あり

二番目: 固定表示文字列

#: 挿入誌又は付録誌の ISSN

フィールド任意 フィールド繰り返し可					
サブフィールドコード		入力		繰り返し	NCR 条項
\$x	挿入誌又は付録誌の ISSN	使用	あれば必須	不可	13.7.3.2D

このフィールドは、逐次刊行資料にのみ使用し、逐次刊行資料の挿入誌又は付録誌記入を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。

- \$x: 挿入誌又は付録誌の ISSN

挿入誌又は付録誌の ISSN を記録する。

例 1) 770 0# \$x 1884-0833¥

例 2) 770 0# \$x 1341-9463¥

772 本体誌記入

- インディケータ

一番目: 表示注記の制御

0: 表示注記あり

二番目: 固定表示文字列

#: 本体誌の ISSN

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可					
サブフィールドコード		入力		繰り返し	NCR 条項
\$x	本体誌の ISSN	使用	あれば必須	不可	13.7.3.2D

このフィールドは、逐次刊行資料にのみ使用し、逐次刊行資料の本体誌記入を記録する。
フィールド末尾には区切り記号なし。

- \$x: 本体誌の ISSN

本体誌の ISSN を記録する。

例 1) 772 0# \$x 1884-3395¥

例 2) 772 0# \$x 1340-8984¥

775 異版記入

●インディケータ

一番目: 表示注記の制御

0: 表示注記あり

二番目: 固定表示文字列

#: 異版あり

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可					
サブフィールドコード		入力		繰り返し	NCR 条項
\$t	リンク先レコードのタイトル	使用	あれば必須	不可	13.7.3.2A
\$w	リンク先レコードの管理番号	使用	あれば必須	可	
\$x	異版の ISSN	使用	あれば必須	不可	13.7.3.2A

このフィールドは、逐次刊行資料にのみ使用し、逐次刊行資料の異版記入を記録する。

サブフィールドの出現順が例示と異なる場合もある。

フィールド末尾には区切り記号なし。

●\$t: リンク先レコードのタイトル

- ・当該資料の異版がある場合、異版のタイトルを記録する (例 1)。
- ・異版のタイトルに加えて異版のタイトルの部編番号、部編名、資料種別、責任表示を記録している場合もある。区切り記号はフィールド 245 (タイトルと責任事項に関する事項) を参照のこと。
- ・年代によっては、末尾の区切り記号が存在しない場合もある。

●\$w: リンク先レコードの管理番号

- ・異版のタイトルの書誌レコード管理番号を記録する。
- ・末尾の区切り記号なし

●\$x: 異版の ISSN

- ・異版の ISSN を記録する。
- ・2011 年 11 月までに作成したデータでは、一つの異版について、\$t 及び\$w とは別にフィールドを繰り返して記録している場合がある（例 2）。
- ・末尾の区切り記号なし

例 1) 775 0# \$t Operational△status△of△nuclear△facilities△in△Japan□/□Japan
△Nuclear△Energy△Safety△Organization,△Technology△and△
Information△General△Office,△Policy△Planning△and△coordination
△Division□[編].
\$w 000010071414¥

例 2) 775 0# \$t 季刊行政管理研究.
\$w 000000031059¥
775 0# \$x 0386-684X¥

776 他媒体版記入

- インディケータ

一番目: 表示注記の制御

0: 表示注記あり

二番目: 固定表示文字列

#: 他媒体版の ISSN

フィールド任意				
フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		入力		繰り返し
\$x	他媒体版の ISSN	使用	あれば必須	不可

このフィールドは、逐次刊行資料にのみ使用し、逐次刊行資料の他媒体版記入を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。

- \$x: 他媒体版の ISSN

他媒体版の ISSN を記録する。

例 1) 776 0# \$x 1349-7758¥

例 2) 776 0# \$x 1881-8978¥

780 先行記入

●インディケータ

一番目: 表示注記の制御

0: 表示注記あり

二番目: 関係性種別

0: 継続

1: 分割

4: 合併

5: 吸収

6: 一部吸収

7: 派生

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可					
サブフィールドコード		入力		繰り返し	NCR 条項
\$g	改題発生巻次・年月次	使用	あれば必須	可	13.7.3.2B
\$t	リンク先レコードのタイトル	使用	あれば必須	不可	13.7.3.2B
\$w	リンク先レコードの管理番号	使用	あれば必須	可	
\$x	リンク先レコードのISSN	使用	あれば必須	不可	13.7.3.2B

このフィールドは、逐次刊行資料にのみ使用し、逐次刊行資料の先行記入を記録する。

サブフィールドの出現順が例示と異なる場合もある。

フィールド末尾には区切り記号なし。

●\$g: 改題発生巻次・年月次

- ・第2インディケータが「5」又は「7」の場合、必要に応じてタイトル変遷発生時の順序表示（巻次・年月次）を記録する。

・末尾の区切り記号なし

●\$t: リンク先レコードのタイトル

- ・逐次刊行資料のタイトル変遷があった場合の変遷前のタイトルを記録する。
- ・変遷前のタイトルに加えて変遷前のタイトルの部編番号、部編名、資料種別、責任表示を記録している場合もある。区切り記号はフィールド 245 (タイトルと責任事項に関する事項) を参照のこと。

●\$w: リンク先レコードの管理番号

- ・変遷前のタイトルの書誌レコード管理番号を記録する。
- ・末尾の区切り記号なし

●\$x: リンク先レコードの ISSN

- ・変遷前のタイトルの ISSN を記録する。変遷前のタイトルの ISSN のみ記録している場合もある (例 6)。
- ・末尾の区切り記号なし

例 1) 継続前誌が「秋田大学学芸学部研究紀要 教育科学」の場合

780 00 \$t 秋田大学学芸学部研究紀要.□教育科学□/□秋田大学学芸学部研究紀要
編集委員会□編.
\$w 000000000929¥

例 2) 分割前誌が「アカデミア 経済経営学編」の場合

780 01 \$t アカデミア.□経済経営学編□/□南山大学経済学会,□南山大学経営学会
編.
\$w 000000027156¥

例 3) 合併前誌が「進研ニュース」の場合

780 04 \$t 進研ニュース.
\$w 000000042022¥

例 4) 吸収前誌が「畜牛」の場合

780 05 \$t 畜牛.
\$g 17 巻 5 号-
\$w 000000014633¥

例 5) 派生前誌が「秋田大学学芸学部研究紀要[マイクロ資料]」の場合

780 07 \$t 秋田大学学芸学部研究紀要□[マイクロ資料]

\$w 000008596688 ㍷

例 6) 継続前誌の ISSN のみ記録する場合

780 00\$x 1884-4189 ㍷

785 後継記入

●インディケータ

一番目: 表示注記の制御

0: 表示注記あり

二番目: 関係性種別

0: 継続

1: 派生

4: 吸収

5: 一部吸収

6: 分割

7: 合併

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可					
サブフィールドコード		入力		繰り返し	NCR 条項
\$g	改題発生巻次・年月次	使用	あれば必須	可	13.7.3.2B
\$t	リンク先レコードのタイトル	使用	あれば必須	不可	13.7.3.2B
\$w	リンク先レコードの管理番号	使用	あれば必須	可	
\$x	リンク先レコードのISSN	使用	あれば必須	不可	13.7.3.2B

このフィールドは、逐次刊行資料にのみ使用し、逐次刊行資料の後継記入を記録する。

サブフィールドの出現順が例示と異なる場合もある。

フィールド末尾には区切り記号なし。

●\$g: 改題発生巻次・年月次

- ・第2インディケータが「1」又は「4」の場合、必要に応じてタイトル変遷発生時の順序表示（巻次・年月次）を記録する。

・末尾の区切り記号なし

●\$t: リンク先レコードのタイトル

- ・逐次刊行資料のタイトル変遷があった場合の変遷後のタイトルを記録する。
- ・変遷後のタイトルに加えて変遷後のタイトルの部編番号、部編名、資料種別、責任表示を記録している場合もある。区切り記号はフィールド 245 (タイトルと責任事項に関する事項) を参照のこと。

●\$w: リンク先レコードの管理番号

- ・変遷後のタイトルの書誌レコード管理番号を記録する。
- ・末尾の区切り記号なし

●\$x: リンク先レコードの ISSN

- ・変遷後のタイトルの ISSN を記録する。
- ・末尾の区切り記号なし

例 1) 継続後誌が「秋田大学教育学部研究紀要 教育科学」の場合

785 00 \$t 秋田大学教育学部研究紀要.□教育科学□/□秋田大学教育学部研修委員会□編.
\$w 00000000935 ¥

例 2) 分割後誌が「南山経営研究」及び「南山経済研究」の場合

785 06 \$t 南山経営研究.
\$w 000000047354 ¥
785 06 \$t 南山経済研究□/□南山大学経済学会□編.
\$w 000000047356 ¥

例 3) 合併後誌が「View21 高校版」の場合

785 07 \$t View21.□高校版.
\$w 000000095415 ¥

例 4) 吸収後誌が「畜産」の場合

785 04 \$t 畜産.
\$w 000000014637 ¥

例 5) 15 集から「秋田大学学芸学部研究紀要 教育科学 [マイクロ資料]」が派生する場合

785 01 \$t 秋田大学学芸学部研究紀要. 教育科学 [マイクロ資料].

\$g 15 集-

\$w 000009223195 ¥

787 関連記入

●インディケータ

一番目: 表示注記の制御

0: 表示注記あり

二番目: 固定表示文字列

#: 関連資料

フィールド任意 フィールド繰り返し可					
サブフィールドコード		入力		繰り返し	NCR 条項
\$i	関連の種別に関する情報	使用	任意	可	13.7.3.2C
\$t	リンク先レコードのタイトル	使用	あれば必須	不可	13.7.3.2C
\$w	リンク先レコードの管理番号	使用	あれば必須	可	
\$x	リンク先レコードのISSN	使用	あれば必須	不可	13.7.3.2 C

このフィールドは、逐次刊行資料にのみ使用し、逐次刊行資料の関連記入を記録する。

サブフィールドの出現順が例示と異なる場合もある。

フィールド末尾には区切り記号なし。

●\$i: 関連の種別に関する情報

当該資料との関連の種別に関する情報を付加して記録する場合、以下の用語を記録する。

- ・ 巻次共有
- ・ 区分換
- ・ 本体誌
- ・ 付録誌
- ・ 原資料
- ・ 複製資料

・末尾の区切り記号 → コロン “:”

●\$t: リンク先レコードのタイトル

- ・当該資料の関連タイトルを記録する。
- ・関連タイトルに加えて関連タイトルの部編番号、部編名、資料種別、責任表示を記録している場合もある。区切り記号はフィールド 245 (タイトルと責任事項に関する事項) を参照のこと。

●\$w: リンク先レコードの管理番号

- ・関連タイトルの書誌レコード管理番号を記録する。
- ・末尾の区切り記号なし

●\$x: リンク先レコードの ISSN

- ・関連タイトルの ISSN を記録する。
- ・2011 年 11 月までに作成したデータでは、一つの関連記入について、\$i、\$t 及び \$w とは別にフィールドを繰り返して記録している場合がある (例 2)。
- ・末尾の区切り記号なし

例 1) 787 0# \$i 巻次共有:

\$t 肥満と糖尿病

\$w 000000412008¥

例 2) 787 0# \$t 季刊森林総研□/□森林総合研究所広報誌編集委員会□編.

\$w 000009346495¥

787 0# \$x 1883-0048¥

80X-83X : アクセス・ポイント・ブロック (シリーズ著者標目)

このブロックには、『日本目録規則 1987年版改訂第3版』(NCR)の第Ⅱ部第23章「著者標目」の規定のうち、シリーズに関する著者標目に当たる部分を記録する。シリーズに関する著者標目以外の著者標目については70X-75Xを参照のこと。

■フィールド一覧

800 個人著者標目 (シリーズ)

810 団体著者標目 (シリーズ)

800 個人著者標目（シリーズ）

■インディケータ

一番目：実体種別

1：個人名

二番目：未定義

#：未定義

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可					
サブフィールドコード		入力		繰り返し	NCR 条項
\$a	個人名	使用	必須	不可	23
\$b	世系	使用	あれば必須	不可	23
\$c	その他の付記事項	使用	あれば必須	不可	23
\$d	生没年	使用	あれば必須	不可	23
\$0	典拠レコード管理番号	使用	必須	不可	
\$6	読みの対応関係	使用	あれば必須	不可	

このフィールドには、記述ブロックのフィールド 490（シリーズに関する事項）に記録された責任表示に対応する個人著者標目（アクセス・ポイント）を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。

●\$a: 個人名

- ・個人名を記録する。
- ・個人名は姓名の順に記録し、姓と名の間はコンマ、スペース“，□”で区切る（例 1）。
姓名形となっていない個人名は全体を一語として記録する（例 2）。
- ・敬称等は基本的に記録しないが、識別上必要な場合は、\$a に含めて記録する。
- ・末尾の区切り記号
 - ①\$b が続く → 記号なし
 - ②\$c 又は\$d が続く → コンマ“，”
 - ③\$0 が続く → 記号なし

●\$b: 世系

- ・名称に付記される世系を記録する（例 3）。ここに記録される要素には「家系」「屋号」「王室」「教皇」等がある。
- ・原則として「～世」を採用するが、先代が「～代目」「～代」を採用している場合にはそれに倣う。
- ・末尾の区切り記号
 - ①\$c 又は\$d が続く → コンマ “,”
 - ②\$0 が続く → 記号なし

●\$c: その他の付記事項

- ・世系、生没年のみでは同姓同名の識別が困難な場合、識別上必要な生没年が判明しない場合、職業、専攻、初出資料の出版年（月）等をここに記録する（例 4）。
- ・末尾の区切り記号なし

●\$d: 生没年

- ・個人名の生没年を記録する。
- ・生年と没年はハイフン “-” でつなぐ。
- ・生年のみの場合には生年のあとにハイフンを、没年のみの場合には没年の前にハイフンを記録する。
- ・末尾の区切り記号
 - ①\$d “YYYY-” で\$c が続く → 記号なし
 - ②①以外で\$c が続く → コンマ “,”
 - ③\$0 が続く → 記号なし

●\$0: 典拠レコード管理番号

- ・リンク先典拠のレコード管理番号を記録する。この番号は、『JAPAN/MARC(A)』におけるレコード管理番号と同一のものである。
- ・末尾の区切り記号なし

●\$6: 読みの対応関係

- ・「5. 読みの表現方法」を参照のこと。
- ・末尾の区切り記号なし

例 1) 800 1# \$a Depp,□Johnny,
\$d 1963-

\$0 00650307¥

例 2) 800 1# \$6 880-03
\$a 空海,
\$d 774-835
\$0 00270624¥

例 3) 800 1# \$6 880-04
\$a 市川,□団十郎
\$b 2 世,
\$d 1688-1758
\$0 00270078¥

例 4) 800 1# \$6 880-03
\$a 鈴木,□健二,
\$d 1929-
\$c アナウンサー
\$0 00075507¥

810 団体著者標目（シリーズ）

■インディケータ

一番目：実体種別

2：直接形で記入される名称

二番目：未定義

#：未定義

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可					
サブフィールドコード		入力		繰り返し	NCR 条項
\$a	団体名	使用	必須	不可	23
\$0	典拠レコード管理番号	使用	必須	不可	
\$6	読みの対応関係	使用	あれば必須	不可	

このフィールドには、記述ブロックのフィールド 490（シリーズに関する事項）に記録された責任表示に対応する団体著者標目（アクセス・ポイント）を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。又、全てのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●\$a: 団体名

団体名の標目形を記録する（例 1）。設立年（例 2）、所在地、初出資料の出版年（月）等の付記事項がある場合は丸括弧で付記する。国名（例 3）・地方自治体名（例 4）等、地名標目を記録する場合もある。

●\$0: 典拠レコード管理番号

・リンク先典拠のレコード管理番号を記録する。この番号は、『JAPAN/MARC(A)』におけるレコード管理番号と同一のものである。

●\$6: 読みの対応関係

「5. 読みの表現方法」を参照のこと。

例 1) 810 2# \$6 880-03
\$a 国立国会図書館
\$0 00288347¥

例 2) 設立年を付記している場合
810 2# \$6 880-03
\$a 日本総合研究所□(1989 年)
\$0 00258448¥

例 3) 国名の場合
810 2# \$6 880-03
\$a オーストラリア
\$0 00297308¥

例 4) 地方自治体名の場合
810 2# \$6 880-03
\$a さいたま市
\$0 00846617¥

84X-88X : 所蔵、代替表現等ブロック

このブロックには、電子資料アクセス情報、所蔵に関する事項、他の字形による表現（カナ読み・ローマ字読み）を収める。

■フィールド一覧

- | | |
|-----|------------------------|
| 856 | 電子資料アクセス情報 |
| 866 | 所蔵に関する事項 |
| 880 | 他の字形による表現（カナ読み・ローマ字読み） |

856 電子資料アクセス情報

■インディケータ

一番目: アクセス方法

0: Email

1: FTP

4: HTTP

7: 他のアクセス方法

二番目: 関係性

0: 当該資源

2: 関連資源

フィールド任意 フィールド繰り返し可					
サブフィールドコード		入力		繰り返し	NCR 条項
\$u	URI (Uniform Resource Identifier : 統一資源識別子)	使用	あれば必須	可	9.7.3
\$2	アクセス方法	使用	あれば必須	不可	9.7.3

このフィールドは、電子資料についてのみ使用し、ネットワーク系電子資料にアクセスするための情報に関する事項を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。又、全てのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●\$u: URI (Uniform Resource Identifier : 統一資源識別子)

ネットワーク系電子資料の URL 等を記録する。

●\$2: アクセス方法

第1インディケータが7の場合、\$2にアクセス方法を記録する。

例) 856 40 \$u http://www.jstage.jst.go.jp/browse/jjspm/-char/ja/¥

866 所蔵に関する事項

■インディケータ

一番目: フィールド符号化レベル

#: 情報なし

二番目: 表記のタイプ

0: 標準規格によらない表記

フィールド任意				
フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		入力		繰り返し
\$a	所蔵順序表示	使用	任意	不可
\$z	欠号情報／所蔵に関する注記	使用	任意	可

このフィールドは、逐次刊行資料についてのみ使用し、逐次刊行資料の国立国会図書館での所蔵に関する情報を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。又、全てのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●\$a: 所蔵順序表示

逐次刊行資料の所蔵巻次・年月次を記録する。

●\$z: 欠号情報／所蔵に関する注記

・逐次刊行資料の欠号情報と所蔵に関する注記を記録する。

・欠号情報は対になる所蔵順序表示（巻次・年月次）が記録された\$aと同じフィールド 866 に記録する。

・所蔵に関する注記は所蔵順序表示（巻次・年月次）とは別のフィールド 866 に記録する。

例) 866 #0 \$a 1回△(2004年7月1日)-20回△(2008年7月1日)

\$z 欠:□18回¥

866 #0 \$z 以後図書扱い¥

880 他の字形による表現（カナ読み・ローマ字読み）

■インディケータ

対応するフィールドのインディケータと同じ

フィールドあれば必須
フィールド繰り返し可

サブフィールドコード	入力	繰り返し
\$6	読みの対応関係	必須 不可

上記以外のサブフィールドは、対応するフィールドのサブフィールドと同じ

このフィールドには、正規フィールドに対応するカナ形・ローマ字形読みを記録する（例 1）。カナ形読みにはハングル形読みが含まれる場合がある（例 2）。フィールド・サブフィールド末尾の区切り記号は、対応するフィールドのルールに従う。詳細は「5. 読みの表現方法」を参照のこと。

●\$6: 読みの対応関係

正規フィールドと読みフィールドの対応関係は、\$6 に下記のとおり値を格納することにより表現する。

正規フィールド：読みフィールド番号・オカレンス番号

読みフィールド（カナ形又はハングル形）：正規フィールド番号・オカレンス番号/\$1

読みフィールド（ローマ字形）：正規フィールド番号・オカレンス番号/(B

例 1) 245 00 \$6 880-01

\$a ばらいろの童話集□/

\$c アンドリュー・ラング□編著□;□川端康成,□野上彰□編訳.¥

700 1# \$a Lang,□Andrew,

\$d 1844-1912

\$0 000446814 ¥

700 1# \$6 880-04

\$a 川端,□康成,
 \$d 1899-1972
 \$0 00028570¥
 700 1# \$6 880-05
 \$a 野上,□彰,
 \$d 1909-1967
 \$0 00056080¥
 880 00 \$6 245-01/\$1
 \$a バライロ△ノ△ドウワシュウ□/¥
 880 00 \$6 245-01/(B
 \$a Barairo△no△dowashu□/¥
 880 1# \$6 700-04/\$1
 \$a カワバタ,□ヤスナリ,
 \$d 1899-1972
 \$0 00028570¥
 880 1# \$6 700-04/(B
 \$a Kawabata,□Yasunari,
 \$d 1899-1972
 \$0 00028570¥
 880 1# \$6 700-05/\$1
 \$a ノガミ,□アキラ,
 \$d 1909-1967
 \$0 00056080¥
 880 1# \$6 700-05/(B
 \$a Nogami,□Akira,
 \$d 1909-1967
 \$0 00056080¥

例 2) 245 00 \$6 880-01
 \$a 大韓民國의△性格과△그△世界的意義.¥
 880 00 \$6 245-01/\$1
 \$a 대한△민국의△성격과△그△세계적△의의.¥

付録 A 文字種の取扱い基準（2012 年 1 月以降）

『JAPAN/MARC MARC21 フォーマット』に使用する文字種の取扱い基準

この文書では、『JAPAN/MARC MARC21 フォーマット』での文字の取扱いについて規定する。

なお、『JAPAN/MARC 2009 フォーマット』で使用する文字の取扱いは「[文字種の取扱い基準（2008 年 4 月～2011 年 12 月）](#)」と同様である。ただし、2012 年 1 月以降に提供するデータは、追加文字コードを使用せず、追加文字に相当する部分はゲタ文字（≡）に置換える。

目次

1. 使用する文字コード
2. Unicode 基本多言語面（U+0000-FFFF）内のコード値を持つ文字の取扱い
3. Unicode 基本多言語面（U+0000-FFFF）内のコード値を持たない文字の取扱い
4. 漢字の字形や意味の判断
5. 当基準の適用範囲と基準の変更に伴う訂正

1. 使用する文字コード

単行資料、逐次刊行資料ともに Unicode/UTF-8 を使用する。

2. Unicode 基本多言語面（U+0000-FFFF）内のコード値を持つ文字の取扱い

基本多言語面（U+0000-FFFF）内のコード値を持つ文字を使用する。Unicode 基本多言語面外のコード値を持つ文字については、後述 3. 「Unicode 基本多言語面（U+0000-FFFF）内のコード値を持たない文字」と同様に扱う。

漢字は、CJK 統合漢字（U+4E00-9FFF）及び CJK 互換漢字（F900-FAFF）内のコード値を持つ文字を使用する。

Unicode 基本多言語面内のコード値を持つ文字でも、下記①～③のいずれかに該当する場合は、当該文字を使用しない。

①Unicode 基本多言語面内のコード値を持つ文字が、省略しても意味上の理解が可能な装飾的な場合は、省略する。

②Unicode 基本多言語面内のコード値を持つ文字が、○や□で囲まれた合成文字である場合は、○や□の中の文字を（ ）、「 」で囲んだ形に置換える。

③Unicode 基本多言語面内のコード値を持つ文字を、当館のシステム上入力できなかった場合等は、後述 3. 「Unicode 基本多言語面（U+0000-FFFF）内のコード値を持たない文字」

と同様に扱うことがある。

3. Unicode 基本多言語面 (U+0000-FFFF) 内のコード値を持たない文字の取扱い

Unicode 基本多言語面外のコード値を持つ文字、及び Unicode コード値を持たない文字は、①、②、③、④の順序で対応する。当館独自に私用面 (U+E000-F8FF) のコード値を割り当てることはしない。

- ①意味上もしくは字形上関連する、Unicode 基本多言語面のコード値をもつ文字に置換える。
- ②当該文字の読みを角括弧 [] で囲んだ片仮名で記録する (以下「仮名読み」という)。2 字以上の文字の音節が重なり、別個の音節を形成する連声や、熟語訓のように 1 字だけ仮名読みすると意味が不明瞭になる場合には、熟語単位で仮名読みを行う。あるいは翻字する。
- ③当該資料中に表示されている、「Unicode 基本多言語面のコード値をもつ文字」で表現できる別表記を、角括弧 [] で囲んで記録する。
- ④ゲタ文字 (=) に置換える。

4. 漢字の字形や意味の判断

漢字の字形や意味の判断は、以下の漢和辞典に即して行う。

- (1) 大漢和辞典 諸橋轍次著 修訂第 2 版 大修館書店
- (2) 新字源 小川環樹 [ほか] 編 改訂版 角川書店

5. 当基準の適用範囲と基準の変更に伴う訂正

5-1. 2011 年 12 月までの記述部分のデータ

訂正しない。

5-2. 2011 年 12 月までの標目部分のデータ

字体の統一を行っていたものについては、原則として訂正しない。ただし、同一の標目が資料の情報源に違う字体で表示されている場合については、典拠データにその字体を参照形として追加する。

5-3. 2012 年 1 月以降の記述部分のデータ

当基準で記録する。

5-4. 2012 年 1 月以降の標目部分のデータ

既出の標目は、当基準に従っていないものも、原則としてそのままの形で記録する。新規の標目は当基準で記録する。

付録 B 『JAPAN/MARC MARC21 フォーマット』における片仮名読み表記要領

0. 読みの表現

『JAPAN/MARC MARC21 フォーマット』では、漢字データとその片仮名読み、ローマ字読みのデータを収録するときは、その関係を以下のとおり 880 フィールドとそれ以外のフィールドの組で表現する。

- ・ 880 以外のフィールド（以下「正規フィールド」という）：
漢字データを収録する。
組となる片仮名読み、又はローマ字読みがあるときは、サブフィールド\$6 に組となるフィールド番号「880」とオカレンス番号を収録する。
- ・ 880 フィールド：
片仮名読み、及びローマ字読みを、フィールドを繰り返して収録する。
第1インディケータ、第2インディケータとも、組となる正規フィールドと同値とする。
サブフィールド\$6 に、組となる正規フィールドのフィールド番号、オカレンス番号、及び当該 880 フィールドの文字種コードを収録する。
文字種コードは、片仮名読みの場合「\$1」、ローマ字読みの場合「(B)」とする。

(例) 245 フィールドの読みを収録する場合

245 00 \$6 880-01

\$a 山王遺跡：

\$b 山王遺跡第1次調査区発掘調査報告書. ¥

880 00 \$6 245-01/\$1

\$a サンノウ イセキ：

\$b サンノウ イセキ ダイ 1 ジ チョウサク ハックツ チョウサ ホウコク
シヨ. ¥

880 00 \$6 245-01/(B

\$a Sanno iseki：

\$b Sanno iseki dai1ji chosaku hakkutsu chosa hokokusho. ¥

以下、880 フィールドに収録する片仮名読みの表記について規定する。例示中の「△」は半角スペースを表す。

1. 和語、漢語

組となる正規フィールドが和語、漢語（漢字を使用する日本、中国、韓国・朝鮮の個人名、団体名、地名を含む）のみで表示されているときは、その発音に従い、第1表及び第2表に従って表記する。以下に主要な留意点を例示する。

ア) 旧かなづかい

旧かなづかいはその現代語音によって表記する。

てふてふ → チョウチョウ

どぜう → ドジョウ

としゑ → トシエ

イ) 助詞「ハ」「ヘ」「ヲ」

助詞「ハ」「ヘ」「ヲ」は「ワ」「エ」「オ」と表記する。

こんにちは → コンニチワ

いずこへ → イズコエ

字を書く → ジ△オ△カク

ウ) 「ヂ」「ヅ」

2語の連合又は同音の連呼によって生じた「ヂ」「ヅ」は「ジ」「ズ」と表記する。

ちかぢか → チカジカ

磯づり → イソズリ

かなづかい → カナズカイ

ちぢむ → チジム

つづり方 → ツズリカタ

宝塚 → タカラズカ

エ) 拗音、促音

拗音を表す「ヤ」「ユ」「ヨ」は、「ャ」「ュ」「ョ」と小字で表記し、促音を表す「ツ」は、「ッ」と小字で表記する。

著者 → チョシヤ

雑誌 → ザッシ

オ) 長音

(1) ア列の長音は、「ア」と表記する。

母さん → カアサン

(2) イ列の長音は、「イ」と表記する。

兄さん → ニイサン

(3) ウ列の長音は、「ウ」と表記する。

有数 → ユウスウ

(4) エ列の長音は、「エ」と表記する。

姉さん → ネエサン

(5) オ列の長音は、「ウ」と表記する。ただし、現代かなづかいで「お」と書き表される

長音は、「オ」と表記する。

労働法 → ロウドウホウ

父さん → トウサン

大阪 → オオサカ

氷 → コオリ

十日 → トオカ

遠目 → トオメ

カ) 拗長音

(1) ア列拗音の長音は、「ャ」のつぎに「ア」と表記する。

じゃあね → ジャアネ

(2) ウ列拗音の長音は、「ユ」のつぎに「ウ」と表記する。

乳牛 → ニュウギユウ

(3) オ列拗音の長音は、「ョ」のつぎに「ウ」と表記する。

表彰 → ヒョウショウ

2. 外来語

組となる正規フィールドが外来語（片仮名で表示されている外国人名、団体名、地名、外国語を含む）で表示されているか、その一部に外来語を含むときは、原則として第1表に従って、表示されているとおりに表記する。第1表にない文字で第2表にある文字は第2表に従う。

ただし、第1表、第2表にない文字については第1表に含まれる文字に置換える。

ア) 第1表に従って表記するもの

バレエ → バレエ

バレー → バレー

シェイクスピア全集 → シェイクスピア△ゼンシュウ

シェークスピヤ全集 → シェークスピヤ△ゼンシュウ

シェクスピア物語 → シェクスピア△モノガタリ

キェルケゴール → キェルケゴール

クォータリー → クォータリー

グョエテ → グョエテ

イ) 第2表に従って表記するもの

第1表にない文字は、第2表に従って表記する。

キタ・セクスアリス → イタ△セクスアリス

ワ^ルルレンシュタイン → ヴァルレンシュタイン

エ^ニニス → ヴェニス

ビルヂング → ビルジング

ウ) 第1表、第2表にないもの

第1表になく、第2表にも指定の無い文字は、第1表に含まれる文字に置き換える。

カ° → カ

エ) 漢字で表示されている外来語

漢字で表示されている外来語、外国人名、地名等は、その発音に従い、第1表によって表記する。この場合、長音、拗長音は長音符（ー）で表記する。

那波烈翁ト那把盧的 → ナポレオン△ボナパルト

倫敦 → ロンドン

伯林 → ベルリン

珈琲 → コーヒー

紐育 → ニューヨーク

3. ラテン文字等

ア) ラテン文字

組となる正規フィールドがラテン文字（拡張ラテン文字を含む。以下同じ）のみで表示されているときは、880フィールドへの収録を省略することがある。

正規フィールドの一部にラテン文字を含むときは、そのままラテン文字で表記する。ただし、著者・出版者の意図による読みとしてルビがあるときはルビによる読みに従って表記する。

M&A → M△&△A

The 万年筆 → The△マンネンヒツ

pH の理論と測定 → pH△ノ△リロン△ト△ソクテイ

日本 BSCS 委員会 → ニホン△BSCS△イインカイ

D.H. ロレンスの文学 → D.△H.△ロレンス△ノ△ブンガク

MS-DOS プログラミング → MS-DOS△プログラミング

Pattern△making の研究 → Pattern△making△ノ△ケンキュウ

Café 吉祥寺で → Café△キチジョウジ△デ

イ) キリール文字・ギリシア文字

組となる正規フィールドがキリール文字・ギリシア文字のみで表記されているか、又は正規フィールドの一部にキリール文字・ギリシア文字を含むときは、第3表に従ってラテン文字に翻字する。

Преступление△и△наказание

→ Prestuplenie△i△nakazanie

επιστημη のオブジェクト指向的日常

→ Episteme△ノ△オブジェクト△シコウテキ△ニチジョウ

著者・出版者の意図による読みとしてルビがあるときは、ルビによる読みに従って表記する。

β遮断剤とは → ベータ△シャダンザイ△トワ

4. 数字

ア) 漢数字

(1) 漢字形が漢数字で表示されているか、その一部に漢数字を含むときは、原則として次のとおり表記する。

一 → イチ 二 → ニ 三 → サン 四 → シ 五 → ゴ
六 → ロク 七 → シチ 八 → ハチ 九 → ク 十 → ジュウ
零 → レイ

注：「十」が他の語と結びついて促音となるときは、「ジッ」と表記する。

十進法 → ジッシンホウ

十戒 → ジッカイ

(2) 漢数字が成語又は固有名詞の一部に含まれていて、慣用の読み方が確立しているときは、典拠とする参考資料に従って表記する。

四次元 → ヨジゲン

六義園 → リクギエン

七転八起 → ナナコロビ△ヤオキ

九尾の狐 → キュウビ△ノ△キツネ

(3) 漢数字が数量、及び序数を示すときはアラビア数字で表記することがある。

五十周年記念誌 → 50 シュウネン△キネンシ

二十世紀の千人 → 20 セイキ△ノ△1000 ニン

イ) アラビア数字

組となる正規フィールドの一部にアラビア数字を含むときは、原則としてそのままアラビア数字で表記する。又、アラビア数字のままの表記で不自然なものは片仮名で表記し、著者・出版者の意図による読みとしてルビがあるときはルビによる読みに従って表記する。

8mm 映画ハンドブック → 8mm△エイガ△ハンドブック

20年の歩み → 20 ネン△ノ△アユミ

4次元 → 4 ジゲン

10回 → 10 カイ

1995.1.17 を証言する → 1995.△1.△17△オ△ショウゲンスル

1/10万 → ジュウマンブンノイチ

2日制 → フツカセイ

ウ) ローマ数字

組となる正規フィールドの一部にローマ数字を含むときは、原則としてアラビア数字に置換えて表記する。又、アラビア数字の表記で不自然なものは片仮名で表記し、著者・出版者の意図による読みとしてルビがあるときはルビによる読みに従って表記する。

ラムセスⅡ世 → ラムセス△2セイ

WWⅡ → WW2

5. 記号

組となる正規フィールドに記号を含み、かつ、その記号を省略するとその名称自体が損なわれる場合は、原則としてそのまま表記する。又、記号のままの表記で不自然なものは片仮名で表記し、著者・出版者の意図による読みとしてルビがあるときはルビによる読みに従って表記する。

学生のための一太郎@△Windows△95

→ ガクセイ△ノ△タメノ△イチタロウ△@△Windows△95

Lotus△1-2-3△@△Windows△95 → Lotus△1-2-3△@△Windows△95

?と!の話 → ハテナ△ト△ビックリ△ノ△ハナシ

?山宏 → ナヅヤマ△ヒロシ

付・第1表（昭和21年内閣告示第33号による）

ア	イ	ウ	エ	オ				
(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)				
カ	キ	ク	ケ	コ		キヤ	キュ	キョ
サ	シ	ス	セ	ソ		シヤ	シュ	シヨ
タ	チ	ツ	テ	ト		チャ	チュ	チョ
		(ツ)						
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ		ニヤ	ニユ	ニョ
ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ		ヒヤ	ヒユ	ヒョ
マ	ミ	ム	メ	モ		ミヤ	ミユ	ミョ
ヤ		ユ		ヨ				
(ヤ)		(ユ)		(ヨ)				
ラ	リ	ル	レ	ロ		リヤ	リュ	リョ
ワ				ヲ*				
ン								
		(ヴ)						
ガ	ギ	グ	ゲ	ゴ		ギヤ	ギユ	ギョ
ザ	ジ	ズ	ゼ	ゾ		ジヤ	ジユ	ジョ

ダ	ヂ*	ヅ*	デ	ド		ヂャ*	ヂュ*	ヂョ*
バ	ビ	ブ	ベ	ボ		ビャ	ビュ	ビョ
パ	ピ	プ	ペ	ポ		ピャ	ピュ	ピョ

*は『JAPAN/MARC』では使用しない。()は当館追加分。

付・第2表

	正規フィールド	880 フィールドの片仮名読み表記
和語の表記	ゐ	イ
	ゑ	エ
	を	オ
	ぢ	ジ
	づ	ズ
和語（助詞の場合）の表記	は	ワ
	へ	エ
外来語の表記	キ	イ
	エ	エ
	ヲ	オ
	ヂ	ジ
	ヅ	ズ
	ワ	ヴァ
	キ	ヴィ
	エ	ヴェ
	ヲ	ヴォ

付・第3表

キリール文字		翻字形	
А	а	А	а
Б	б	В	в
В	в	У	u
Г	г	Г	g
Д	д	Д	d
Е	е	Е	e
Ё	ё	Е	e
Ж	ж	ZH	zh

Э	э	Z	z
И	и	I	i
Й	й	I	i
К	к	K	k
Л	л	L	l
М	м	M	m
Н	н	N	n
О	о	O	o
П	п	P	p
Р	р	R	r
С	с	S	s
Т	т	T	t
У	у	U	u
Ф	ф	F	f
Х	х	KH	kh
Ц	ц	TS	ts
Ч	ч	CH	ch
Ш	ш	SH	sh
Щ	щ	SHCH	shch
Ъ	ъ	”	
Ы	ы	Y	y
Ь	ь	'	
Э	э	E	e
Ю	ю	IU	iu
Я	я	IA	ia

ギリシア文字		翻字形	
A	α	A	a
B	β	B	b
Γ	γ	G (※1)	g
Δ	δ	D	d
E	ε	E	e
Z	ζ	Z	z
H	η	E	e
Θ	θ	TH	th
I	ι	I	i
K	κ	K	k
Λ	λ	L	l
M	μ	M	m
N	ν	N	n
Ξ	ξ	X	x
O	ο	O	o
Π	π	P	p
P	ρ	R	r
P	ρ	RH	rh
Σ	σ	S	s
T	τ	T	t
Υ	υ	Y	y
Φ	φ	PH	ph
X	χ	CH	ch
Ψ	ψ	PS	ps
Ω	ω	O	o

(※1) γ、κ、χの前ではGではなくNと表記する。

付録 C 『JAPAN/MARC MARC21 フォーマット』におけるローマ字読み表記要領

0. 読みの表現

『JAPAN/MARC MARC21 フォーマット』では、漢字データとその片仮名読み、ローマ字読みのデータを収録するときは、その関係を以下のとおり 880 フィールドとそれ以外のフィールドの組で表現する。

- 880 以外のフィールド（以下「正規フィールド」という）：
漢字データを収録する。
組となる片仮名読み、又はローマ字読みがあるときは、サブフィールド\$6 に組となるフィールド番号「880」とオカレンス番号を収録する。
- 880 フィールド：
片仮名読み、及びローマ字読みを、フィールドを繰り返して収録する。
第1インディケータ、第2インディケータとも、組となる正規フィールドと同値とする。
サブフィールド\$6 に、組となる正規フィールドのフィールド番号、オカレンス番号、及び当該 880 フィールドの文字種コードを収録する。
文字種コードは、片仮名読みの場合「\$1」、ローマ字読みの場合「(B)」とする。

(例) 245 フィールドの読みを収録する場合

245 00 \$6 880-01

\$a 山王遺跡：

\$b 山王遺跡第1次調査区発掘調査報告書. ¥

880 00 \$6 245-01/\$1

\$a サンノウ イセキ：

\$b サンノウ イセキ ダイ 1 ジ チョウサク ハックツ チョウサ ホウコク
シヨ. ¥

880 00 \$6 245-01/(B

\$a Sanno iseki：

\$b Sanno iseki dai1ji chosaku hakkutsu chosa hokokusho. ¥

以下、880 フィールドに収録するローマ字読みの表記について規定する。

1. 使用するローマ字表

「ローマ字のつづり方の実施について」（昭和 29 年内閣告示第 1 号）の第 1 表に従い表

記する。ただし、第 2 表につづり方が示されているものは、第 2 表に従い表記する。別表に一覧を示す。

2. 適用規則

2-1. 撥音「ン」は、すべて「n」を使用する。

案内 annai
ポンプ ponpu

2-2. 撥音の n に後続する字が母音又は y であるときは、n の次に「'」を入れる。

金印 kin'in
パン屋 pan'ya

2-3. 促音は子音を 2 つ重ねる。ただし、フィールドの末尾等に現れる促音で、子音の重複が行えないときは「tsu」を使用する。

切手 kitte
勝てっ katetsu

2-4. 長音及び長母音は無視して表記する。

東宮 togu
お母さん okasan
スーパーカー supaka

2-5. 母音と母音の間に形態素の切れ目があるときは、それぞれの母音を省略しない。

長雨（なが・あめ） nagaame
黄色（き・いろ） kiiro

2-6. 外来語等は第 2 表及び第 1 表に表記があればそれに従う。表にないときは 2 音で表記する。

ペルシャ perusha
デジタル dijitaru
ペルシア perushia
コンツェルン kontsuerun
テレシコワ tereshikowa

2-7. フィールド先頭の 1 文字目、固有名の 1 文字目、人名の姓と名の 1 文字目、件名の細目の 1 文字目は大文字で表す。

別表

ア	イ	ウ	エ	オ					
(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)					
a	i	u	e	o					
カ	キ	ク	ケ	コ		キャ	キュ	キョ	(キエ)

(カ)			(ケ)						
ka	ki	ku	ke	ko		kya	kyu	kyo	(kye)
サ	シ	ス	セ	ソ		シヤ	シユ	シヨ	(シエ)
sa	shi*	su	se	so		sha*	shu*	sho*	(she)*
タ	チ	ツ	テ	ト		チャ	チュ	チョ	(チェ)
ta	chi*	tsu*	te	to		cha*	chu*	cho*	(che)*
	(テイ)			(トウ)		(テヤ)	(テユ)	(テヨ)	
	(ti)			tu*		(tya)	(tyu)	(tyo)	
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ		ニヤ	ニユ	ニヨ	(ニエ)
na	ni	nu	ne	no		nya	nyu	nyo	(nye)
ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ		ヒヤ	ヒユ	ヒヨ	(ヒエ)
ha	hi	fu*	he	ho		hya	hyu	hyo	(hye)
(ファ)	(フィ)		(フェ)	(フォ)		(フヤ)	(フユ)	(フヨ)	
(fa)	(fi)		(fe)	(fo)		(fya)	(fyu)	(fyo)	
マ	ミ	ム	メ	モ		ミヤ	ミュ	ミヨ	(ミエ)
ma	mi	mu	me	mo		mya	myu	myo	(mye)
ヤ		ユ		ヨ					
ya		yu		yo					
(ヤ)		(ユ)		(ヨ)					
ya		yu		yo					
ラ	リ	ル	レ	ロ		リヤ	リュ	リヨ	(リエ)
ra	ri	ru	re	ro		rya	ryu	ryo	(rye)
ワ	(ヰ)		(ヱ)	ヲ	ン				
(ワ)									
wa	(i)		(e)	o	n				
ガ	ギ	グ	ゲ	ゴ		ギヤ	ギユ	ギヨ	(ギエ)
ga	gi	gu	ge	go		gya	gyu	gyo	(gye)
ザ	ジ	ズ	ゼ	ゾ		ジヤ	ジユ	ジヨ	(ジエ)
za	ji*	zu	ze	zo		ja*	ju*	jo*	(je)*
ダ	ヂ	ヅ	デ	ド		(ヂヤ)	(ヂユ)	(ヂヨ)	(ヂエ)
da	ji*	zu	de	do		(ja)*	(ju)*	(jo)*	(je)*
	(デイ)			(ドウ)		(デヤ)	(デュ)	(デヨ)	
	di			du*		(dya)	(dyu)	(dyo)	
バ	ビ	ブ	ベ	ボ		ビヤ	ビユ	ビヨ	(ビエ)
ba	bi	bu	be	bo		bya	byu	byo	(bye)

(ヴァ)	(ヴィ)	(ヴ)	(ヴェ)	(ヴォ)		(ヴァ)	(ヴュ)	(ヴヨ)	
(va)	(vi)	(vu)	(ve)	(vo)		(vya)	(vyu)	(vyo)	
パ	ピ	プ	ペ	ポ		ピャ	ピュ	ピョ	(ピェ)
pa	pi	pu	pe	po		pya	pyu	pyo	(pye)

*は「ローマ字のつづり方の実施について」第2表に従った（又は準じた）表記。（ ）は当館追加分